

ところざわ 環境データブック 2013

所沢市 北野一般環境大気測定局



目次

	ページ		ページ
1. 大気汚染		3. 騒音	
(1) 大気汚染に係る環境基準……………	1	(1) 騒音に係る環境基準……………	49
(2) 平成 24 年度大気汚染状況について……	2	(2) 平成 24 年度環境騒音の状況について…	50
(3) 大気汚染常時監視測定……………	5	(3) 自動車交通騒音……………	52
(4) 有害大気汚染物質……………	20	(4) 航空機騒音……………	54
(5) その他……………	29	(5) 参考資料(騒音の大きさの例)……………	56
2. 水質汚濁		4. 化学物質	
(1) 水質汚濁に係る環境基準……………	30	(1) ダイオキシン類の環境基準……………	57
(2) 平成 24 年度水質汚濁状況について……	31	(2) ダイオキシン類環境調査結果……………	60
(3) 河川水質測定結果……………	34	(3) 化学物質の排出量・移動量の集計結果…	62
(4) 生活排水対策重点地域(不老川流域)にお ける水質測定結果……………	44	5. 放射線	
(5) 地下水質調査結果(平成 24 年度) ……	47	(1) 平成 24 年度市内の空間放射線量につい て……………	72
		(2) 放射線の基礎知識……………	75
		6. 公害等苦情相談	
		平成 24 年度公害等苦情相談について……	76
		7. 用語解説及び関連資料……………	78

1 大气污染



(1) 大気汚染に係る環境基準

1 大気汚染に係る環境基準

物質	環境上の条件（設定年月日等）	主な発生源
光化学オキシダント（O _x ）	1時間値が0.06ppm以下であること。（S48.5.8告示）	塗料などに含まれるVOC、工場や自動車からの排出ガス
二酸化窒素（NO ₂ ）	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。（S53.7.11告示）	物の燃焼の際に発生し高温になるほどその量は多くなる。
浮遊粒子状物質（SPM）	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。（S48.5.8告示）	工場などの事業活動や自動車の走行に伴い発生するほか、自然由来もある。
二酸化硫黄（SO ₂ ）	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。（S48.5.16告示）	硫黄分を含む燃料を燃焼する際に発生、稀に火山爆発などの自然由来もある。
一酸化炭素（CO）	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。（S48.5.8告示）	燃料の不完全燃焼により発生する無色、無臭の気体。主に自動車から排出される。
微小粒子状物質（PM _{2.5} ）	1年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m ³ 以下であること。（H21.9.9告示）	工場や自動車からの排出ガス、塗料などに含まれるVOC、野焼きなどに由来する。

備考

- 環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域または場所については、適用しない。
- 二酸化窒素について、1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内にある地域にあつては、原則としてこのゾーン内において現状程度の水準を維持し、又はこれを大きく上回ることをとならないよう努めるものとする。
- 光化学オキシダントとは、オゾン、パーオキシアセチルナイトレートその他の光化学反応により生成される酸化性物質（中性ヨウ化カリウム溶液からヨウ素を遊離するものに限り、二酸化窒素を除く。）をいう。
- 浮遊粒子状物質とは大気中に浮遊する粒子状物質であつてその粒径が10μm以下のものをいう。
- 微小粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状物質であつて、粒径が2.5μmの粒子を50%の割合で分離できる分粒装置を用いて、より粒径の大きい粒子を除去した後に採取される粒子をいう。

評価方法

環境基準による大気の汚染状況の評価については、次のとおり取り扱うこととされている。

ア、短期的評価（二酸化窒素、微小粒子状物質を除く）

測定を行った日についての1時間値の1日平均値もしくは8時間平均値又は各1時間値を環境基準と比較して評価を行う。

イ、長期的評価

・二酸化窒素

1年間の測定を通じて得られた1日の平均値のうち、低いほうから数えて98%（例えば年間有効測定日が350日の場合には343日（=350×0.98）番目に当たる値（1日平均値の年間98%）を環境基準と比較して評価を行う。

・浮遊粒子状物質、二酸化硫黄及び一酸化炭素

1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、高いほうから数えて2%の範囲にある測定値（例えば、年間有効測定日が335日の場合には7（=335×0.02、四捨五入）個の測定値）を除外した後の最高値（1日平均値の年間2%除外値）を環境基準と比較して評価を行う。但し、上記の評価方法に係らず1日平均値につき環境基準を超える日が2日以上連続した場合には非達成と評価する。

・微小粒子状物質

測定結果の1年平均値を環境基準（15μg/m³）と比較する。また、1年間の測定を通じて得られた1日の平均値のうち、低いほうから数えて98%目に当たる値を環境基準（35μg/m³）と比較する。両方を満足した局について、環境基準が達成されたと評価する。

2 炭化水素に係る指針（光化学オキシダントの生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針）

物質	環境上の条件（設定年月日等）
非メタン炭化水素	光化学オキシダントの日最高1時間値0.06ppmに対応する午前6時から9時までの非メタン炭化水素の3時間平均値は、0.20ppmCから0.31ppmCの範囲にある。（S51.8.13通知）

3 有害大気汚染物質（ベンゼン等）に係る環境基準

物質	環境上の条件（設定年月日等）	主な発生源・用途等
ベンゼン	1年平均値が0.003mg/m ³ 以下であること。（H9.2.4告示）	ガソリン中に含まれているため自動車排出ガスから大気中へ排出
トリクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。（H9.2.4告示）	主に有機塩素系溶剤で金属部品の洗浄や半導体の製造工程などで使用
テトラクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。（H9.2.4告示）	主にドライクリーニング、金属部品の洗浄工程などに使用
ジクロロメタン	1年平均値が0.15mg/m ³ 以下であること。（H13.4.20告示）	金属・機械などの脱脂洗浄剤、塗料剥離剤などに使用

備考

- 環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域または場所については、適用しない。
- ベンゼン等による大気の汚染に係る環境基準は、継続的に摂取される場合には人の健康を損なうおそれがある物質に係るものであることにかんがみ、将来にわたって人の健康に係る被害が未然に防止されるようにすることを旨として、その維持又は早期達成に努めるものとする。

(2) 平成24年度 大気汚染状況について

所沢市では、大気汚染防止法第 22 条に基づき、一般環境大気測定局(以下「一般局」という。)3 局と自動車排出ガス測定局(以下「自排局」という。)2 局の 5 測定局において、大気汚染状況の常時監視を行っています。

平成 24 年度における常時監視測定結果の概要は下記のとおりで、光化学オキシダント(Ox)を除く他の測定項目では全体的に環境基準を達成しています。なお、指針が示されている非メタン炭化水素については、緩やかな減少傾向を示しているものの指針を達成していません。原因究明と同時に工場・事業場の排出ガス対策、低公害車の普及啓発等を総合的に推進し被害の未然防止が必要となっています。

また、月に 1 回の頻度で有害大気汚染物質の測定も行っており、環境基準が定められている 4 物質(ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン)の全てで環境基準を達成しています。

1 大気汚染に係る環境基準の達成状況

常時監視測定項目	達成状況	傾向
光化学オキシダント(Ox)	未達成	横ばい
二酸化窒素(NO ₂)	達成	減少
浮遊粒子状物質(SPM)	達成	減少
二酸化硫黄(SO ₂)	達成	横ばい
一酸化炭素(CO)	達成	減少
微小粒子状物質(PM2.5)	達成	—

2 炭化水素に係る指針の達成状況

常時監視測定項目	達成状況	傾向
非メタン炭化水素(NMHC)	未達成	減少

3 有害大気汚染物質(ベンゼン等)に係る環境基準の達成状況

有害大気汚染測定項目	達成状況	傾向
ベンゼン(C ₆ H ₆)	達成	横ばい
トリクロロエチレン(C ₂ HCl ₃)	達成	横ばい
テトラクロロエチレン(C ₂ Cl ₄)	達成	横ばい
ジクロロメタン(CH ₂ Cl ₂)	達成	横ばい

■大気汚染測定項目(H24年度)

地 点 区 分 測定地点 測定項目	大気汚染常時監視測定局					
	東 所 沢	北 野	中 富	航 空 公 園	和 ヶ 原	け や き 台

常時監視項目

光化学オキシダント(Ox)	○	○	○			※3
窒素酸化物(NO、NO ₂ 、NOx)	○	○		○	○	※3
浮遊粒子状物質(SPM)	○	○		○	○	※3
二酸化硫黄(SO ₂)	○	○				※3
一酸化炭素(CO)					○	
微小粒子状物質(PM2.5)		○				
炭化水素類(NMHC、HC、THC)	○	○		○	○	※3
風向、風速、温度、湿度	○	○	○	○	○	※3

有害大気汚染物質

ベンゼン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、塩化メチル、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン	○	○			△※1	※3
トルエン、キシレン類、アセトアルデヒド、ホルムアルデヒド、ベンゾ[a]ピレン、酸化エチレン、ニッケル化合物、ヒ素及びその化合物、ベリリウム及びその化合物、マンガン及びその化合物、クロム及びその化合物、水銀及びその化合物、カドミウム及びその化合物、鉛及びその化合物、亜鉛及びその化合物、バナジウム及びその化合物、石綿(アスベスト)		○			△※2	※3

その他の項目

酸性雨(pH、降雨量)	○					
-------------	---	--	--	--	--	--

※1 和ヶ原測定局においては、ベンゼン、1,3-ブタジエンのみを実施しています。

※2 和ヶ原測定局においては、トルエン、キシレン類、アセトアルデヒド、ホルムアルデヒド及びベンゾ[a]ピレンのみを実施しています。

※3 H21年度末をもって測定を終了しました。

■大気汚染測定地点(H24年度)



※けやき台測定局は所沢保健所の移転に伴い、平成21年度末を持って廃局となりました。

(3) 大気汚染常時監視測定

① 光化学オキシダント

(a) 光化学オキシダント(Ox)の経年変化

測定局名	用途地域	昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数					昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
けやき台測定局	住居	2	3	-	-	-	514	502	-	-	-
東所沢測定局	住居	8	2	8	1	3	646	529	535	413	441
北野測定局	住居	1	3	4	1	2	520	489	545	387	483
中富測定局	調整	-	-	5	1	2	-	-	404	434	397

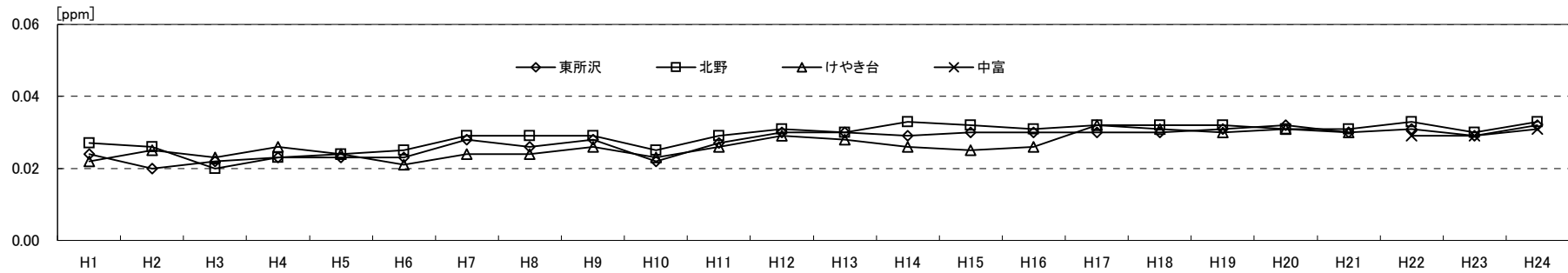
(b) 光化学オキシダント(Ox)の月間値

局名	項目	H24年												H25年			H24年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
東所沢	昼間測定日数	日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	31	28	31	365	
	昼間測定時間	時間	446	454	445	457	460	446	450	443	459	457	416	460	5393		
	昼間の1時間値の月平均値	ppm	0.042	0.048	0.038	0.039	0.030	0.031	0.028	0.018	0.018	0.023	0.027	0.037	0.032		
	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数	日	13	20	13	18	15	10	2	0	0	0	0	7	98		
	た日数と時間数	時間	52	131	47	95	49	40	6	0	0	0	0	21	441		
	昼間の1時間値が0.12ppmを越えた日数と時間数	日	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
	た日数と時間数	時間	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	7		
	昼間の1時間値の最高値	ppm	0.120	0.092	0.101	0.143	0.110	0.106	0.066	0.051	0.041	0.050	0.052	0.071	0.143		
昼間の日最高1時間値の月平均値	ppm	0.059	0.066	0.058	0.065	0.058	0.054	0.045	0.030	0.030	0.038	0.040	0.052	0.050			
北野	昼間測定日数	日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		
	昼間測定時間	時間	446	452	445	459	460	446	450	442	461	455	417	460	5393		
	昼間の1時間値の月平均値	ppm	0.044	0.050	0.039	0.040	0.031	0.033	0.030	0.019	0.020	0.025	0.030	0.040	0.033		
	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数	日	12	20	14	18	16	11	4	0	0	0	0	7	102		
	た日数と時間数	時間	56	141	58	96	58	40	9	0	0	0	0	25	483		
	昼間の1時間値が0.12ppmを越えた日数と時間数	日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
	た日数と時間数	時間	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
	昼間の1時間値の最高値	ppm	0.090	0.096	0.109	0.131	0.112	0.106	0.072	0.048	0.040	0.047	0.053	0.074	0.131		
昼間の日最高1時間値の月平均値	ppm	0.058	0.067	0.060	0.066	0.058	0.055	0.047	0.032	0.031	0.038	0.041	0.054	0.051			
中富	昼間測定日数	日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	28	31	362		
	昼間測定時間	時間	446	453	445	458	460	446	450	444	460	396	413	460	5331		
	昼間の1時間値の月平均値	ppm	0.042	0.047	0.037	0.037	0.030	0.030	0.026	0.017	0.017	0.022	0.026	0.035	0.031		
	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数	日	11	19	14	17	15	9	3	0	0	0	0	5	93		
	た日数と時間数	時間	48	118	49	82	48	33	6	0	0	0	0	13	397		
	昼間の1時間値が0.12ppmを越えた日数と時間数	日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
	た日数と時間数	時間	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
	昼間の1時間値の最高値	ppm	0.111	0.094	0.100	0.137	0.105	0.102	0.064	0.048	0.041	0.045	0.049	0.067	0.137		
昼間の日最高1時間値の月平均値	ppm	0.057	0.066	0.058	0.064	0.057	0.053	0.044	0.029	0.029	0.036	0.038	0.049	0.048			

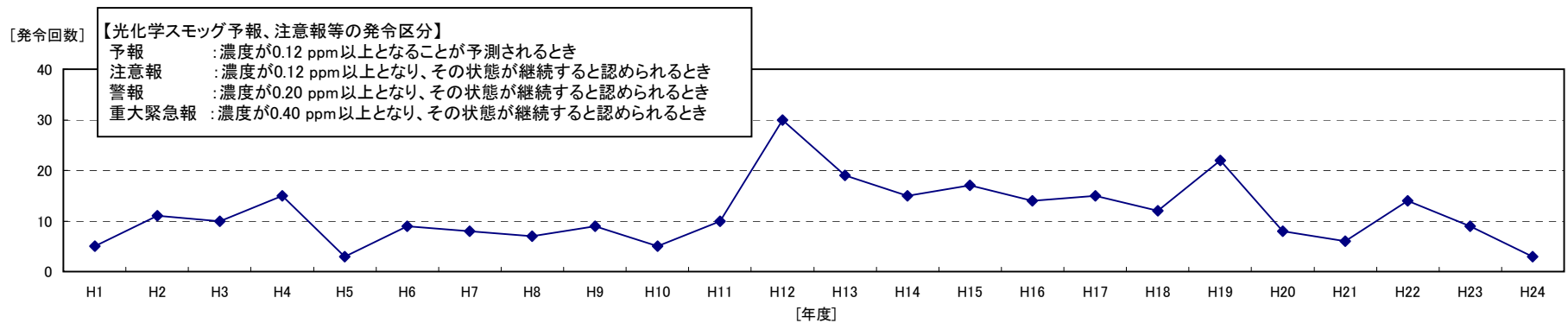
網掛け : 環境基準未達成の日数
 二重線 : 環境基準との比較に使用する値
 太枠 : 1年間で環境基準を満たさなかった日数
 環境基準 : 1時間値が0.06 ppm以下

【光化学スモッグ予報、注意報等の発令区分】
 予報 : 濃度が0.12 ppm以上となることが予測されるとき
 注意報 : 濃度が0.12 ppm以上となり、その状態が継続すると認められるとき
 警報 : 濃度が0.20 ppm以上となり、その状態が継続すると認められるとき
 重大緊急報 : 濃度が0.40 ppm以上となり、その状態が継続すると認められるとき

①-1 光化学オキシダント(Ox)の経年変化



①-2 光化学スモッグ注意報の発令状況

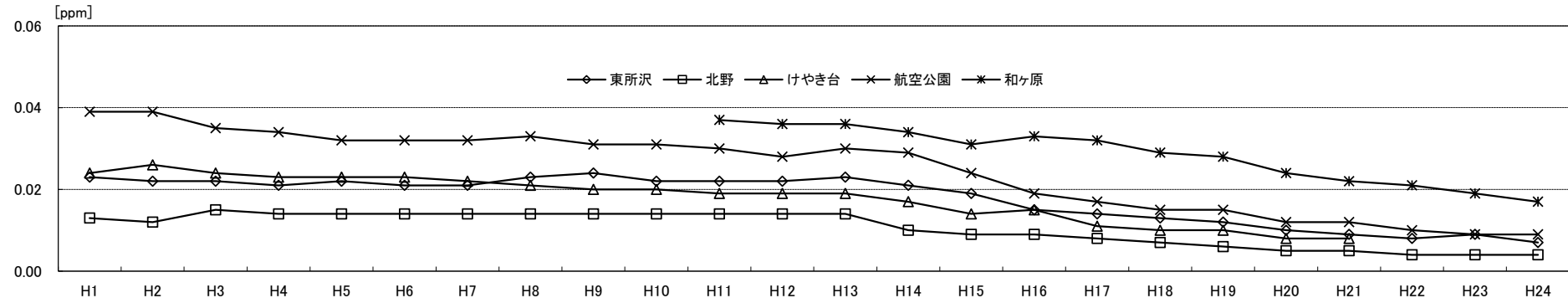


②一酸化窒素

(a)一酸化窒素(NO)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppm)					日平均値の98%値(ppm)				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
けやき台測定局	住居	0.008	0.008	-	-	-	0.042	0.039	-	-	-
東所沢測定局	住居	0.010	0.009	0.008	0.009	0.007	0.051	0.050	0.041	0.042	0.041
北野測定局	住居	0.005	0.005	0.004	0.004	0.004	0.029	0.027	0.021	0.023	0.019
航空公園測定局	無指定	0.012	0.012	0.010	0.009	0.009	0.052	0.043	0.037	0.038	0.037
和ヶ原測定局	準住	0.024	0.022	0.021	0.019	0.017	0.084	0.083	0.070	0.070	0.065

一酸化窒素(NO)の経年変化



(b)一酸化窒素(NO)の月間値

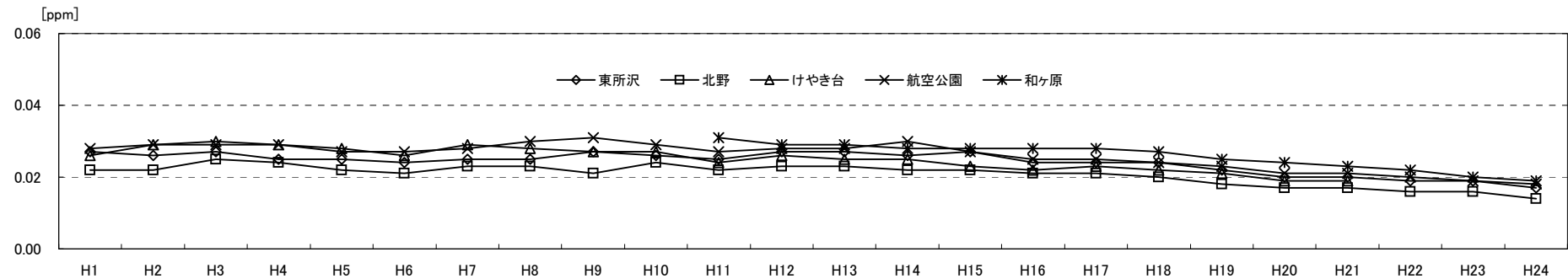
局名	項 目	H24年												H25年			H24年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
東所沢	測定日数 日	30	31	30	31	31	30	29	30	31	31	31	28	31	363		
	測定時間 時間	711	729	709	730	734	711	720	708	732	733	661	733	8611			
	月平均値 ppm	0.002	0.001	0.002	0.002	0.003	0.003	0.006	0.017	0.019	0.012	0.009	0.005	0.007			
	1時間値の最高値 ppm	0.042	0.033	0.034	0.028	0.036	0.058	0.109	0.200	0.183	0.211	0.187	0.171	0.211			
	日平均値の最高値 ppm	0.006	0.004	0.008	0.007	0.007	0.009	0.033	0.063	0.055	0.036	0.034	0.030	0.063			
北野	測定日数 日	30	31	30	31	31	30	29	16	31	31	28	31	349			
	測定時間 時間	709	729	705	730	731	708	723	396	734	731	662	733	8291			
	月平均値 ppm	0.001	0.001	0.001	0.002	0.003	0.002	0.003	0.010	0.010	0.007	0.005	0.003	0.004			
	1時間値の最高値 ppm	0.022	0.039	0.019	0.019	0.036	0.026	0.049	0.073	0.080	0.088	0.084	0.062	0.088			
	日平均値の最高値 ppm	0.004	0.003	0.003	0.004	0.006	0.006	0.013	0.024	0.029	0.032	0.017	0.008	0.032			
航空公園	測定日数 日	30	31	30	31	31	30	29	29	31	31	28	31	362			
	測定時間 時間	709	725	708	731	730	711	719	699	733	732	663	733	8593			
	月平均値 ppm	0.005	0.004	0.006	0.007	0.008	0.006	0.005	0.016	0.018	0.013	0.009	0.008	0.009			
	1時間値の最高値 ppm	0.062	0.072	0.063	0.058	0.052	0.088	0.084	0.197	0.233	0.193	0.213	0.171	0.233			
	日平均値の最高値 ppm	0.012	0.013	0.019	0.016	0.017	0.021	0.019	0.060	0.045	0.033	0.033	0.031	0.060			
和ヶ原	測定日数 日	30	30	30	31	31	28	28	30	31	31	28	31	359			
	測定時間 時間	710	730	708	730	733	666	710	707	734	731	662	732	8553			
	月平均値 ppm	0.011	0.008	0.009	0.010	0.013	0.013	0.014	0.032	0.036	0.028	0.018	0.014	0.017			
	1時間値の最高値 ppm	0.136	0.148	0.096	0.087	0.093	0.115	0.144	0.212	0.254	0.226	0.248	0.206	0.254			
	日平均値の最高値 ppm	0.024	0.018	0.018	0.021	0.023	0.035	0.048	0.071	0.087	0.090	0.080	0.047	0.090			

③二酸化窒素

(a)二酸化窒素(NO₂)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppm)					日平均値の98%値(ppm)				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
けやき台測定局	住居	0.019	0.019	-	-	-	0.035	0.035	-	-	-
東所沢測定局	住居	0.020	0.020	0.019	0.019	0.017	0.036	0.037	0.037	0.037	0.036
北野測定局	住居	0.017	0.017	0.016	0.016	0.014	0.033	0.033	0.029	0.032	0.030
航空公園測定局	無指定	0.021	0.021	0.020	0.019	0.018	0.038	0.037	0.036	0.033	0.034
和ヶ原測定局	準住	0.024	0.023	0.022	0.020	0.019	0.041	0.039	0.039	0.036	0.037



二酸化窒素(NO₂)の経年変化



(b)二酸化窒素(NO₂)月間値

局名	項	目	H24年										H25年			H24年度
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
東所沢	測定日数	日	30	31	30	31	31	30	29	30	31	31	28	31	363	
	測定時間	時間	711	729	709	730	734	711	720	708	732	733	661	733	8611	
	月平均値	ppm	0.016	0.014	0.015	0.013	0.010	0.013	0.017	0.022	0.024	0.023	0.021	0.018	0.017	
	1時間値の最高値	ppm	0.053	0.043	0.039	0.046	0.032	0.042	0.057	0.057	0.061	0.065	0.063	0.068	0.068	
	日平均値の最高値	ppm	0.027	0.026	0.024	0.022	0.017	0.021	0.027	0.036	0.045	0.036	0.038	0.039	0.045	
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.06ppmを超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1		
北野	測定日数	日	30	31	30	31	31	30	29	16	31	31	28	31	349	
	測定時間	時間	709	729	705	730	731	708	723	396	734	731	662	733	8291	
	月平均値	ppm	0.013	0.011	0.012	0.011	0.009	0.010	0.013	0.020	0.019	0.018	0.017	0.015	0.014	
	1時間値の最高値	ppm	0.037	0.029	0.038	0.034	0.029	0.032	0.045	0.049	0.049	0.056	0.054	0.060	0.060	
	日平均値の最高値	ppm	0.020	0.018	0.021	0.018	0.015	0.016	0.022	0.027	0.035	0.032	0.031	0.032	0.035	
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.06ppmを超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

局名	項 目	H24年										H25年			H24年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
航空公園	測定日数	30	31	30	31	31	30	29	29	31	31	28	31	362	
	測定時間	709	725	708	731	730	711	719	699	733	732	663	733	8593	
	月平均値	0.018	0.016	0.018	0.017	0.015	0.014	0.015	0.021	0.022	0.021	0.019	0.018	0.018	
	1時間値の最高値	0.056	0.052	0.053	0.055	0.044	0.048	0.052	0.065	0.055	0.055	0.059	0.073	0.073	
	日平均値の最高値	0.029	0.026	0.030	0.031	0.022	0.026	0.026	0.034	0.041	0.033	0.037	0.043	0.043	
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.06ppmを超えた日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1		
和ヶ原	測定日数	30	30	30	31	31	28	28	30	31	31	28	31	359	
	測定時間	710	730	708	730	733	666	710	707	734	731	662	732	8553	
	月平均値	0.019	0.018	0.017	0.017	0.015	0.016	0.017	0.022	0.024	0.023	0.021	0.019	0.019	
	1時間値の最高値	0.060	0.046	0.051	0.047	0.038	0.046	0.051	0.054	0.054	0.056	0.056	0.070	0.070	
	日平均値の最高値	0.030	0.031	0.030	0.033	0.024	0.026	0.027	0.033	0.039	0.037	0.039	0.042	0.042	
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.06ppmを超えた日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		

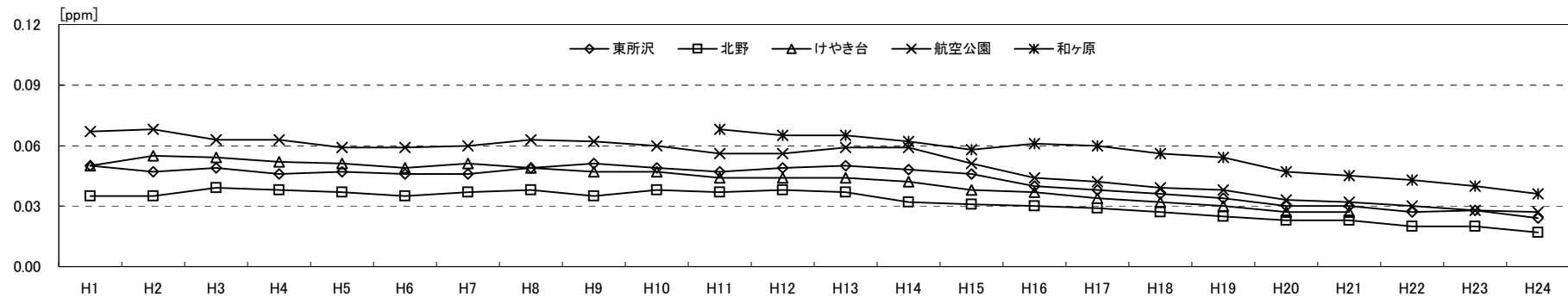
二重線  : 環境基準との比較に使用する値
 環境基準 : 1時間値の一日平均値が0.04ppmから0.06ppm以内、あるいはそれ以下
 太枠  : 1年間で環境基準を満たさなかった日数

④窒素酸化物

(a) 窒素酸化物(NO+NO₂)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppm)					日平均値の98%値(ppm)				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
けやき台測定局	住居	0.027	0.027	-	-	-	0.076	0.075	-	-	-
東所沢測定局	住居	0.030	0.030	0.027	0.028	0.024	0.087	0.089	0.077	0.074	0.069
北野測定局	住居	0.023	0.023	0.020	0.020	0.017	0.057	0.057	0.049	0.053	0.049
航空公園測定局	無指定	0.033	0.032	0.030	0.028	0.027	0.086	0.079	0.071	0.067	0.071
和ヶ原測定局	準住	0.047	0.045	0.043	0.040	0.036	0.122	0.116	0.108	0.101	0.099

窒素酸化物(NO_x)の経年変化



(b) 窒素酸化物(NO+NO₂)の月間値

局名	項	目	H24年										H25年			H24年度
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
東所沢	測定日数	日	30	31	30	31	31	30	29	30	31	31	28	31	363	
	測定時間	時間	711	729	709	730	734	711	720	708	732	733	661	733	8611	
	月平均値	ppm	0.018	0.015	0.017	0.015	0.013	0.016	0.023	0.039	0.043	0.035	0.030	0.023	0.024	
	1時間値の最高値	ppm	0.084	0.071	0.060	0.058	0.056	0.073	0.133	0.233	0.229	0.259	0.244	0.231	0.259	
	日平均値の最高値	ppm	0.031	0.028	0.032	0.029	0.021	0.024	0.058	0.098	0.094	0.067	0.065	0.066	0.098	
	月平均値NO ₂ /(NO+NO ₂)	%	87.3	90.4	88.5	85.6	77.0	81.8	73.9	56.5	56.2	66.0	70.4	78.2	71.7	

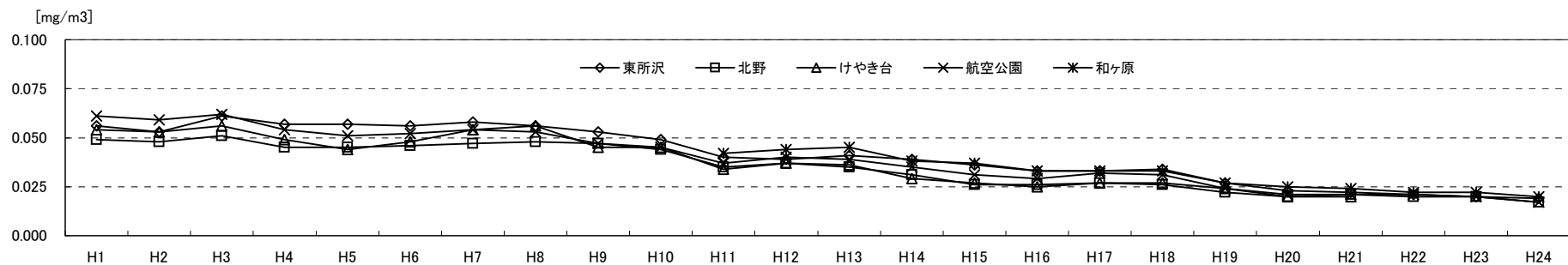
局名	項 目	H24年										H25年			H24年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
北野	測定日数	30	31	30	31	31	30	29	16	31	31	28	31	349	
	測定時間	709	729	705	730	731	708	723	396	734	731	662	733	8291	
	月平均値	0.014	0.012	0.013	0.013	0.012	0.012	0.016	0.030	0.028	0.025	0.022	0.018	0.017	
	1時間値の最高値	0.056	0.052	0.040	0.045	0.052	0.040	0.071	0.110	0.128	0.126	0.118	0.092	0.128	
	日平均値の最高値	0.023	0.020	0.024	0.021	0.017	0.018	0.032	0.050	0.060	0.064	0.045	0.038	0.064	
	月平均値NO ₂ /(NO+NO ₂)	89.7	91.6	89.6	86.7	78.0	84.2	81.7	65.8	66.2	72.9	79.3	84.9	79.0	
航空公園	測定日数	30	31	30	31	31	30	29	29	31	31	28	31	362	
	測定時間	709	725	708	731	730	711	719	699	733	732	663	733	8593	
	月平均値	0.022	0.021	0.024	0.024	0.023	0.021	0.020	0.037	0.040	0.034	0.028	0.026	0.027	
	1時間値の最高値	0.118	0.117	0.093	0.087	0.071	0.101	0.115	0.227	0.285	0.235	0.261	0.244	0.285	
	日平均値の最高値	0.037	0.038	0.045	0.039	0.033	0.037	0.043	0.094	0.080	0.065	0.067	0.074	0.094	
	月平均値NO ₂ /(NO+NO ₂)	79.5	79.2	74.6	71.2	63.8	69.8	76.9	55.5	54.3	61.3	67.6	69.7	66.8	
和ヶ原	測定日数	30	30	30	31	31	28	28	30	31	28	31	359		
	測定時間	710	730	708	730	733	666	710	707	734	731	662	732	8553	
	月平均値	0.029	0.026	0.026	0.027	0.028	0.029	0.031	0.054	0.060	0.051	0.038	0.033	0.036	
	1時間値の最高値	0.177	0.171	0.123	0.113	0.115	0.139	0.173	0.245	0.303	0.272	0.296	0.253	0.303	
	日平均値の最高値	0.047	0.047	0.046	0.046	0.043	0.057	0.075	0.104	0.125	0.127	0.119	0.078	0.127	
	月平均値NO ₂ /(NO+NO ₂)	64.0	68.3	66.1	64.2	52.7	54.8	55.3	41.5	40.1	45.4	53.9	57.6	52.7	

⑤浮遊粒子状物質

(a)浮遊粒子状物質(SPM)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(mg/m ³)					日平均値の2%除外値(mg/m ³)				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
けやき台測定局	住居	0.020	0.020	-	-	-	0.047	0.048	-	-	-
東所沢測定局	住居	0.023	0.022	0.021	0.020	0.019	0.059	0.051	0.050	0.046	0.049
北野測定局	住居	0.020	0.021	0.020	0.020	0.017	0.051	0.050	0.049	0.049	0.040
航空公園測定局	無指定	0.021	0.021	0.021	0.020	0.017	0.059	0.051	0.051	0.049	0.046
和ヶ原測定局	準住	0.025	0.024	0.022	0.022	0.020	0.058	0.054	0.055	0.057	0.048

浮遊粒子状物質(SPM)の経年変化



(b)浮遊粒子状物質(SPM)の月間値

局名	項	目	H24年										H25年			H24年度
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
東所沢	測定日数	日	30	31	30	31	31	30	28	30	31	31	28	31	362	
	測定時間	時間	716	738	715	736	739	715	702	715	738	739	668	738	8659	
	月平均値	mg/m ³	0.019	0.020	0.017	0.025	0.017	0.018	0.017	0.019	0.017	0.015	0.018	0.029	0.019	
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値の最高値	mg/m ³	0.092	0.109	0.095	0.092	0.078	0.060	0.061	0.071	0.102	0.068	0.096	0.753	0.753	
日平均値の最高値	mg/m ³	0.034	0.043	0.029	0.056	0.029	0.033	0.032	0.043	0.068	0.031	0.049	0.080	0.080		
北野	測定日数	日	30	31	30	31	31	30	28	30	31	31	28	31	362	
	測定時間	時間	716	736	715	737	739	715	706	715	740	735	669	739	8662	
	月平均値	mg/m ³	0.020	0.020	0.018	0.024	0.018	0.016	0.015	0.014	0.012	0.010	0.012	0.021	0.017	
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値の最高値	mg/m ³	0.112	0.060	0.067	0.070	0.049	0.056	0.050	0.066	0.082	0.051	0.060	0.125	0.125	
日平均値の最高値	mg/m ³	0.037	0.045	0.031	0.051	0.031	0.030	0.025	0.038	0.049	0.025	0.033	0.044	0.051		
航空公園	測定日数	日	30	31	30	31	31	30	28	29	31	31	28	31	361	
	測定時間	時間	714	735	714	740	738	715	706	707	740	739	668	739	8655	
	月平均値	mg/m ³	0.020	0.021	0.017	0.024	0.012	0.016	0.015	0.017	0.014	0.012	0.015	0.025	0.017	
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値の最高値	mg/m ³	0.096	0.068	0.064	0.090	0.042	0.064	0.058	0.077	0.089	0.059	0.076	0.231	0.231	
日平均値の最高値	mg/m ³	0.041	0.051	0.032	0.056	0.023	0.031	0.032	0.047	0.059	0.027	0.042	0.053	0.059		
和ヶ原	測定日数	日	30	31	30	31	31	28	28	30	31	31	28	31	360	
	測定時間	時間	714	738	715	739	738	672	685	715	740	739	668	739	8602	
	月平均値	mg/m ³	0.022	0.022	0.020	0.028	0.020	0.019	0.018	0.018	0.014	0.013	0.015	0.026	0.020	
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値の最高値	mg/m ³	0.172	0.071	0.079	0.105	0.077	0.072	0.055	0.080	0.089	0.054	0.053	0.185	0.185	
日平均値の最高値	mg/m ³	0.042	0.048	0.039	0.056	0.035	0.035	0.032	0.049	0.052	0.030	0.034	0.055	0.056		

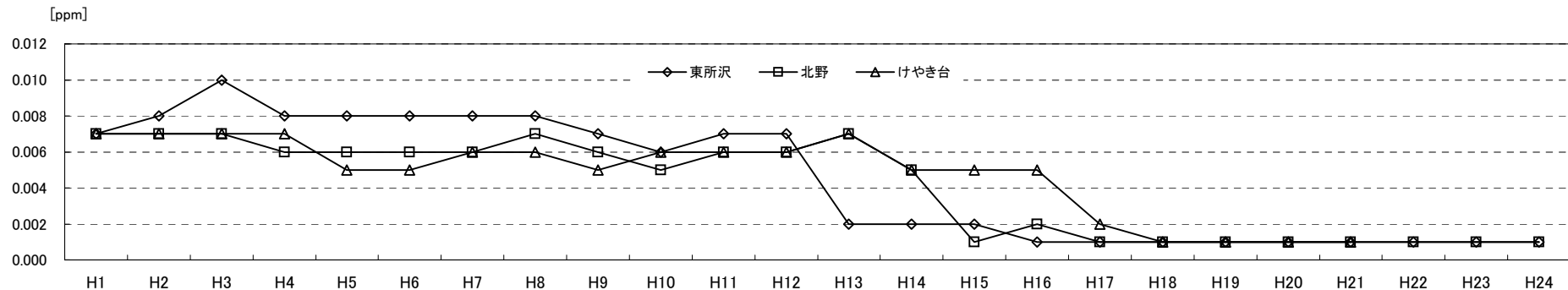
二重線 :環境基準との比較に使用する値
 環境基準 :1時間値の1日平均値が0.10 mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20 mg/m³以下
 太枠 :1年間で環境基準を満たさなかった時間、又は日数

⑥二酸化硫黄

(a)二酸化硫黄(SO₂)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppm)					日平均値の2%除外値(ppm)				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
けやき台測定局	住居	0.001	0.001	-	-	-	0.003	0.002	-	-	-
東所沢測定局	住居	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002
北野測定局	住居	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002

二酸化硫黄(SO₂)の経年変化



(b) 二酸化硫黄(SO₂)の月間値

局名	項 目	H24年												H25年			H24年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
東所沢	測定日数 日	30	31	30	31	31	30	28	30	31	31	28	31	362			
	測定時間 時間	711	730	709	731	734	711	700	708	732	733	661	733	8593			
	月平均値 ppm	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001			
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数 時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	日平均値が0.4ppmを超えた日数 日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	1時間値の最高値 ppm	0.005	0.006	0.011	0.030	0.006	0.012	0.011	0.004	0.004	0.006	0.007	0.007	0.030			
日平均値の最高値 ppm	0.002	0.002	0.003	0.003	0.002	0.003	0.001	0.001	0.002	0.001	0.002	0.003	0.003				
北野	測定日数 日	30	31	30	31	31	30	29	30	31	31	28	31	363			
	測定時間 時間	710	729	707	732	731	709	722	704	731	730	662	733	8600			
	月平均値 ppm	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001			
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数 時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	日平均値が0.4ppmを超えた日数 日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	1時間値の最高値 ppm	0.008	0.005	0.013	0.010	0.005	0.007	0.007	0.003	0.004	0.005	0.003	0.004	0.013			
日平均値の最高値 ppm	0.002	0.002	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.003				

二重線 □: 環境基準との比較に使用する値

太枠 □: 1年間で環境基準を満たさなかった時間、又は日数

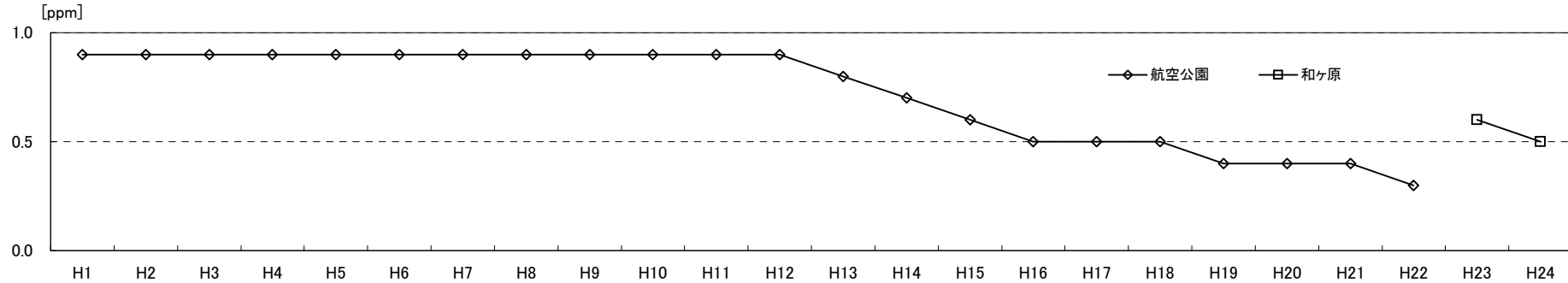
環境基準 : 1時間値の一日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下

⑦一酸化炭素

(a)一酸化炭素(CO)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppm)					日平均値の2%除外値(ppm)				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
航空公園測定局	無指定	0.4	0.4	0.3	-	-	0.7	0.7	0.7	-	-
和ヶ原測定局	準住	-	-	-	0.6	0.5	-	-	-	0.9	0.8

一酸化炭素(CO)の経年変化



(b)一酸化炭素(CO)の月間値

局名	項目	H24年												H25年			H24年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
和ヶ原	測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
	測定時間	716	739	711	733	732	711	729	710	736	736	663	734	8650			
	月平均値	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5			
	8時間値が20ppmを超えた時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	日平均値が10ppmを超えた日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	1時間値の最高値	1.1	0.8	1.1	0.9	0.7	0.8	1.2	1.6	1.8	2.4	1.7	1.8	2.4			
	日平均値の最高値	0.6	0.6	0.6	0.7	0.5	0.5	0.7	0.8	0.9	1.0	0.8	0.8	1.0			
1時間値が30ppm以上となった日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

二重線 □: 環境基準との比較に使用する値
 環境基準 : 1時間値の一日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下
 太枠 □: 1年間で環境基準を満たさなかった時間、又は日数

⑧微小粒子状物質

(a)微小粒子状物質(PM2.5)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)					日平均値の98%値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
北野測定局	住居	-	-	-	-	14.5	-	-	-	-	32.8

(b)微小粒子状物質(PM2.5)の月間値

局名	項目	H24年										H25年			H24年度	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
北野	測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	31	30	23	31	359
	測定時間	715	739	717	741	743	717	741	718	741	728	573	742	8615		
	月平均値	14.5	15.8	13.7	17.4	11.9	14.2	15.2	14.4	13.3	12.5	12.9	17.8	14.5		
	日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3		
	1時間値の最高値	60	52	45	55	54	53	40	51	71	54	55	73	73		
	日平均値の最高値	27.3	35.3	26.2	36.2	20.0	22.9	24.5	30.6	42.0	24.2	22.9	34.6	42.0		

二重線 □ : 環境基準との比較に使用する値

環境基準 : 1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

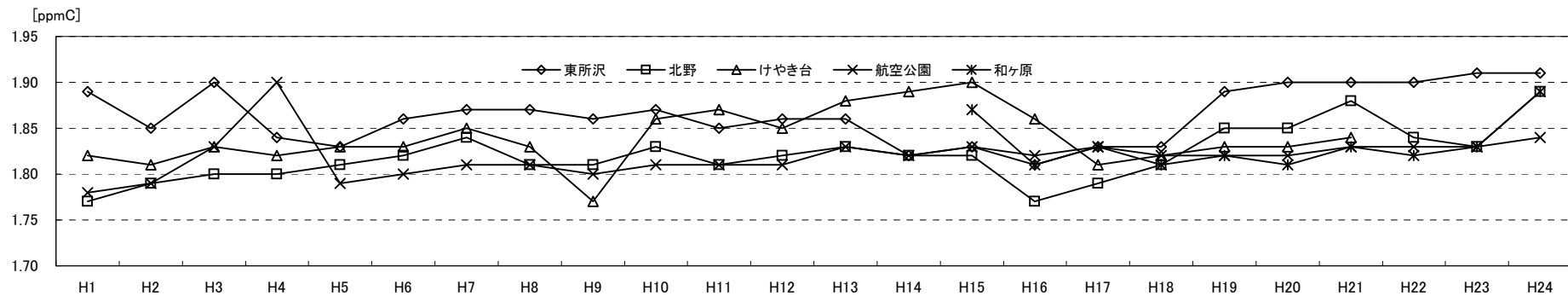
※日平均値について評価する場合、1日平均値のうち低いほうから数えて98%番目に当たる値と環境基準($35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下)の比較を行う。

⑨メタン

(a)メタン(CH_4)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppmC)					6~9時における年平均値(ppmC)				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
けやき台測定局	住居	1.83	1.84	-	-	-	1.84	1.85	-	-	-
東所沢測定局	住居	1.90	1.90	1.90	1.91	1.91	1.92	1.93	1.93	1.93	1.93
北野測定局	住居	1.85	1.88	1.84	1.83	1.89	1.87	1.89	1.86	1.85	1.90
航空公園測定局	無指定	1.82	1.83	1.83	1.83	1.84	1.83	1.84	1.84	1.85	1.85
和ヶ原測定局	準住	1.81	1.83	1.82	1.83	1.89	1.83	1.84	1.84	1.86	1.91

メタン(CH_4)の経年変化



(b)メタン(CH₄)の月間値

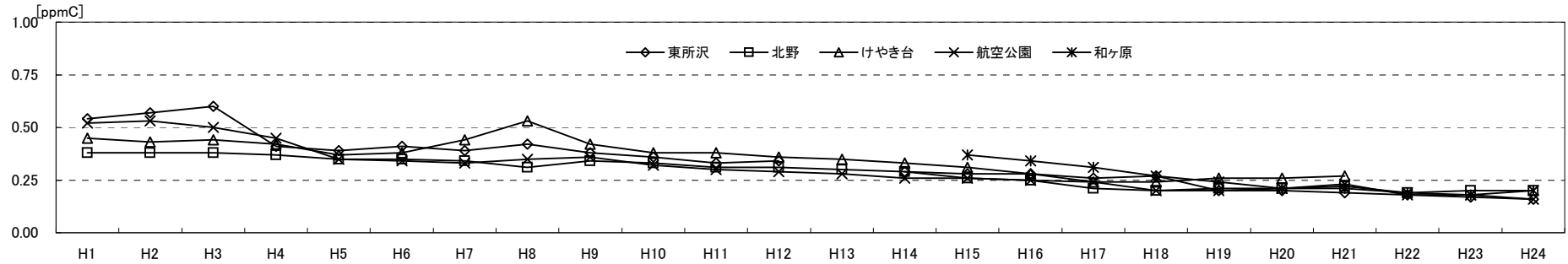
局名	項 目	H24年										H25年			H24年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
東所沢	測定時間	時間	685	706	684	707	706	682	702	684	706	708	638	706	8314
	月平均値	ppmC	1.91	1.90	1.89	1.86	1.81	1.85	1.91	1.95	1.95	1.96	1.95	1.93	1.91
	6～9時における月平均値	ppmC	1.93	1.91	1.92	1.88	1.86	1.88	1.92	1.97	1.98	1.98	1.97	1.96	1.93
	6～9時測定日数	日	30	31	30	31	31	29	31	30	31	31	28	31	364
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	2.08	1.99	2.10	2.06	1.98	1.98	2.03	2.14	2.09	2.08	2.12	2.22
最低値		ppmC	1.87	1.85	1.80	1.75	1.75	1.78	1.83	1.88	1.91	1.91	1.91	1.89	1.75
北野	測定時間	時間	685	705	682	706	706	685	697	683	707	706	639	706	8307
	月平均値	ppmC	1.87	1.87	1.87	1.84	1.80	1.83	1.88	1.92	1.94	1.95	1.94	1.92	1.89
	6～9時における月平均値	ppmC	1.88	1.88	1.89	1.85	1.83	1.85	1.90	1.94	1.96	1.97	1.96	1.94	1.90
	6～9時測定日数	日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	1.96	1.93	2.07	2.01	1.94	1.94	1.99	2.03	2.07	2.10	2.15	2.02
最低値		ppmC	1.83	1.82	1.81	1.74	1.76	1.77	1.81	1.87	1.89	1.90	1.91	1.88	1.74
航空公園	測定時間	時間	685	707	682	686	707	686	707	675	706	707	639	707	8294
	月平均値	ppmC	1.84	1.82	1.82	1.79	1.75	1.78	1.83	1.87	1.87	1.89	1.89	1.88	1.84
	6～9時における月平均値	ppmC	1.85	1.83	1.84	1.81	1.79	1.80	1.84	1.86	1.88	1.89	1.90	1.88	1.85
	6～9時測定日数	日	30	31	30	30	31	30	31	29	31	31	28	31	363
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	1.93	1.89	2.05	1.98	1.90	1.90	1.93	1.94	1.94	1.96	2.00	1.97
最低値		ppmC	1.80	1.78	1.76	1.70	1.71	1.73	1.77	1.82	1.83	1.84	1.85	1.85	1.70
和ヶ原	測定時間	時間	682	706	681	706	705	684	701	690	723	707	638	706	8329
	月平均値	ppmC	1.86	1.86	1.87	1.83	1.80	1.82	1.88	1.93	1.95	1.96	1.94	1.92	1.89
	6～9時における月平均値	ppmC	1.87	1.87	1.88	1.85	1.84	1.85	1.91	1.97	1.98	2.01	1.98	1.95	1.91
	6～9時測定日数	日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	1.98	1.94	2.04	1.95	1.90	2.08	2.14	2.15	2.24	2.23	2.24	2.12
最低値		ppmC	1.81	1.81	1.79	1.72	1.77	1.75	1.80	1.84	1.86	1.89	1.88	1.87	1.72

⑩非メタン炭化水素

(a)非メタン炭化水素(NMHC)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppmC)					6～9時における年平均値(ppmC)				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
けやき台測定局	住居	0.26	0.27	-	-	-	0.26	0.28	-	-	-
東所沢測定局	住居	0.20	0.19	0.18	0.17	0.16	0.21	0.21	0.20	0.18	0.17
北野測定局	住居	0.21	0.22	0.19	0.20	0.20	0.22	0.24	0.21	0.21	0.22
航空公園測定局	無指定	0.21	0.23	0.18	0.18	0.16	0.21	0.24	0.19	0.18	0.17
和ヶ原測定局	準住	0.21	0.21	0.19	0.18	0.20	0.24	0.23	0.21	0.21	0.22

非メタン炭化水素(NMHC)の経年変化



(b) 非メタン炭化水素(NMHC)の月間値

局名	項 目	H24年												H25年			H24年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
東所沢	測定時間	時間	685	706	684	705	706	682	702	684	706	708	638	706	8312		
	月平均値	ppmC	0.13	0.13	0.13	0.14	0.13	0.13	0.16	0.22	0.20	0.18	0.17	0.16	0.16		
	6～9時における月平均値	ppmC	0.15	0.13	0.14	0.13	0.13	0.13	0.15	0.22	0.24	0.21	0.19	0.18	0.17		
	6～9時測定日数	日	30	31	30	31	31	29	31	30	31	31	28	31	364		
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	0.28	0.25	0.26	0.24	0.23	0.22	0.31	0.48	0.52	0.45	0.53	0.54	0.54	
		最低値	ppmC	0.05	0.06	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.07	0.05	0.05	
	6～9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数	日	7	2	3	2	1	3	5	14	15	12	9	10	83		
6～9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	5	10	7	6	4	32			
北野	測定時間	時間	685	705	682	706	706	684	697	683	707	706	639	706	8306		
	月平均値	ppmC	0.17	0.18	0.19	0.23	0.20	0.18	0.21	0.24	0.24	0.21	0.18	0.17	0.20		
	6～9時における月平均値	ppmC	0.19	0.18	0.19	0.22	0.24	0.20	0.22	0.25	0.27	0.26	0.23	0.19	0.22		
	6～9時測定日数	日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	0.34	0.32	0.34	0.36	0.42	0.34	0.40	0.47	0.54	0.59	0.65	0.47	0.65	
		最低値	ppmC	0.10	0.09	0.09	0.12	0.17	0.08	0.09	0.09	0.07	0.05	0.06	0.06	0.05	
	6～9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数	日	12	8	11	18	16	15	16	19	18	17	14	11	175		
6～9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数	日	1	1	1	4	3	2	5	10	12	9	9	5	62			
航空公園	測定時間	時間	684	707	682	686	706	686	707	675	706	707	639	707	8292		
	月平均値	ppmC	0.14	0.14	0.15	0.18	0.16	0.15	0.15	0.20	0.20	0.18	0.16	0.16	0.16		
	6～9時における月平均値	ppmC	0.15	0.14	0.14	0.16	0.17	0.16	0.14	0.20	0.22	0.19	0.17	0.17	0.17		
	6～9時測定日数	日	30	31	30	30	31	30	31	29	31	31	28	31	363		
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	0.27	0.33	0.28	0.29	0.27	0.29	0.28	0.42	0.45	0.39	0.45	0.46	0.46	
		最低値	ppmC	0.08	0.06	0.07	0.06	0.10	0.06	0.07	0.08	0.06	0.03	0.04	0.05	0.03	
	6～9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数	日	5	3	6	8	4	7	4	13	16	12	9	12	99		
6～9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数	日	0	1	0	0	0	0	0	3	5	2	5	4	20			

局名	項 目	H24年										H25年			H24年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
和ヶ原	測定時間	676	704	681	706	705	684	700	688	722	703	636	703	8308	
	月平均値 ppmC	0.16	0.17	0.19	0.21	0.17	0.16	0.20	0.26	0.27	0.24	0.19	0.17	0.20	
	6～9時における月平均値 ppmC	0.18	0.17	0.18	0.21	0.20	0.18	0.21	0.27	0.31	0.32	0.25	0.20	0.22	
	6～9時測定日数 日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
	6～9時3時間値	最高値 ppmC	0.33	0.32	0.34	0.32	0.34	0.32	0.39	0.49	0.63	0.69	0.68	0.60	0.69
		最低値 ppmC	0.07	0.08	0.08	0.07	0.13	0.05	0.09	0.07	0.03	0.03	0.04	0.02	0.02
	6～9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数 日	12	8	10	17	15	11	12	20	19	20	16	12	172	
6～9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数 日	1	1	2	1	2	1	8	13	17	13	11	7	77		

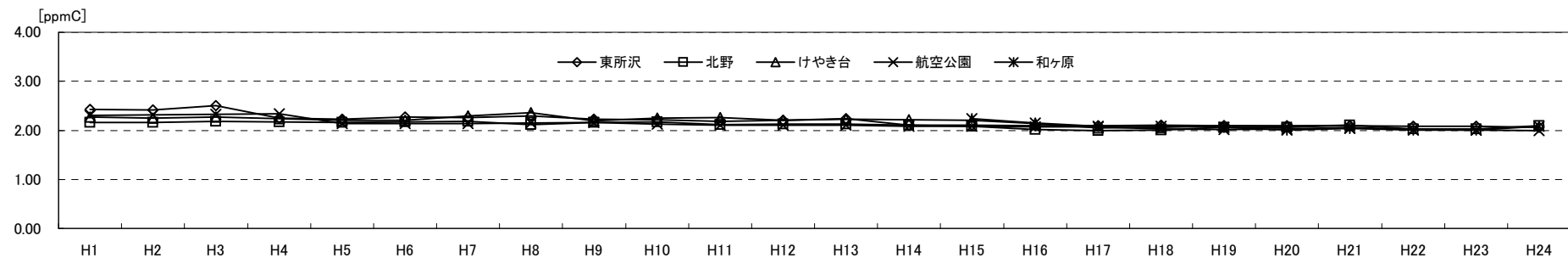
網掛け : 指針値未達成の日数
 二重線 : 指針との比較に使用する値
 太枠 : 1年間で指針値を満たさなかった日数
 指針値 : 午前6時～9時までの非メタン化炭素の3時間平均値が0.20ppmC～0.31ppmCの範囲内

①全炭化水素

(a)全炭化水素(THC)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppmC)					6～9時における年平均値(ppmC)				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
けやき台測定局	住居	2.08	2.11	-	-	-	2.10	2.13	-	-	-
東所沢測定局	住居	2.09	2.09	2.08	2.08	2.06	2.13	2.13	2.13	2.11	2.09
北野測定局	住居	2.06	2.10	2.03	2.03	2.09	2.09	2.13	2.07	2.06	2.12
航空公園測定局	無指定	2.03	2.06	2.02	2.01	2.00	2.04	2.08	2.04	2.03	2.01
和ヶ原測定局	準住	2.01	2.04	2.01	2.01	2.08	2.06	2.07	2.06	2.06	2.14

全炭化水素(THC)の経年変化



(b)全炭化水素(THC)の月間値

局名	項 目		H24年										H25年			H24年度
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
東所沢	測定時間	時間	685	706	684	705	706	682	702	684	706	708	638	706	8312	
	月平均値	ppmC	2.04	2.03	2.03	2.00	1.94	1.97	2.06	2.16	2.16	2.14	2.12	2.09	2.06	
	6～9時における月平均値	ppmC	2.08	2.04	2.05	2.01	1.99	2.01	2.08	2.18	2.22	2.18	2.16	2.13	2.09	
	6～9時測定日数	日	30	31	30	31	31	29	31	30	31	31	28	31	364	
	6～9時3時間値	最高値 最低値	ppmC ppmC	2.35 1.97	2.22 1.92	2.33 1.90	2.27 1.81	2.21 1.84	2.19 1.84	2.34 1.89	2.63 1.96	2.61 1.97	2.53 1.96	2.65 1.98	2.76 1.96	2.76 1.81
北野	測定時間	時間	685	705	682	706	706	684	697	683	707	706	639	706	8306	
	月平均値	ppmC	2.04	2.05	2.06	2.07	2.00	2.01	2.09	2.16	2.18	2.16	2.12	2.09	2.09	
	6～9時における月平均値	ppmC	2.07	2.06	2.08	2.08	2.07	2.05	2.12	2.19	2.23	2.22	2.19	2.13	2.12	
	6～9時測定日数	日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
	6～9時3時間値	最高値 最低値	ppmC ppmC	2.29 1.93	2.24 1.92	2.35 1.94	2.33 1.86	2.34 1.94	2.27 1.91	2.34 1.94	2.46 1.99	2.61 1.97	2.69 1.95	2.80 1.98	2.50 1.96	2.80 1.86
航空公園	測定時間	時間	684	707	682	686	706	686	707	675	706	707	639	707	8292	
	月平均値	ppmC	1.98	1.97	1.98	1.97	1.91	1.92	1.98	2.06	2.08	2.06	2.05	2.03	2.00	
	6～9時における月平均値	ppmC	1.99	1.97	1.98	1.97	1.96	1.96	1.98	2.06	2.10	2.08	2.07	2.05	2.01	
	6～9時測定日数	日	30	31	30	30	31	30	31	29	31	31	28	31	363	
	6～9時3時間値	最高値 最低値	ppmC ppmC	2.20 1.89	2.13 1.84	2.26 1.85	2.22 1.78	2.15 1.83	2.18 1.84	2.21 1.86	2.34 1.91	2.38 1.89	2.33 1.87	2.45 1.90	2.42 1.90	2.45 1.78
和ヶ原	測定時間	時間	676	704	681	706	705	684	700	688	722	703	636	703	8308	
	月平均値	ppmC	2.02	2.04	2.05	2.04	1.97	1.98	2.09	2.19	2.22	2.20	2.12	2.09	2.08	
	6～9時における月平均値	ppmC	2.05	2.04	2.06	2.05	2.04	2.04	2.12	2.24	2.29	2.33	2.23	2.15	2.14	
	6～9時測定日数	日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
	6～9時3時間値	最高値 最低値	時間 ppmC	2.26 1.91	2.26 1.89	2.33 1.91	2.26 1.82	2.21 1.91	2.37 1.85	2.49 1.89	2.58 1.91	2.77 1.93	2.85 1.93	2.84 1.94	2.72 1.91	2.85 1.82

(4)有害大気汚染物質

①東所沢測定局

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

測定対象物質	H24年										H25年			H24年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	最高	最低	
アクリロニトリル	0.005	0.022	0.018	0.033	0.012	0.043	0.044	0.074	0.016	0.026	0.025	0.032	0.029	0.074	0.005	
塩化ビニルモノマー	0.024	<0.003	0.025	0.034	0.014	0.015	0.021	0.023	0.015	0.012	0.018	0.037	0.020	0.037	<0.003	
クロロホルム	0.14	0.19	0.27	0.30	0.22	0.30	0.28	0.33	0.12	0.10	0.10	0.15	0.21	0.33	0.10	
1,2-ジクロロエタン	0.074	0.072	0.061	0.14	0.041	0.050	0.073	0.082	0.063	0.069	0.070	0.12	0.076	0.14	0.041	
ジクロロメタン	3.4	6.7	1.5	1.8	2.6	4.2	6.6	7.6	1.9	10	7.8	3.2	4.8	10	1.5	
テトラクロロエチレン	0.16	0.30	0.15	0.22	0.23	0.26	0.35	0.41	0.075	0.45	0.25	0.34	0.27	0.45	0.075	
トリクロロエチレン	0.44	1.0	0.41	0.46	0.39	0.80	0.94	3.0	1.0	2.8	2.0	1.5	1.2	3.0	0.39	
ベンゼン	0.54	0.72	0.52	0.68	0.58	0.90	0.86	1.8	0.80	1.2	0.98	1.4	0.92	1.8	0.52	
1,3-ブタジエン	0.062	0.091	0.061	0.042	0.047	0.069	0.11	0.27	0.079	0.14	0.11	0.15	0.10	0.27	0.041	
塩化メチル	1.5	1.5	1.5	1.7	1.5	1.8	1.6	1.8	1.2	1.5	1.5	1.7	1.6	1.8	1.2	

注1)測定結果については、測定値が検出下限値以上の場合は「その値」を用い、検出下限値未満の場合は「検出下限値の1/2の値ND」とした。

注2)平均値の算出においては、測定結果が検出下限値未満の場合は「検出下限値の1/2の値」を用い、算術平均した。

太枠 : 環境基準との比較に使用する値

【環境基準】

・ベンゼン	年平均値が $3\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること
・トリクロロエチレン	年平均値が $200\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること
・テトラクロロエチレン	年平均値が $200\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること
・ジクロロメタン	年平均値が $150\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること

【指針値】

・アクリロニトリル	$2\mu\text{g}/\text{m}^3$	・1,2-ジクロロエタン	$1.6\mu\text{g}/\text{m}^3$
・塩化ビニルモノマー	$10\mu\text{g}/\text{m}^3$	・1,3-ブタジエン	$2.5\mu\text{g}/\text{m}^3$
・水銀及びその化合物	$40\text{ng}/\text{m}^3$	・ヒ素及びその化合物	$6\text{ng}/\text{m}^3$
・ニッケル化合物	$25\text{ng}/\text{m}^3$		
・クロロホルム	$18\mu\text{g}/\text{m}^3$		

②北野測定局

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、ただし、ベンゾ[a]ピレン、重金属類は ng/m^3 、アスベストは本/L)

測定対象物質	H24年										H25年			H24年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	最高	最低	
アクリロニトリル	0.008	0.019	0.018	0.026	0.012	0.043	0.050	0.092	0.022	0.028	0.034	0.032	0.032	0.092	0.008	
塩化ビニルモノマー	0.007	<0.003	0.008	0.010	0.020	0.009	0.017	0.019	0.012	0.012	0.008	0.023	0.012	0.023	<0.003	
キシレン類	1.5	2.6	3.3	3.6	1.6	3.7	2.6	3.6	1.7	2.2	1.7	3.0	2.6	3.7	1.5	
クロロホルム	0.16	0.18	0.31	0.32	0.20	0.30	0.26	0.25	0.11	0.10	0.10	0.16	0.20	0.33	0.10	
1,2-ジクロロエタン	0.073	0.079	0.081	0.14	0.041	0.054	0.072	0.082	0.063	0.072	0.072	0.12	0.079	0.14	0.041	
ジクロロメタン	1.1	1.5	0.98	1.4	1.2	2.1	1.4	2.1	0.74	1.1	1.1	1.6	1.4	2.1	0.74	
テトラクロロエチレン	0.16	0.19	0.13	0.20	0.42	0.19	0.16	0.15	0.034	0.052	0.071	0.15	0.16	0.42	0.034	
トリクロロエチレン	0.52	1.7	0.38	0.42	0.36	0.79	1.1	2.3	1.6	2.0	2.3	1.4	1.2	2.3	0.36	
トルエン	5.6	8.5	8.7	8.2	5.6	11	8.8	16	6.3	8.4	10	9.7	8.9	16	5.5	
ベンゼン	0.56	0.73	0.56	0.71	0.80	0.97	0.85	1.5	0.91	1.4	0.98	1.3	0.94	1.5	0.56	
1,3-ブタジエン	0.062	0.088	0.065	0.049	0.081	0.078	0.11	0.23	0.12	0.16	0.11	0.13	0.11	0.23	0.047	
塩化メチル	1.5	1.5	1.5	1.7	1.5	1.8	1.6	1.7	1.2	1.6	1.6	1.7	1.6	1.8	1.2	
酸化エチレン	0.044	0.060	0.093	0.079	0.077	0.086	0.069	0.085	0.072	0.044	0.049	0.050	0.067	0.093	0.044	
アセトアルデヒド	1.8	1.8	2.5	3.0	2.5	3.9	2.4	2.0	1.6	1.7	2.4	3.2	2.4	3.9	1.6	
ホルムアルデヒド	1.8	2.2	3.3	5.1	4.7	6.3	3.0	2.2	1.2	1.1	1.2	2.0	2.8	6.3	1.1	

水銀及びその化合物	2.2	2.9	1.6	1.4	1.8	1.5	2.0	2.8	2.4	2.0	2.1	2.2	2.1	2.9	1.4
ベンゾ[a]ピレン	0.052	0.061	0.049	0.091	0.11	0.23	0.18	0.21	0.18	0.20	0.17	0.23	0.15	0.23	0.049
ニッケル化合物	14	3.5	4.8	1.3	2.8	5.0	3.0	3.0	4.8	2.3	3.3	4.9	4.4	14	1.3
ヒ素及びその化合物	0.99	1.2	0.72	1.0	2.5	0.79	0.64	0.65	0.34	0.49	1.0	4.0	1.2	4.0	0.34
マンガン及びその化合物	17	17	18	13	11	16	16	13	12	15	16	47	18	47	11
ベリリウム及びその化合物	<0.023	<0.029	<0.021	<0.028	<0.009	<0.012	<0.023	<0.025	<0.021	<0.017	<0.023	<0.027	0.011	<0.029	<0.009
六価クロム化合物	9.0	1.7	5.5	3.5	1.1	2.8	3.7	7.1	3.2	2.8	2.7	6.3	4.1	9.0	1.1
カドミウム	0.14	0.29	0.29	0.15	0.26	0.30	0.18	0.19	0.054	0.14	0.14	0.60	0.23	0.60	0.054
鉛	8.7	8.4	11	7.9	7.7	5.7	10	7.1	4.4	6.8	6.4	30	9.5	30	4.4
亜鉛及びその化合物	96	66	43	61	52	80	110	34	47	68	55	99	68	110	34
バナジウム及びその化合物	2.6	2.0	6.4	7.3	2.3	8.0	3.2	1.6	1.3	1.5	2.0	5.7	3.7	8.0	1.3
浮遊粉じん量	18	26	31	31	30	34	24	29	25	23	23	83	31	83	18
アスベスト		0.056			<0.056			<0.056			0.070		0.060	0.070	<0.056

注1)、注2)参照

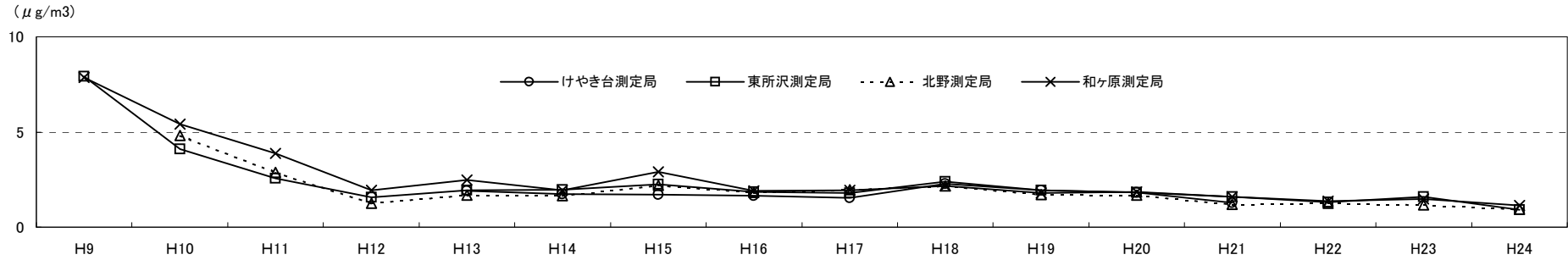
③和ヶ原測定局

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、ただし、ベンゾ[a]ピレンは ng/m^3)

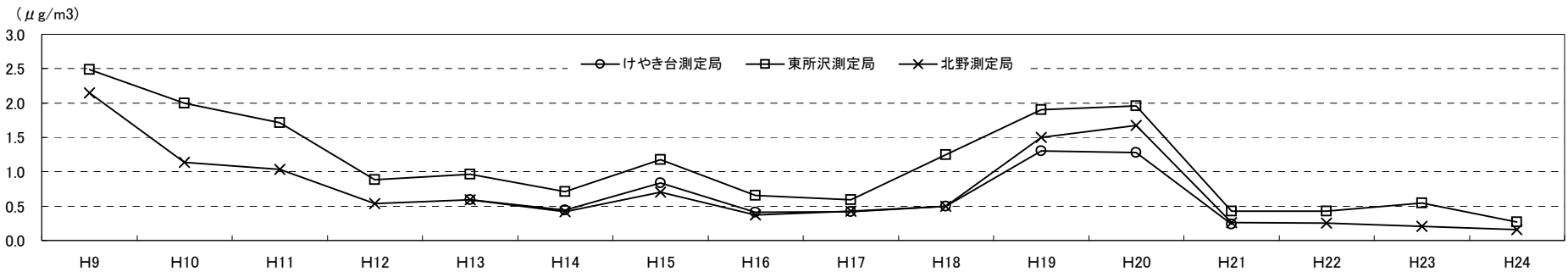
測定対象物質	H24年									H25年			H24年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	最高	最低
キシレン類	1.1	2.3	2.2	1.8	3.3	2.7	2.0	3.5	2.7	3.6	1.5	2.7	2.4	3.7	1.1
トルエン	5.6	9.1	6.9	8.1	8.9	9.5	8.1	13	9.0	14	9.2	8.1	9.1	15	5.6
ベンゼン	0.66	0.96	0.86	0.92	0.65	1.3	1.0	1.7	1.4	1.8	0.98	1.5	1.1	1.9	0.66
1,3-ブタジエン	0.080	0.15	0.13	0.095	0.046	0.16	0.16	0.29	0.28	0.30	0.11	0.18	0.17	0.30	0.046
アセトアルデヒド	1.8	2.2	3.1	4.0	8.4	4.2	2.6	2.0	2.3	2.4	2.3	3.3	3.2	8.4	1.7
ホルムアルデヒド	1.5	2.0	3.0	4.6	16	5.8	2.9	1.7	1.7	1.5	0.96	2.1	3.6	16	0.96
ベンゾ[a]ピレン	0.064	0.070	0.097	0.097	0.14	0.13	0.17	0.29	0.49	0.38	0.17	0.32	0.20	0.49	0.064

注1)、注2)参照

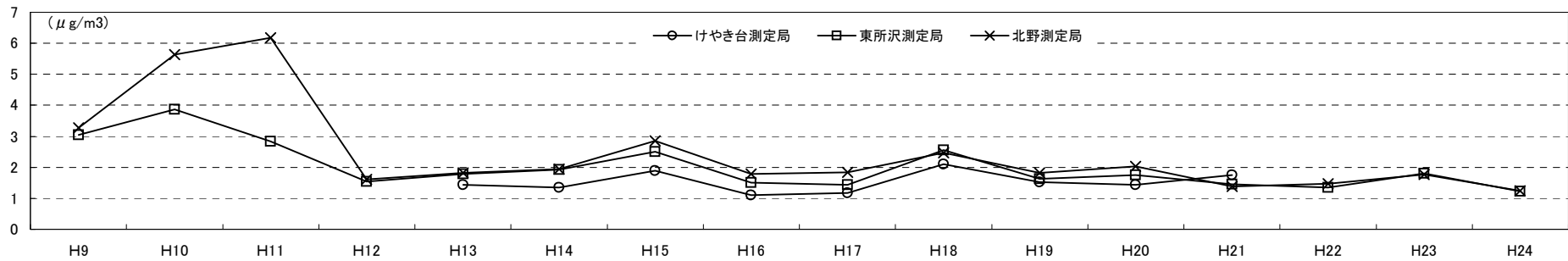
■ベンゼンの経年変化



■テトラクロロエチレンの経年変化

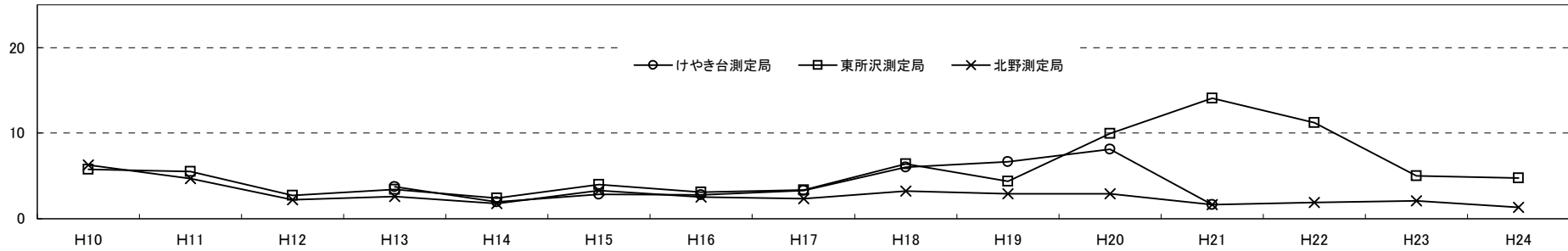


■トリクロロエチレンの経年変化



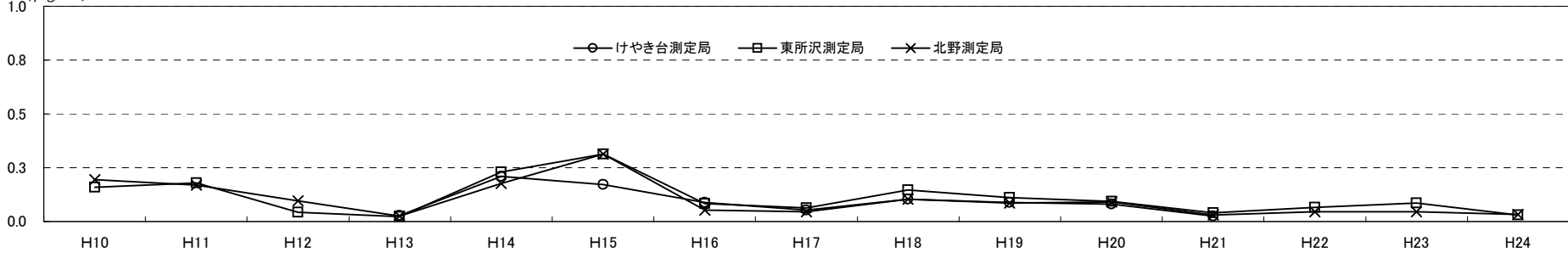
■ジクロロメタンの経年変化

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)



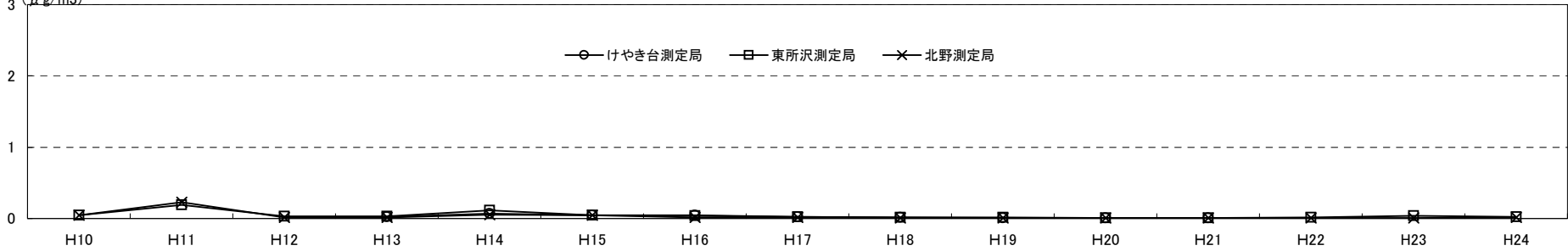
■アクリロニトリルの経年変化

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)

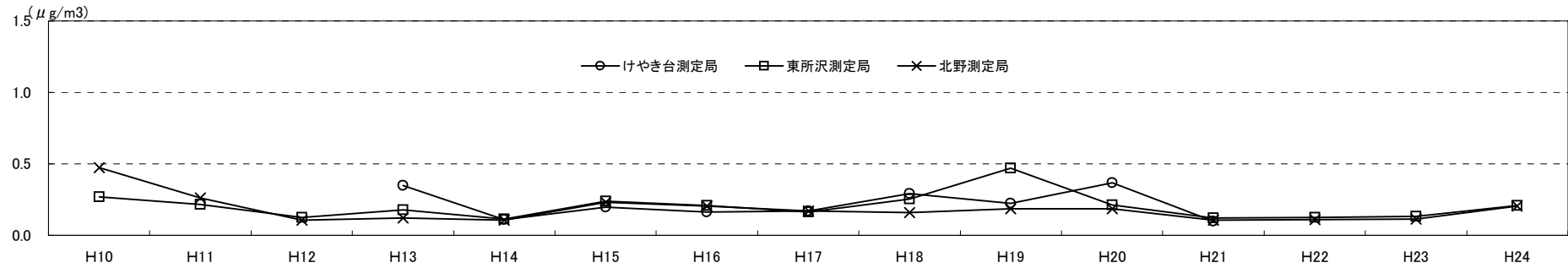


■塩化ビニルモノマーの経年変化

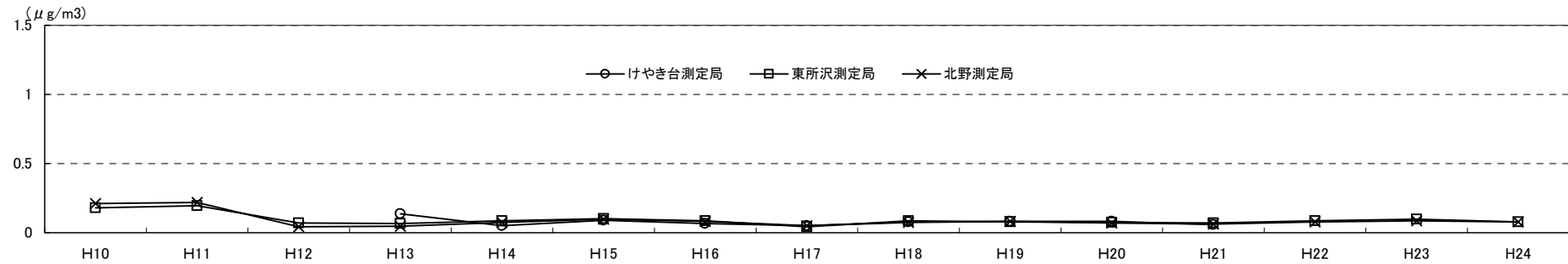
($\mu\text{g}/\text{m}^3$)



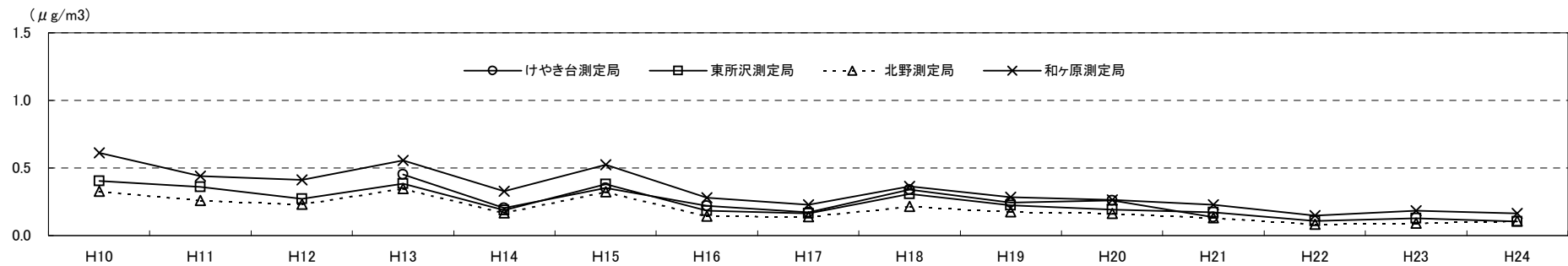
■クロロホルムの経年変化



■1,2-ジクロロエタンの経年変化

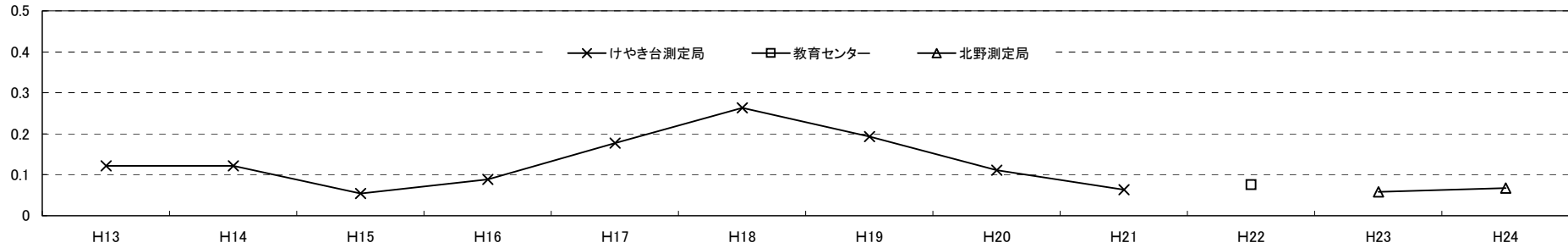


■1,3-ブタジエンの経年変化



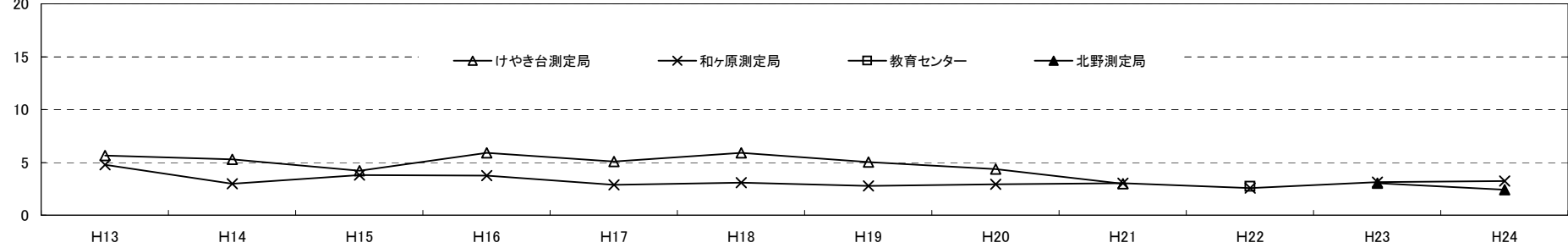
■酸化エチレンの経年変化

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)



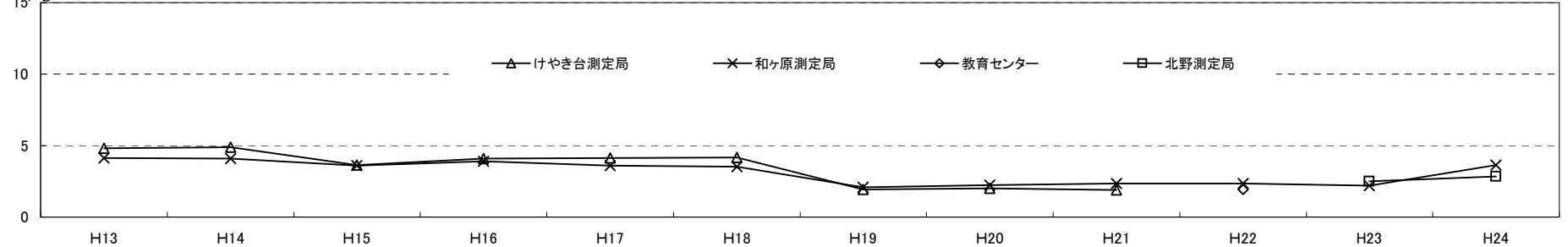
■アセトアルデヒドの経年変化

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)

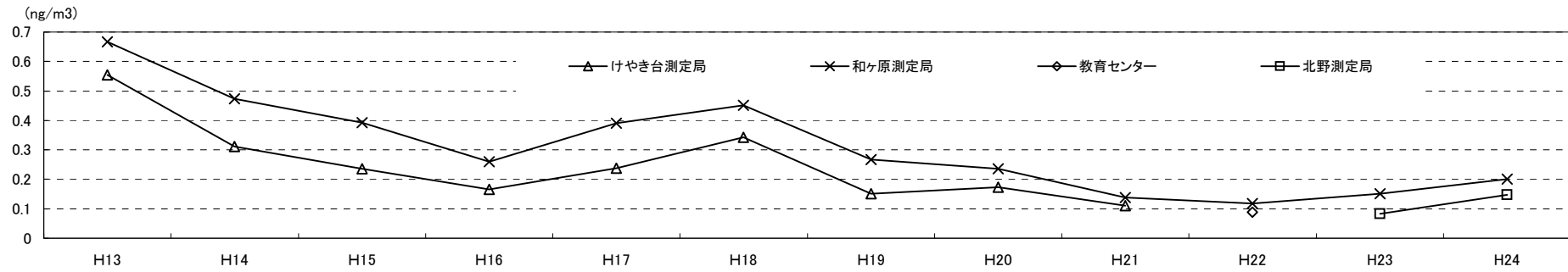


■ホルムアルデヒドの経年変化

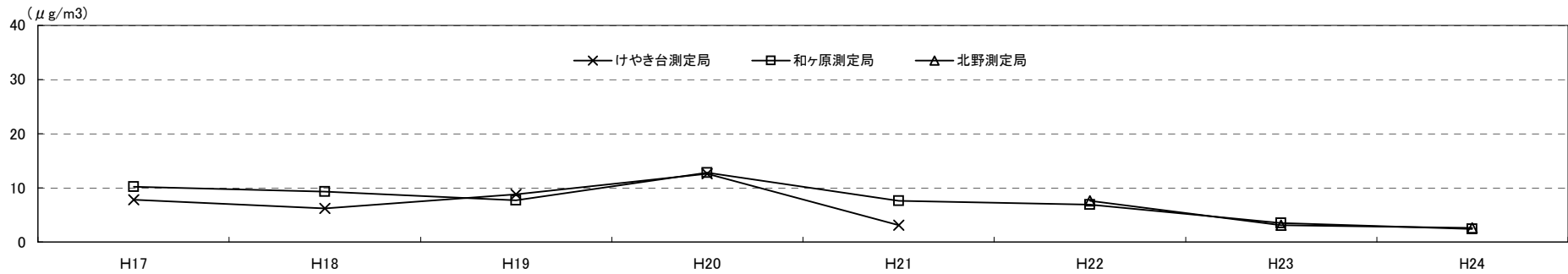
($\mu\text{g}/\text{m}^3$)



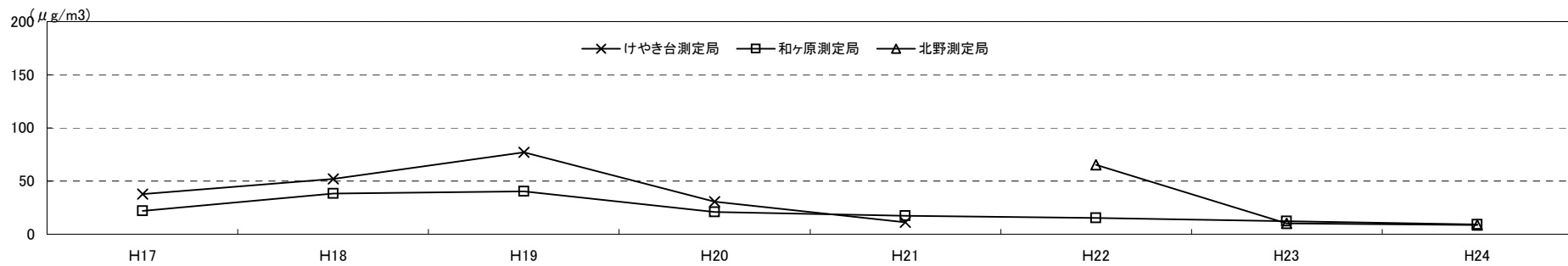
■ベンゾ(a)ピレンの経年変化



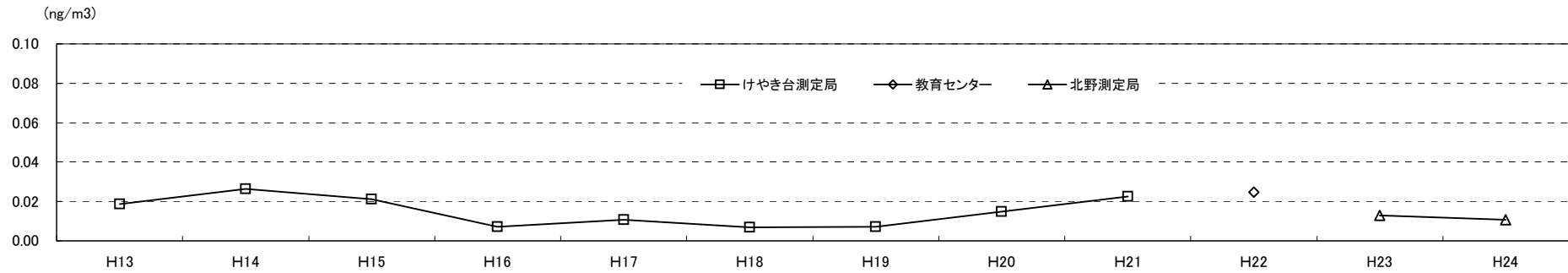
■キシレン類の経年変化



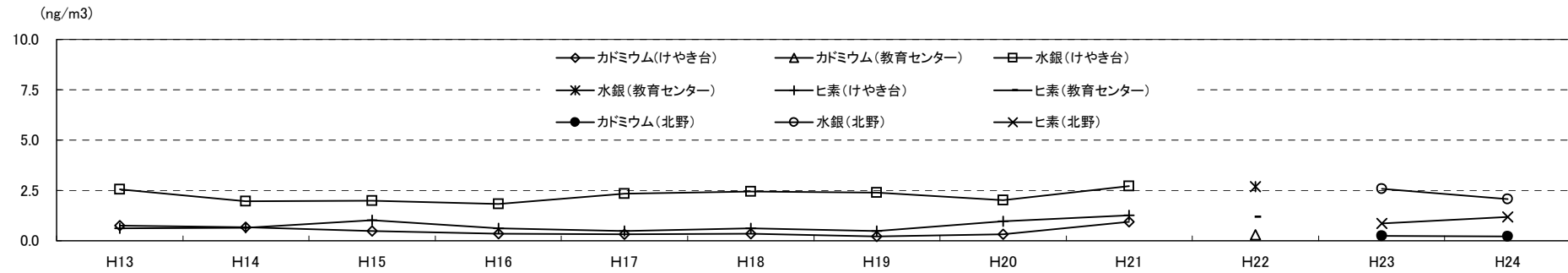
■トルエンの経年変化



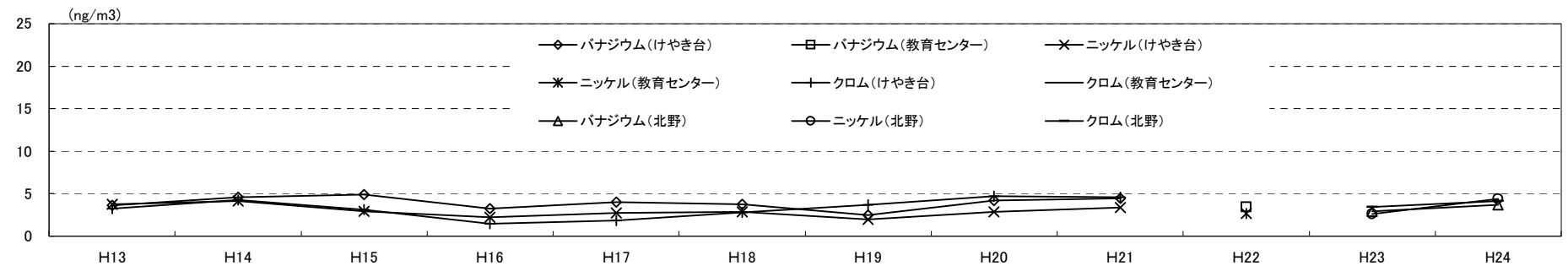
■ベリリウム の経年変化



■カドミウム、水銀、ヒ素の経年変化

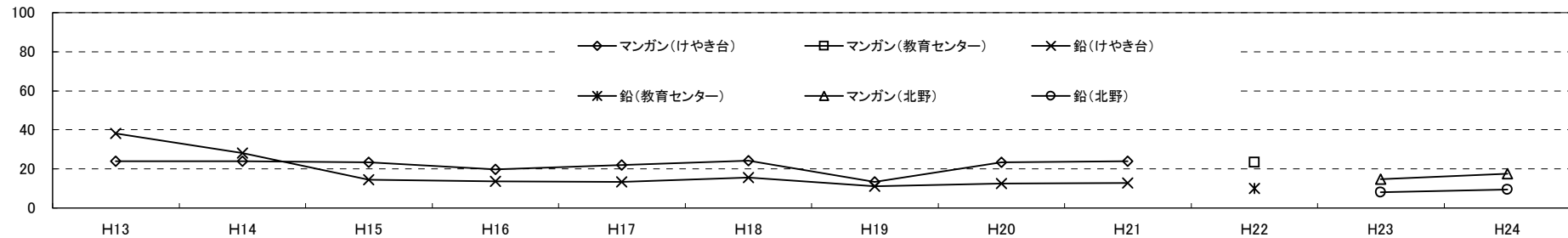


■バナジウム、ニッケル、クロムの経年変化



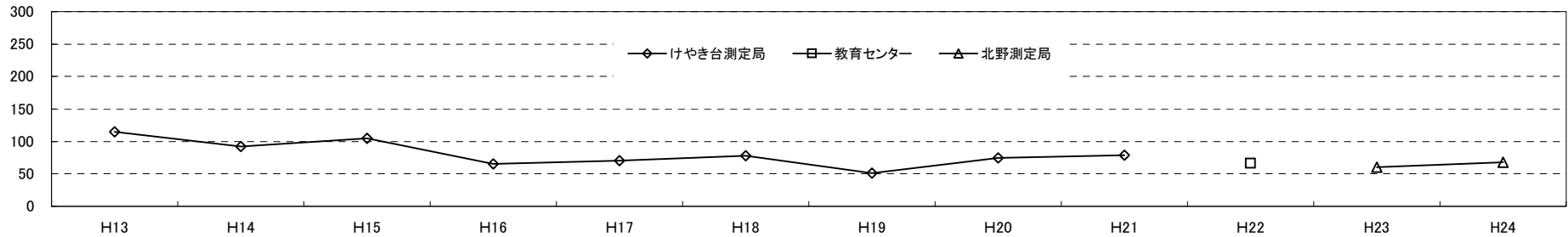
■ マンガン、鉛の経年変化

(ng/m³)



■ 亜鉛の経年変化

(ng/m³)



(5) その他

酸性雨(東所沢測定局)

(a) 酸性雨の測定方法

現在、所沢市における酸性雨の測定には酸性雨自動分析システム C-U273(株)小笠原計器製作所)を使用しています。

酸性雨とは、工場や自動車などから排出されたSO_xやNO_xが雨に溶解し、雨が酸性になった状態のことです。酸性雨にSO_xやNO_xがどの程度含まれているかを検討する指標として水素イオン濃度指数(pH値)が使用されています。また、SO_xやNO_xは降り始めの段階で雨に取り込まれることが多く、初期降雨においてpH値が低くなるといわれています。なお、pH値は一降雨中の間でも大きく変動することから、降雨中は1mmごとにpH値の測定を行っています。

(b) 酸性雨の経年変化

測定項目	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
降雨数(回)	84	84	76	81	80
総降雨量(mm)	1848	1422	1628	1417	1332
年平均pH値 ^{注1),注2)}	4.45	4.71	4.63	4.61	4.59
最低pH値	3.00	3.24	3.40	3.42	3.46

注1) 年平均pH値は、加重平均値(1年間分の降水を全部混ぜ合わせたとした場合の値)で求める。これは、pH値が水素イオン濃度の逆対数であり、算術平均できないためである。

注2) 加重平均: 平均値の算出方法の一つ。平均する各項の条件の違いを考慮に入れ、対応する重みをつけてから平均する手法。

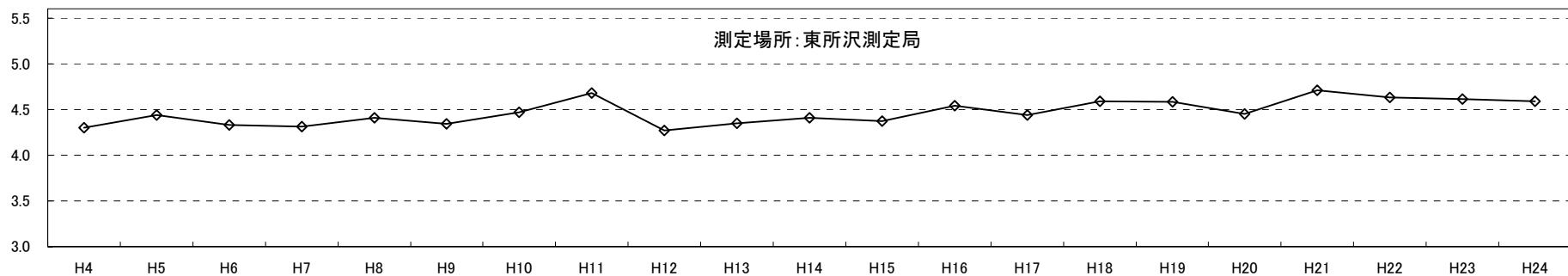
(c) 酸性雨の月間値

測定項目	H24年										H25年			H24年度 平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
降雨数(回)	7	10	7	8	7	13	7	6	5	1	3	6	6.7	
降雨量(mm)	132	225	188	103	42	293	77	88	50	59	27	51	111	
月平均pH値 ^{注3)}	4.23	4.66	4.67	4.4	4.78	4.69	4.61	4.82	5.06	4.93	4.71	4.42	4.59	
最低pH値	3.46	3.8	3.57	3.58	4.13	3.94	3.84	3.88	4.41	3.84	4.01	3.63	-	

注3) 月の平均pH値は、加重平均値(1ヵ月分の降水を全部混ぜ合わせたとした場合の値)で求める。

降雨中pHの経年変化

[pH]



2 水質污濁



(1) 水質汚濁に係る環境基準

1 人の健康の保護に関する環境基準【公共用水域】

No	項目	基準値	発生源・用途
1	カドミウム	0.003mg/ℓ以下	合金、メッキ、電池、顔料
2	全シアン	検出されないこと。	アクリル樹脂、染料、メッキ、農薬
3	鉛	0.01mg/ℓ以下	蓄電池、はんだ、クリスタルガラス
4	六価クロム	0.05mg/ℓ以下	合金材料、メッキ、皮なめし
5	砒素	0.01mg/ℓ以下	半導体、合金、顔料、防腐剤
6	総水銀	0.0005mg/ℓ以下	計器類、蛍光灯、殺菌剤、触媒
7	アルキル水銀	検出されないこと。	試薬、防腐剤、無機水銀から副生
8	P C B	検出されないこと。	トランス油、コンデンサー
9	ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下	洗浄剤、溶剤、発泡剤
10	四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下	フロンガス等の原料、洗浄剤
11	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ以下	樹脂の原料、溶剤、殺虫剤
12	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ以下	塩化ビニリデン樹脂の原料
13	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下	溶剤、他の塩素系溶剤の原料
14	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/ℓ以下	金属洗浄剤
15	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ以下	塩化ビニリデンの原料、溶剤
16	トリクロロエチレン	0.03mg/ℓ以下	脱脂洗浄溶剤
17	テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下	ドライクリーニングの溶剤、脱脂
18	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ以下	殺線虫剤、土壌くん蒸剤
19	チウラム	0.006mg/ℓ以下	殺菌剤、ゴム製造の加硫促進剤
20	シマジン	0.003mg/ℓ以下	除草剤
21	チオベンカルブ	0.02mg/ℓ以下	除草剤
22	ベンゼン	0.01mg/ℓ以下	合成ゴム等の原料、溶剤
23	セレン	0.01mg/ℓ以下	顔料、電気絶縁体、半導体
24	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/ℓ以下	金属表面処理、ニトロ化合物の合成
25	ふっ素	0.8mg/ℓ以下	ガラス等の表面加工、代替フロン
26	ほう素	1mg/ℓ以下	ガラス繊維原料、消毒剤
27	1,4-ジオキサン	0.05mg/ℓ以下	溶剤、潤滑剤、医薬品の原料

2 生活環境の保全に関する環境基準【河川（湖沼を除く。）】

ア 生活環境の保全に関する環境基準

河川名	柳瀬川・不老川
項目	基準値（C類型）
水素イオン濃度(pH)	6.5以上8.5以下
生物化学的酸素要求量(BOD)	5mg/ℓ以下
浮遊物質(S S)	50mg/ℓ以下
溶存酸素量(DO)	5mg/ℓ以上
大腸菌群数	—

イ 水生生物の保全に係る環境基準

項目	類型	基準値
全垂鉛	生物B	0.03mg/ℓ以下
ノニルフェノール	生物B	0.002mg/ℓ以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)*	生物B	0.05mg/ℓ以下

*平成25年3月27日に環境基準に追加された。

3 地下水

No	項目	基準値	発生源・用途
1~26	「1 人の健康の保護に関する環境基準【公共用水域】」のNo.13を除くNo.1~27と同じ。		
27	塩化ビニルモノマー	0.002mg/ℓ以下	樹脂の原料
28	1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下	溶剤、他の塩素系溶剤の原料

[備考]

1. 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については最高値、2の生活環境項目の基準値については日間平均値とする。
2. 「検出されないこと」とは、指定された測定方法により測定した結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
3. 地下水の1, 2-ジクロロエチレンの濃度は、シス体とトランス体の濃度の和。

(2) 平成 24 年度 水質汚濁状況について

所沢市内には、河川の環境基準点に指定された地点はないため、所沢市環境基本計画において、柳瀬川の二柳橋、東川の中橋を環境管理目標※により評価することとしています。河川別の概況と地下水質の調査結果の概要は下記のとおりです。

※環境管理目標…第二期所沢市環境基本計画(2011～2018 年度)において、所沢市が独自に定めた基準(柳瀬川に適用される環境基準)

1. 柳瀬川

二柳橋では、pH が 7 月に基準を超過しましたが、それ以外の生活環境項目、健康項目は、環境管理目標を達成していました。近年の各地点の BOD75%値¹⁾は緩やかな改善傾向又は横ばい傾向です。

2. 東川

中橋では、健康項目、生活環境項目に係る項目について、全項目とも環境管理目標を達成していました。BOD75%は、城下橋では平成 24 年度に著しい改善が見られ、他の地点については、近年概ね横ばい傾向です。

3. 不老川

近年の金井沢橋の BOD75%値は、概ね横ばい傾向です。

4. 不老川支川(樽井戸川)

BOD 平均値は、近年は緩やかな改善傾向となっています。また、汚濁負荷量は近年概ね横ばい傾向です。

5. 地下水質調査結果

概況調査を行った 3 本のうち 1 本の井戸において、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が環境基準を超過しました。それ以外の項目は環境基準を満足していました。この 1 本の井戸周辺の汚染状況を把握するために、汚染井戸周辺地区調査を実施した所、調査井戸 4 本中全ての井戸が硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の環境基準値以内でした。

継続監視調査(過去、環境基準を超過した井戸の調査)では、調査井戸延べ 41 本のうち、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が 6 本の井戸で、テトラクロロエチレンが 2 本の井戸で環境基準を超過しました。なお、この延べ 41 本のうち、延べ 24 本については、3 本(2 地区)の井戸に係る継続監視終了調査²⁾によるもので、当調査の結果、この 3 本の井戸の継続監視を終了しました。

<脚注>

1) BOD75%値は、ある水域が環境基準を達成しているか否かの判定に用いる。その水域に設けられた環境基準点で、BOD の 75%値が環境基準値以下であるものを達成としている。

2) 継続監視終了対象井戸及び周辺井戸の調査を夏季と冬季の 2 回調査を行い、2 回とも環境基準に適合していた場合に、当該地域の継続監視を終了する。

■水質汚濁測定項目(H24年度)

測定項目	河川名		柳瀬川					東川				不老川		
	測定地点		高橋	西ヶ谷戸橋	樋の坪橋	二柳橋	松戸橋	清瀬橋下流	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋	城下橋	金井沢橋
現地測定項目														
水温、天候、気温、採取位置、透視度、色相、臭気			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
流量				○		○		○			○	○	○	○
生活環境項目														
pH、DO、BOD、SS			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
COD、全窒素、全リン						○								○
大腸菌群数											○			○
【水生生物の保全に係る項目】全亜鉛、ノニルフェノール						○※1					○※1			
健康項目														
カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀※2、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ふっ素、ほう素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジオキサン						○					○			△※3
その他の項目														
導電率			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アンモニア性窒素、リン酸性リン、有機体炭素、MBAS						○					○			△※4
塩素イオン				○		○			○		○			
要測定指標項目														
大腸菌数											○			
要監視項目														
クロロホルム※5、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロプロパン、p-ジクロロベンゼン、トルエン、キシレン、イソキサチオン、ダイアジノン、フェントロチオン、ジクロロポス、フェノプロカルブ、イプロベンホス、イソプロチオラン、クロロタロニル、プロピザミド、EPN、アンチモン、クロルニトロフェン、オキシ銅、フタル酸ジエチルヘキシル、ニッケル、モリブデン、塩化ビニルモノマー、エピクロロヒドリン、全マンガン、ウラン 【水生生物の保全に係る要監視項目】 クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド						○					○			
底質														
乾燥減量、強熱減量、カドミウム、鉛、クロム、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB						○					○			

※1 ノニルフェノールのみH24年11月より測定しています。

※2 アルキル水銀は、総水銀が検出された場合のみ実施しています。

※3 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素のみ測定しています。

※4 アンモニア性窒素のみ測定しています。

※5 クロロホルムは水生生物の保全に関する要監視項目にも位置付けられています。

■河川水質測定地点(H24年度)



(3) 河川水質測定結果

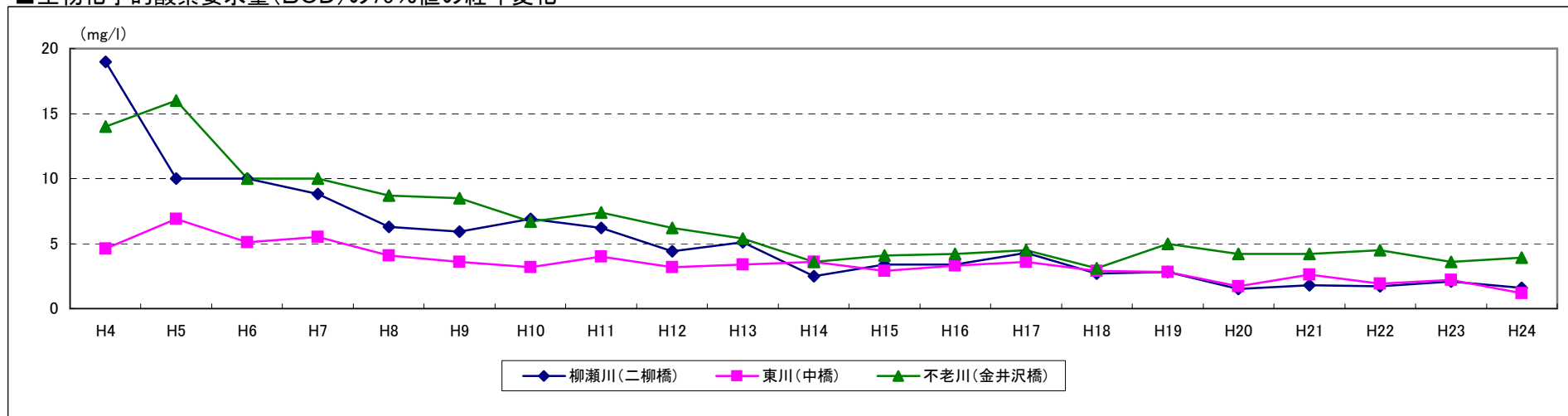
■ 生物化学的酸素要求量(BOD)の経年変化

(単位:mg/ℓ)

水域名	採水地点	生物化学的酸素要求量(BOD)の年平均値					生物化学的酸素要求量(BOD)の75%値				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
柳瀬川	① 高橋	7.3	8.0	6.8	6.9	4.3	7.7	9.6	7.8	8.0	4.9
	② 西ヶ谷戸橋	3.2	3.4	2.8	2.9	2.3	3.8	4.4	3.1	3.3	2.8
	③ 樋の坪橋	1.3	1.7	1.4	1.7	1.1	1.5	1.9	1.5	2.2	1.3
	④ 二柳橋	1.3	1.6	1.7	1.6	1.6	1.5	1.8	1.7	2.1	1.6
	⑤ 松戸橋	0.9	1.1	1.0	1.1	0.9	1.0	1.2	1.2	1.4	1.3
	⑥ 清瀬橋下流	0.6	0.7	0.8	0.8	0.8	0.6	0.9	1.0	1.0	0.7
	⑦ 清柳橋	1.9	4.8	4.1	3.6	0.7	2.5	5.9	4.2	3.9	0.8
東川	⑧ 狭山湖橋	9.6	12	9.3	10	7.0	9.1	16	11	15	8.3
	⑨ 弘法橋	1.5	1.6	1.5	1.8	1.5	1.8	1.9	1.7	1.6	2.1
	⑩ 中橋	1.4	2.1	1.4	2.0	1.2	1.7	2.6	1.9	2.2	1.2
	⑪ 城下橋	7.2	13	15	12	1.5	9.3	15	17	16	1.2
不老川	⑫ 金井沢橋	3.4	3.5	4.7	3.3	3.1	4.2	4.2	4.5	3.6	3.9

※生物化学的酸素要求量(BOD)の75%値は、環境基準の適合判断に用いられています。

■ 生物化学的酸素要求量(BOD)の75%値の経年変化



■生活環境項目等

①高橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		10:10	10:15	9:55	9:44	10:35	9:40	9:50	10:20	9:45	9:40	10:35	9:25				
現場採取項目	天候(当日)	曇	曇	雨	晴	曇	晴	曇	晴	快晴	曇	みぞれ	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	晴	曇	雨	晴	晴	晴	一時雨	一時雨	晴	一時雨	晴	-	-	-	
	気温(°C)	15.8	19.0	16.2	25.7	29.0	26.2	21.0	18.0	7.0	5.6	2.0	7.0	16.0	29.0	2.0	
	水温(°C)	14.0	16.0	17.0	20.9	24.0	24.4	20.0	16.8	10.2	7.8	6.2	8.0	15.4	24.4	6.2	
	水深(m)	0.09	0.08	0.13	0.11	0.09	0.13	0.13	0.08	0.10	0.10	0.05	0.06	0.10	0.13	0.05	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	0.915	>1.000	0.400	1.000	0.745	0.875	0.810	>1.000	0.880	1.000	>1.000	0.530	0.846	>1.000	0.400	
	色相	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄茶色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-	
生活環境項目	pH	-	7.1	7.2	7.3	7.2	7.2	7.2 [※]	7.1 [※]	7.2 [※]	7.2 [※]	7.1	7.3	7.2	7.3	7.1	
	DO(mg/l)	-	8.3	7.7	7.9	8.2	7.0	7.3	7.2	5.8	6.7	7.6	6.8	7.4	7.3	8.3	5.8
	BOD(mg/l)	-	5.2	2.2	4.5	4.3	3.5	2.6	2.5	4.4	4.9	7.3	2.8	7.4	4.3(4.9)	7.4	2.2
	SS(mg/l)	-	2	<1	1	4	4	5	7	4	7	8	5	5	4	8	<1
その他	導電率(mS/m)	-	21	18	25	21	32	24	27	26	28	26	31	28	26	32	18
備考									※参考値								

②西ヶ谷戸橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		10:35	10:45	10:15	10:03	11:00	10:00	10:10	10:35	10:00	10:00	10:55	9:45				
現場採取項目	天候(当日)	曇	曇	雨	晴	曇	晴	曇	晴	快晴	曇	一時雪	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	晴	曇	雨	晴	晴	晴	一時雨	一時雨	晴	一時雨	晴	-	-	-	
	気温(°C)	15.5	19.0	16.0	26.2	30.0	29.0	21.2	18.2	7.8	6.2	2.0	9.0	16.7	30.0	2.0	
	水温(°C)	13.5	16.0	17.2	21.3	26.0	25.0	20.2	16.2	9.0	6.5	6.0	7.0	15.3	26.0	6.0	
	流量(m ³ /s)	0.09	-	0.15	-	0.15	-	0.15	-	0.08	-	0.06	-	0.11	0.15	0.06	
	水深(m)	0.13	0.22	0.22	0.17	0.19	0.15	0.18	0.16	0.18	0.10	0.05	0.09	0.15	0.22	0.05	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	>1.000	0.770	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.981	>1.000	0.770
	色相	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	-	-	-
臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	無臭	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-	
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-	
生活環境項目	pH	-	7.2	7.3	7.3	7.3	7.5	7.4	7.4 [※]	7.2 [※]	7.5 [※]	7.2 [※]	7.3	7.6	7.4	7.6	7.2
	DO(mg/l)	-	9.6	7.9	8.7	8.8	7.8	9.0	8.6	8.8	10	10	10	9.1	10	7.8	
	BOD(mg/l)	-	4.2	2.6	4.4	4.0	2.8	0.9	1.0	1.0	1.4	1.9	1.1	2.4	2.3(2.8)	4.4	0.9
	SS(mg/l)	-	<1	1	1	<1	2	3	2	3	7	2	2	1	2	7	<1
その他	導電率(mS/m)	-	39	28	26	36	28	21	39	38	36	50	49	43	36	50	21
	塩素イオン(mg/l)	-	15	11	21	14	25	28	28	25	25	22	32	29	23	32	11
備考									※参考値								

※太枠内は環境基準との比較に使用される項目

③樋の坪橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日	H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻	11:10	11:00	10:40	10:30	11:30	10:20	10:40	10:50	10:25	10:15	11:20	10:00	-	-	-	
現場採取項目	天候(当日)	曇	曇	雨	晴	曇	晴	曇	快晴	曇	一時雪	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	晴	曇	雨	晴	晴	晴	一時雨	一時雨	晴	晴	-	-	-	
	気温(°C)	14.0	18.0	16.2	26.7	29.2	26.2	22.2	18.0	10.0	5.4	2.0	16.5	29.2	2.0	
	水温(°C)	14.2	16.2	17.4	23.0	27.0	25.4	20.4	15.8	9.2	6.2	6.8	9.0	15.9	27.0	6.2
	水深(m)	0.18	0.23	0.29	0.22	0.17	0.18	0.21	0.13	0.16	0.12	0.18	0.13	0.18	0.29	0.12
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	>1.000	0.785	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.905	0.974	>1.000	0.785
	色相	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
	流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-
生活環境項目	pH	7.4	7.4	7.4	7.6	8.3	7.5	7.6 [*]	7.5 [*]	7.5 [*]	7.2 [*]	7.4	7.6	7.5	8.3	7.2
	DO(mg/l)	9.7	8.6	7.9	10	12	9.5	10	9.6	10	10	11	11	9.9	12	7.9
	BOD(mg/l)	1.4	1.1	1.3	1.0	1.0	0.6	0.6	1.0	0.6	1.2	1.3	1.1	1.1(1.3)	1.7	0.6
	SS(mg/l)	<1	1	2	<1	2	2	4	4	5	1	2	5	3	5	<1
その他	導電率(mS/m)	24	26	28	35	34	35	33	31	32	45	45	44	34	45	24
備考	※ 参考値															

④二柳橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日	H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻	11:40	11:15	12:05	10:55	11:45	10:55	12:10	11:10	11:50	11:05	11:20	10:55	-	-	-	
現場採取項目	天候(当日)	曇	曇	曇	晴	曇	曇	晴	快晴	曇	一時雪	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	晴	曇	雨	晴	晴	晴	一時雨	一時雨	晴	一時雨	晴	-	-	
	気温(°C)	18.0	20.0	20.0	26.8	29.4	29.0	19.7	16.2	10.7	6.4	2.2	10.3	17.4	29.4	2.2
	水温(°C)	14.8	17.0	18.8	23.7	27.2	26.0	21.2	15.4	9.6	6.2	5.7	8.1	16.1	27.2	5.7
	流量(m ³ /s)	0.31	-	0.48	-	0.28	-	0.37	-	0.22	-	0.51	-	0.36	0.51	0.22
	水深(m)	0.51	0.52	0.55	0.65	0.46	0.63	0.54	0.39	0.40	0.47	0.29	0.51	0.49	0.65	0.29
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	>1.000	0.740	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.978	>1.000	0.740
	色相	灰黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・中	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(中)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(中)	川藻臭(微)	下水臭(微)	川藻臭(微)	-	-
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-	
生活環境項目	pH	7.8	7.7	7.6	8.7	8.1	7.9	7.8 [*]	7.5 [*]	7.7 [*]	7.6 [*]	7.7	7.5	7.8	8.7	7.5
	DO(mg/l)	11	9.8	10	12	9.0	9.7	9.6	9.9	11	11	11	12	11	12	9.0
	BOD(mg/l)	3.4	1.5	1.7	1.0	1.4	0.7	1.2	0.7	1.5	2.9	1.2	1.6	1.6(1.6)	3.4	0.7
	COD(mg/l)	2.7	2.2	3.1	2.2	2.5	2.5	2.1	2.4	3.4	4.1	3.0	3.2	2.8	4.1	2.1
	SS(mg/l)	2	1	1	3	4	1	3	6	4	4	3	3	3	6	1
	全窒素(mg/l)	4.8	4.2	3.8	3.5	3.5	3.2	4.0	3.3	3.1	3.8	2.9	3.7	3.7	4.8	2.9
	全リン(mg/l)	0.22	0.17	0.19	0.22	0.25	0.18	0.15	0.20	0.19	0.20	0.26	0.29	0.21	0.29	0.15
	全亜鉛(mg/l)	0.004	-	0.006	-	0.003	-	<0.001	-	0.003	-	0.002	-	0.004	0.006	<0.001
	ノニルフェノール(mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006
その他	アンモニア性窒素(mg/l)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	0.2	<0.1	<0.1	0.1	0.2	<0.1
	リン酸性リン(mg/l)	0.15	0.11	0.16	0.17	0.18	0.14	0.11	0.13	0.17	0.14	0.17	0.21	0.15	0.21	0.11
	有機体炭素(mg/l)	2.4	2.1	2.0	2.7	2.9	2.3	2.0	2.1	1.8	2.1	1.9	1.8	2.2	2.9	1.8
	導電率(mS/m)	28	24	22	29	46	32	31	26	28	35	28	30	30	46	22
	塩素イオン(mg/l)	7	7	12	8	22	25	12	12	15	24	17	19	15	25	7
MBAS(mg/l)	0.02	0.01	0.02	0.01	0.02	<0.01	0.01	0.01	0.02	<0.01	0.02	0.01	0.01	0.02	<0.01	
備考	※ 参考値															

※太枠内は環境基準との比較に使用される項目

⑤松戸橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		11:15	10:50	11:35	10:25	11:10	10:25	11:45	10:45	11:20	10:45	11:00	10:30				
現場採取項目	天候(当日)	曇	曇	曇	晴	曇	晴	曇	晴	快晴	曇	一時雪	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	晴	曇	雨	晴	晴	晴	一時雨	一時雨	晴	一時雨	晴	-	-	-	
	気温(°C)	15.1	19.4	19.2	25.7	29.2	28.8	20.9	18.1	10.8	6.2	4.0	11.7	17.4	29.2	4.0	
	水温(°C)	14.5	16.8	18.6	22.6	26.2	26.0	20.8	15.5	9.7	6.5	6.0	8.2	16.0	26.2	6.0	
	水深(m)	0.25	0.27	0.21	0.22	0.19	0.23	0.49	0.23	0.22	0.25	0.19	0.18	0.24	0.49	0.18	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	>1.000	1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	1.000	>1.000	1.000	>1.000	1.000	
	色相	黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰青色・淡(明)	灰青色・淡(明)	灰色・淡(明)	灰色・淡(明)	灰色・淡(明)	灰色・淡(明)	灰色・淡(明)	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(中)	川藻臭(中)	無臭	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-		
生活環境項目	pH	-	7.5	7.4	7.3	8.2	7.5	7.6	7.5 [*]	7.3 [*]	7.3 [*]	7.2 [*]	7.3	7.5	7.5	8.2	7.2
	DO(mg/l)	11	11	10	13	9.9	9.6	9.9	9.5	10	11	11	12	11	13	9.5	
	BOD(mg/l)	0.8	1.1	1.1	<0.5	0.7	<0.5	0.5	<0.5	0.8	0.7	1.3	1.3	0.9(1.3)	1.3	<0.5	
	SS(mg/l)	1	2	1	2	1	1	3	2	2	<1	1	6	2	6	<1	
その他	導電率(mS/m)	32	26	28	27	28	31	32	22	23	33	28	25	28	33	22	
備考								※参考値									

⑥清瀬橋下流(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		10:50	10:25	11:15	10:05	10:50	10:05	11:25	10:30	11:00	10:25	10:35	10:05				
現場採取項目	天候(当日)	曇	曇	曇	晴	曇	晴	曇	晴	快晴	曇	みぞれ	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	晴	曇	雨	晴	晴	晴	一時雨	一時雨	晴	一時雨	晴	-	-	-	
	気温(°C)	17.2	19.6	20.6	24.0	30.0	28.4	23.4	17.0	11.2	6.8	4.5	11.5	17.9	30.0	4.5	
	水温(°C)	15.8	17.0	18.2	22.0	24.2	25.0	20.0	16.8	12.4	10.0	9.0	12.0	16.9	25.0	9.0	
	水深(m)	0.68	0.48	0.55	0.64	0.52	0.51	0.55	0.51	0.33	0.34	0.23	0.73	0.51	0.73	0.23	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.400	0.595	0.790	1.000	>1.000	0.899	>1.000	0.400	
	色相	黄緑色・淡(明)	無色	灰黄色・淡(明)	無色	灰黄色・淡(明)	無色	灰青色・淡(明)	灰青色・淡(明)	灰黄色・中	灰緑色・淡(明)	灰色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	土臭(微)	川藻臭(中)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	濁り多し(上流工事)	通常の状況	濁り多し(上流工事)	通常の状況	通常の状況	-	-		
生活環境項目	pH	-	7.3	7.2	7.2	7.6	7.4	7.4	7.4 [*]	7.3 [*]	7.2 [*]	7.1 [*]	7.2	7.0	7.3	7.6	7.0
	DO(mg/l)	10	9.9	11	11	10	9.9	9.8	9.9	11	11	12	12	11	12	9.8	
	BOD(mg/l)	0.7	0.7	1.1	<0.5	0.7	0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.5	<0.5	0.8	1.0	0.8(0.7)	1.1	<0.5
	SS(mg/l)	1	<1	1	<1	1	2	1	5	2	2	4	3	2	5	<1	
その他	導電率(mS/m)	24	24	23	25	26	27	28	22	24	28	28	25	25	28	22	
備考								※参考値									

※太枠内は環境基準との比較に使用される項目

⑦清柳橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		9:50	9:45	10:10	9:35	9:50	9:25	10:25	9:55	10:00	9:30	9:20	9:35				-
現場採取項目	天候(当日)	曇	曇	曇	晴	曇	晴	曇	晴	快晴	曇	曇	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	晴	曇	雨	晴	晴	晴	一時雨	一時雨	晴	一時雨	晴	-	-	-	
	気温(°C)	15.5	18.8	17.4	24.0	30.0	28.2	22.4	16.2	9.8	5.0	4.7	9.2	16.8	30.0	4.7	
	水温(°C)	15.0	17.0	17.6	21.5	23.6	24.2	19.7	16.5	11.3	10.0	8.4	11.5	16.4	24.2	8.4	
	流量(m ³ /s)	1.2	-	2.1	-	1.3	-	1.5	-	1.2	-	0.86	-	1.4	2.1	0.86	
	水深(m)	0.23	0.58	0.22	0.32	0.26	0.29	0.37	0.29	0.10	0.27	0.11	0.20	0.27	0.58	0.10	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	>1.000	1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	1.000	>1.000	1.000
	色相	黄緑色・淡(明)	無色	灰黄色・淡(明)	無色	赤色・中	無色	灰青色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰色・淡(明)	無色	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	無色	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(中)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-	
生活環境項目	pH	7.1	7.1	7.0	7.5	7.4	7.3	7.2 [*]	7.0 [*]	7.2 [*]	7.3 [*]	7.3	7.0	7.2	7.5	7.0	
	DO(mg/l)	10	11	10	11	11	10	10	10	10	10	10	11	10	11	10	
	BOD(mg/l)	0.8	1.0	0.9	0.5	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.5	0.8	0.7(0.8)	1.0	<0.5	
	SS(mg/l)	<1	1	5	<1	<1	2	<1	2	2	<1	1	4	2	5	<1	
その他	導電率(mS/m)	29	26	23	25	27	26	27	25	25	28	28	27	26	29	23	
備考								※参考値									

⑧狭山湖橋(水域名:東川)

採水年月日		H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		9:50	9:20	9:35	9:21	9:30	9:20	9:30	9:20	9:25	9:20	9:35	9:00				-
現場採取項目	天候(当日)	曇	曇	雨	晴	晴	晴	曇	晴	快晴	曇	曇	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	晴	曇	雨	晴	晴	晴	一時雨	一時雨	晴	一時雨	晴	-	-	-	
	気温(°C)	13.0	19.5	17.0	25.4	29.0	27.0	20.0	16.8	7.2	5.2	4.1	7.2	16.0	29.0	4.1	
	水温(°C)	14.8	16.0	17.2	21.7	24.0	24.0	20.0	16.0	9.6	7.5	6.6	7.0	15.4	24.0	6.6	
	水深(m)	0.09	0.15	0.15	0.12	0.12	0.12	0.13	0.13	0.13	0.14	0.11	0.09	0.12	0.15	0.08	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	0.400	0.750	0.560	1.000	0.845	0.370	0.850	0.630	0.685	0.640	0.400	0.340	0.623	>1.000	0.340	
	色相	灰色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	下水臭(微)	洗剤臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	下水臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
	流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-
生活環境項目	pH	7.2	7.1	7.2	7.2	7.2	7.4	7.2 [*]	7.1 [*]	7.3 [*]	7.1 [*]	7.4	7.6	7.3	7.6	7.1	
	DO(mg/l)	7.9	9.1	7.3	7.4	6.8	6.2	6.6	7.4	7.0	7.9	7.2	7.4	7.4	9.1	6.2	
	BOD(mg/l)	11	2.3	7.1	8.6	6.8	4.6	1.7	5.7	7.2	14	7.2	8.3	7.0(8.3)	14	1.7	
	SS(mg/l)	7	4	<1	1	8	7	9	8	10	11	8	8	7	11	<1	
その他	導電率(mS/m)	29	25	21	29	30	34	32	35	35	40	44	43	33	44	21	
備考	塩素イオン(mg/l)	18	8	15	20	21	22	22	27	28	36	35	37	24	37	8	
								※参考値									

※太枠内は環境基準との比較に使用される項目

⑨弘法橋(水域名:東川)

採水年月日	H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻	11:30	11:20	11:00	10:53	12:00	10:45	11:05	11:10	10:45	10:40	11:50	10:25				
現場採取項目	天候(当日)	曇	曇	曇	晴	曇	晴	曇	快晴	曇	一時雪	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	晴	曇	雨	晴	晴	晴	一時雨	一時雨	晴	晴	-	-	-	
	気温(°C)	16.0	20.5	17.2	27.2	30.2	29.0	20.0	18.0	10.0	6.0	2.0	17.0	30.2	2.0	
	水温(°C)	15.5	17.0	17.8	25.8	27.0	27.0	20.0	14.6	7.0	4.8	5.0	7.0	15.7	27.0	4.8
	水深(m)	0.19	0.23	0.32	0.25	0.11	0.11	0.13	0.19	0.18	0.16	0.16	0.13	0.18	0.32	0.11
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	0.890	0.775	0.785	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.625	0.923	>1.000	0.625
	色相	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
	流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-
生活環境項目	pH	7.8	7.6	7.9	8.4	9.4	7.9	7.9*	7.7*	7.6*	7.4*	7.6	8.0	7.9	9.4	7.4
	DO(mg/l)	10	11	10	12	10	9.2	10	10	11	12	12	12	11	12	9.2
	BOD(mg/l)	2.2	1.0	2.2	0.5	1.8	1.2	0.7	1.0	1.1	1.1	2.1	3.0	1.5(2.1)	3.0	0.5
	SS(mg/l)	1	2	6	3	4	3	2	2	1	<1	1	4	3	6	<1
その他	導電率(mS/m)	24	22	20	24	35	34	27	28	30	33	61	39	31	61	20
備考															※参考値	

⑩中橋(水域名:東川)

採水年月日	H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻	9:00	9:00	9:10	8:55	8:50	8:50	9:15	9:05	9:00	9:00	8:40	8:45				
現場採取項目	天候(当日)	曇	曇	雨	晴	晴	晴	曇	晴	快晴	曇	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	晴	曇	雨	晴	晴	晴	一時雨	一時雨	晴	一時雨	-	-	-	
	気温(°C)	14.5	18.2	17.0	23.2	27.8	28.0	21.2	15.5	6.9	4.0	4.0	5.0	15.4	28.0	4.0
	水温(°C)	13.8	16.0	18.2	23.0	27.0	26.0	21.0	13.8	8.1	3.6	3.8	7.8	15.2	27.0	3.6
	流量(m³/s)	0.03	0.11	0.10	0.05	0.02	0.02	0.05	0.02	0.02	0.02	0.05	0.01	0.04	0.11	0.01
	水深(m)	0.23	0.12	0.15	0.15	0.11	0.11	0.14	0.14	0.08	0.09	0.10	0.15	0.13	0.23	0.08
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.560	0.820	>1.000	>1.000	>1.000	0.948	>1.000	0.560
	色相	黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・中	灰色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(中)	無臭	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-	
生活環境項目	pH	7.5	7.4	7.6	8.0	8.1	7.5	7.7*	7.5*	7.3*	7.3*	7.4	7.2	7.5	8.1	7.2
	DO(mg/l)	10	11	9.4	10	9.9	7.7	9.2	8.6	10	11	10	10	9.8	11	7.7
	BOD(mg/l)	1.0	0.9	0.9	0.7	0.8	1.2	0.7	1.3	2.2	1.1	1.2	2.7	1.2(1.2)	2.7	0.7
	COD(mg/l)	3.4	2.2	3.0	2.4	2.6	3.3	2.1	4.0	5.6	4.2	4.6	6.0	3.6	6.0	2.1
	SS(mg/l)	<1	1	3	<1	1	4	4	6	4	<1	1	1	2	6	<1
	大腸菌群数(MPN/100mL)	1700	1300	1700	2800	4900	3300	3300	2800	2800	2200	1300	1100	2433	4900	1100
	全窒素(mg/l)	4.8	6.6	8.9	7.5	7.3	5.1	5.0	6.6	4.0	5.3	7.8	6.9	6.4	8.9	4.0
	全リン(mg/l)	0.22	0.28	0.26	0.24	0.32	0.30	0.22	0.25	0.26	0.26	0.27	0.31	0.28	0.34	0.22
	全亜鉛(mg/l)	0.005	0.005	-	0.010	-	0.008	-	0.005	-	0.013	-	0.009	0.008	0.013	<0.001
	ノニルフェノール(mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006
その他	アンモニア性窒素(mg/l)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	<0.1	<0.1	0.1	0.3	<0.1
	リン酸性リン(mg/l)	0.23	0.20	0.17	0.25	0.21	0.17	0.22	0.19	0.23	0.23	0.23	0.25	0.22	0.25	0.17
	有機体炭素(mg/l)	2.9	3.1	3.8	4.1	3.9	4.0	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5	3.1	3.5	4.1	2.9
	導電率(mS/m)	26	24	24	26	28	16	28	17	26	32	39	41	27	41	16
	塩素イオン(mg/l)	9	8	17	10	18	16	28	8	25	30	48	42	22	48	8
MBAS(mg/l)	0.05	0.02	0.02	<0.01	0.01	0.02	0.01	0.02	0.05	0.01	0.03	0.02	0.13	0.05	<0.01	
指標*	大腸菌数(MPN/100mL)	57	-	74	-	140	-	81	-	56	-	36	-	74	140	36
備考															※参考値	

* 要測定指標項目

※太枠内は環境基準との比較に使用される項目

⑪城下橋(水域名:東川)

採水年月日		H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		10:15	10:00	10:45	9:45	10:20	9:45	10:50	10:05	10:30	9:45	10:00	9:45				
現場採取項目	天候(当日)	曇	曇	曇	晴	曇	晴	曇	晴	快晴	曇	みぞれ	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	晴	曇	雨	晴	晴	晴	一時雨	一時雨	晴	一時雨	晴	-	-	-	
	気温(°C)	18.0	20.2	18.2	25.0	30.2	28.4	21.3	17.8	10.3	8.0	4.5	7.9	17.5	30.2	4.5	
	水温(°C)	15.8	17.2	18.0	22.5	23.2	25.0	20.0	16.4	12.8	9.8	9.2	12.0	16.8	25.0	9.2	
	流量(m³/s)	0.09	-	0.26	-	0.15	-	0.12	-	0.07	-	0.07	-	-	-	-	
	水深(m)	0.38	0.25	0.32	0.43	0.24	0.43	0.51	0.42	0.26	0.60	0.29	0.25	0.37	0.60	0.24	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	>1.000	0.820	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.985	>1.000	0.820
	色相	灰黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・中	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(中)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(中)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
流況	流量きわめて少	流量きわめて少	流量きわめて少	流量きわめて少	流量きわめて少	流量きわめて少	流量きわめて少	流量きわめて少	流量きわめて少	流量きわめて少	流量きわめて少	流量きわめて少	流量きわめて少	-	-	-	
生活環境項目	pH	6.9	7.1	7.1	7.4	7.2	7.1	7.1*	6.8*	6.9*	6.8*	6.8	6.6	7.0	7.4	6.6	
	DO(mg/l)	9.4	10	9.8	10	10	8.1	9.1	9.1	9.4	9.8	8.6	8.3	9.3	10	8.1	
	BOD(mg/l)	1.7	0.9	1.8	<0.5	0.5	0.6	0.5	0.8	1.2	5.7	<0.5	1.2	1.5(1.2)	5.7	<0.5	
	SS(mg/l)	<1	<1	2	<1	2	3	<1	3	5	1	2	1	2	5	<1	
その他	導電率(mS/m)	38	28	22	30	32	24	33	26	31	32	38	32	31	38	22	
備考		・平成24年3月末の所沢下水処理場の閉場により流量は減少した。							※参考値								

⑫金井沢橋(水域名:不老川)

採水年月日		H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		9:15	9:00	9:00	8:56	9:00	8:55	9:05	9:00	9:00	9:00	9:00	8:45				
現場採取項目	天候(当日)	曇	曇	雨	晴	晴	晴	曇	晴	快晴	曇	曇	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	晴	曇	雨	晴	晴	晴	一時雨	一時雨	晴	一時雨	晴	-	-	-	
	気温(°C)	14.0	19.8	17.0	24.2	32.0	26.4	21.8	17.0	6.2	4.8	3.0	6.0	16.0	32.0	3.0	
	水温(°C)	14.0	15.8	17.0	19.5	23.0	24.0	20.0	16.8	10.8	8.2	7.8	9.8	15.6	24.0	7.8	
	流量(m³/s)	0.19	-	0.47	-	0.16	-	0.21	-	0.07	-	0.04	-	0.19	0.47	0.04	
	水深(m)	0.28	0.31	0.33	0.24	0.22	0.22	0.20	0.22	0.19	0.15	0.20	0.21	0.23	0.33	0.15	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	>1.000	0.385	>1.000	0.900	0.745	>1.000	0.670	>1.000	0.735	0.695	0.315	0.787	>1.000	0.315	
	色相	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(中)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	下水臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
流況	通常の状態	通常の状態	流量大	通常の状態	通常の状態	通常の状態	通常の状態	通常の状態	通常の状態	通常の状態	通常の状態	通常の状態	通常の状態	-	-	-	
生活環境項目	pH	6.9	6.9	6.9	6.9	6.9	6.9	6.8*	6.7*	7.0*	6.9*	7.3	7.6	7.0	7.6	6.7	
	DO(mg/l)	10	10	9.0	10	11	7.9	8.6	9.0	8.9	8.9	8.3	8.5	9.2	11	7.9	
	BOD(mg/l)	2.9	1.6	3.8	0.7	2.7	3.9	0.7	2.1	2.4	6.1	6.1	4.1	3.1(3.9)	6.1	0.7	
	COD(mg/l)	4.3	-	6.0	-	4.0	-	2.1	-	4.7	-	10	-	5.2	10	<1	
	SS(mg/l)	<1	1	14	<1	5	5	5	5	2	6	2	7	5	14	<1	
	大腸菌群数(MPN/100mL)	3300	-	2200	-	2800	-	2200	-	1700	-	1700	-	2317	3300	1700	
	全窒素(mg/l)	9.3	-	7.6	-	9.7	-	9.4	-	11	-	4.8	-	8.6	11	4.8	
	全リン(mg/l)	0.75	-	0.59	-	0.52	-	0.47	-	0.40	-	0.44	-	0.53	0.75	0.40	
その他	アンモニア性窒素(mg/l)	0.7	-	<0.1	-	0.1	-	0.1	-	0.1	-	0.1	-	0.2	0.7	0.1	
導電率(mS/m)	42	21	28	36	60	53	38	40	41	47	56	60	44	60	21		
備考									※参考値								

※太枠内は環境基準との比較に使用される項目

■健康項目等

④二柳橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均	最大値	最小値	
採水時刻		11:40	11:15	12:05	10:55	11:45	10:55	12:10	11:10	11:50	11:05	11:20	10:55				
健康項目	カドミウム (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	全シアン (mg/L)	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	不検出	不検出	
	鉛 (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	六価クロム (mg/L)	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	<0.005	<0.005	
	砒素 (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	総水銀 (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	PCB (mg/L)	-	-	不検出	-	-	-	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	不検出	
	ジクロロメタン (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	<0.0004	<0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	シス1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	<0.004	<0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	0.002	0.002	<0.002	
	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	チウラム (mg/L)	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	シマジン (mg/L)	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	<0.0003	<0.0003	
	チオベンカルブ (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	ベンゼン (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	セレン (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	ほう素 (mg/L)	0.02	0.03	<0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	<0.02	<0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	0.02	0.03	<0.02
	ふっ素 (mg/L)	0.02	<0.02	<0.02	0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.02	0.03	<0.02
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	0.094	0.054	0.11	0.026	0.095	0.019	0.020	0.027	0.045	0.020	0.035	0.049	0.050	0.11	0.019	
	硝酸性窒素 (mg/L)	4.0	3.9	2.8	3.2	3.1	2.9	3.3	2.8	2.5	3.1	2.8	3.3	3.1	4.0	2.5	
	1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	<0.005	<0.005	
	要監視項目	クロロホルム (mg/L)	-	-	-	-	<0.006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	-	-	-	-	<0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,2-ジクロロプロパン (mg/L)	-	-	-	-	<0.006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
p-ジクロロベンゼン (mg/L)		-	-	-	-	<0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
イソキサチオン (mg/L)		-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ダイアジン (mg/L)		-	-	-	-	<0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
フェニトロチオン (mg/L)		-	-	-	-	<0.0003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
イソプロチオラン (mg/L)		-	-	-	-	<0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
オキシ銅 (mg/L)		-	-	-	-	<0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クロロタロニル (mg/L)		-	-	-	-	<0.005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
プロピザミド (mg/L)		-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
EPN (mg/L)		-	-	-	-	<0.0006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ジクロロボス (mg/L)		-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
フェノカルブ (mg/L)		-	-	-	-	<0.003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
イプロベンホス (mg/L)		-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クロルニトロフェン (mg/L)		-	-	-	-	<0.0001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
トルエン (mg/L)		-	-	-	-	<0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
キシレン (mg/L)		-	-	-	-	<0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
フタル酸ジエチルヘキシル (mg/L)		-	-	-	-	<0.006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ニッケル (mg/L)		-	-	-	-	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
モリブデン (mg/L)		-	-	-	-	<0.007	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アンチモン (mg/L)		-	-	-	-	<0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
塩化ビニルモノマー (mg/L)		-	-	-	-	<0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エピクロロヒドリン (mg/L)		-	-	-	-	<0.00004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全マンガン (mg/L)	-	-	-	-	<0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ウラン (mg/L)	-	-	-	-	<0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
フェノール (mg/L)	-	-	-	-	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ホルムアルデヒド (mg/L)	-	-	-	-	<0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※太枠内は環境基準との比較に使用される項目

⑩中橋(水域名:東川)

採水年月日		H24.4.20	H24.5.9	H24.6.6	H24.7.4	H24.8.1	H24.9.5	H24.10.3	H24.11.7	H24.12.5	H25.1.9	H25.2.19	H25.3.6	年平均	最大値	最小値	
採水時刻		9:00	9:00	9:10	8:55	8:50	8:50	9:15	9:05	9:00	9:00	8:40	8:45				
健康項目	カドミウム (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	全シアン (mg/L)	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	不検出	不検出	
	鉛 (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	六価クロム (mg/L)	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	<0.005	<0.005	
	砒素 (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	総水銀 (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	PCB (mg/L)	-	-	不検出	-	-	-	-	-	不検出	-	不検出	-	不検出	不検出	不検出	
	ジクロロメタン (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	<0.0004	<0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	シス1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	<0.004	<0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	チウラム (mg/L)	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	シマジン (mg/L)	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	<0.0003	<0.0003	
	チオベンカルブ (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	ベンゼン (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	セレン (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	ほう素 (mg/L)	0.06	0.03	0.04	0.03	0.03	0.02	0.03	<0.02	0.04	0.06	0.02	0.05	0.02	0.06	<0.02	
	ふっ素 (mg/L)	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.02	0.02	<0.02
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	0.099	0.11	0.055	0.040	0.017	0.022	0.039	0.041	0.11	0.061	0.067	0.12	0.065	0.12	0.017	
	硝酸性窒素 (mg/L)	6.0	6.8	7.0	6.6	4.6	4.7	5.2	2.6	4.0	6.8	6.2	3.9	5.4	7.0	2.6	
	1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	<0.005	<0.005	
	要監視項目	クロロホルム (mg/L)	-	-	-	-	<0.006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	-	-	-	-	<0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,2-ジクロロプロパン (mg/L)	-	-	-	-	<0.006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
p-ジクロロベンゼン (mg/L)		-	-	-	-	<0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
イソキサチオン (mg/L)		-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ダイアジノン (mg/L)		-	-	-	-	<0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
フェントロチオン (mg/L)		-	-	-	-	<0.0003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
イソプロチオラン (mg/L)		-	-	-	-	<0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
オキシ銅 (mg/L)		-	-	-	-	<0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クロタロニル (mg/L)		-	-	-	-	<0.005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
プロピザミド (mg/L)		-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
EPN (mg/L)		-	-	-	-	<0.0006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ジクロルボス (mg/L)		-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
フェノカルブ (mg/L)		-	-	-	-	<0.003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
イソベンホス (mg/L)		-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クロルニトロフェン (mg/L)		-	-	-	-	<0.0001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
トルエン (mg/L)		-	-	-	-	<0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
キシレン (mg/L)		-	-	-	-	<0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
フタル酸ジエチルヘキシル (mg/L)		-	-	-	-	<0.006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ニッケル (mg/L)		-	-	-	-	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
モリブデン (mg/L)		-	-	-	-	<0.007	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アンチモン (mg/L)		-	-	-	-	<0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
塩化ビニルモノマー (mg/L)		-	-	-	-	<0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エビクロロヒドリン (mg/L)		-	-	-	-	<0.00004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全マンガン (mg/L)	-	-	-	-	<0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ウラン (mg/L)	-	-	-	-	<0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
フェノール (mg/L)	-	-	-	-	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ホルムアルデヒド (mg/L)	-	-	-	-	<0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
備考																	

※太枠内は環境基準との比較に使用される項目

⑫金井沢橋(水域名:不老川)

採水年月日	H24.4.20	-	H24.6.6	-	H24.8.1	-	H24.10.3	-	H24.12.5	-	H25.2.19	-	年平均	最大値	最小値
採水時刻	9:15	-	9:00	-	9:00	-	9:05	-	9:00	-	9:00	-			
健康項目 ¹⁾ 亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.18	-	0.29	-	0.15	-	0.10	-	0.25	-	0.098	-	0.18	0.29	0.098
硝酸性窒素 (mg/l)	7.6	-	6.2	-	7.5	-	7.5	-	6.5	-	4.5	-	6.6	7.6	4.5
備考															

1) 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素のみ測定しています。

※太枠内は環境基準との比較に使用される項目

■底質

④二柳橋(水域名:柳瀬川)

採泥年月日	-	-	-	-	-	-	H24.10.3	-	-	-	-	-	年平均	最大値	最小値
採泥時刻	-	-	-	-	-	-	12:10	-	-	-	-	-			
底質	カドミウム (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<0.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	鉛 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	クロム (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-
	六価クロム (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<2	-	-	-	-	-	-	-	-
	砒素 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	総水銀 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
	アルキル水銀 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
	PCB (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
	強熱減量 (%乾泥)	-	-	-	-	-	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	乾燥減量 (%乾泥)	-	-	-	-	-	19.8	-	-	-	-	-	-	-	-
備考															

⑩中橋(水域名:東川)

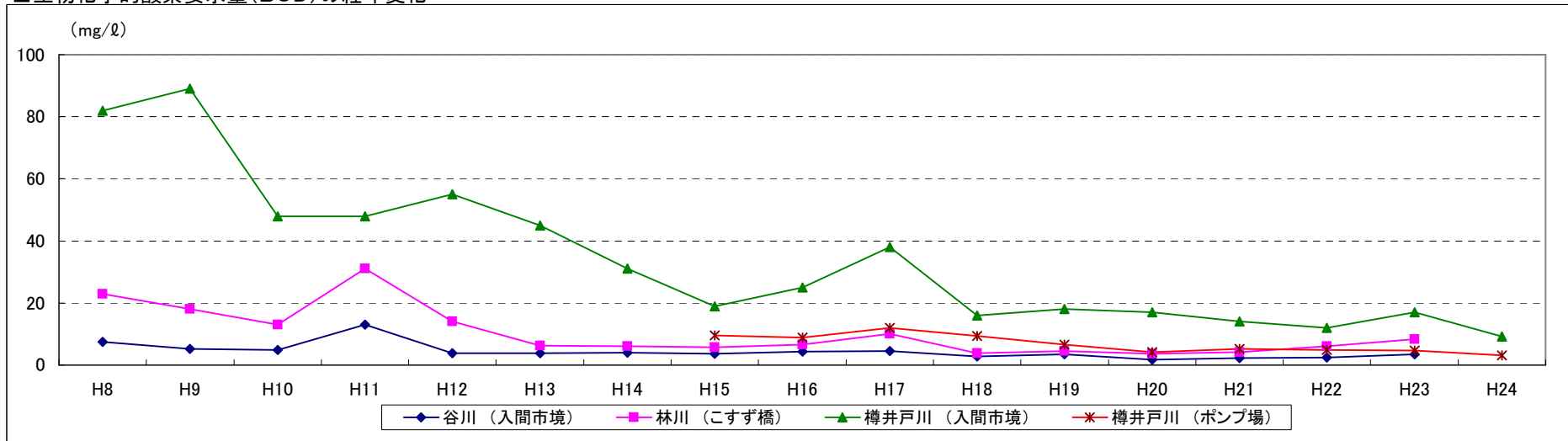
採泥年月日	-	-	-	-	-	-	H24.10.3	-	-	-	-	-	年平均	最大値	最小値
採泥時刻	-	-	-	-	-	-	9:15	-	-	-	-	-			
底質	カドミウム (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<0.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	鉛 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	クロム (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
	六価クロム (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<2	-	-	-	-	-	-	-	-
	砒素 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	総水銀 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
	アルキル水銀 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
	PCB (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
	強熱減量 (%乾泥)	-	-	-	-	-	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	乾燥減量 (%乾泥)	-	-	-	-	-	21.3	-	-	-	-	-	-	-	-
備考															

(4) 生活排水対策重点地域(不老川流域)における水質測定結果

■生物化学的酸素要求量(BOD)の経年変化

河川名	採水地点	生物化学的酸素要求量(BOD)の年平均値(単位mg/ℓ)					生物化学的酸素要求量(BOD)の汚濁負荷量の年平均値(単位kg/日)				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
谷川 [不老川支川]	①入間市境	1.7	2.2	2.5	3.5	—	11	8.5	8.7	11	—
林川 [不老川支川]	②こすず橋	3.6	4.2	6.0	8.3	—	9.3	9.2	12	10	—
樽井戸川 [林川支川]	③入間市境	17	14	12	17	9.2	20	24	24	24	12
樽井戸川 [林川支川]	④R463脇ポンプ場	4.1	5.2	4.8	4.7	3.1	4.7	3.5	3.8	2.8	4.9

■生物化学的酸素要求量(BOD)の経年変化



※谷川①入間市境、林川②こすず橋の2地点は平成23年度で調査を終了しました。

(3)樽井戸川(入間市境)

採水年月日		(開始)	H24.5.17	H24.8.2	H24.11.8	H25.2.7	年平均	最大値	最小値
(終了)		~5/18	~8/3	~11/9	~2/8	(75%値)			
測定項目等	天候(当日)	晴	晴	晴	晴	-	-	-	-
	気温(°C)	21.0	29.8	14.4	4.8	17.5	29.8	4.8	
	水温(°C)	18.5	27.3	14.5	7.9	17.0	27.3	7.9	
	流量(m ³ /h)	159	40	50	35	71	159	35	
	pH	7.4	7.3	7.2	7.5	7.3	7.5	7.2	
	BOD(mg/ℓ)	4.8	8.9	9.9	13	9.2(9.9)	13	4.8	
	SS(mg/ℓ)	2	11	7	6	7	11	2	
	導電率(mS/m)	26	44	41	41	38	44	26	
	透視度(m)	0.447	0.270	0.300	0.319	0.334	0.447	0.270	
	BOD汚濁負荷量(kg/日)	17.3	8.2	12.1	11.4	12.2	17.3	8.2	
備考									

(4)樽井戸川(R463脇ポンプ場横)

採水年月日		(開始)	H24.5.17	H24.8.2	H24.11.8	H25.2.7	年平均	最大値	最小値
(終了)		~5/18	~8/3	~11/9	~2/8	(75%値)			
測定項目等	天候(当日)	晴	晴	晴	晴	-	-	-	-
	気温(°C)	19.0	29.0	12.6	4.6	16.3	29.0	4.6	
	水温(°C)	18.6	28.5	12.8	5.8	16.4	28.5	5.8	
	流量(m ³ /h)	128	7	37	27	50	128	7	
	pH	7.5	8.4	7.6	7.8	7.8	8.4	7.5	
	BOD(mg/ℓ)	3.7	2.3	2.5	4.0	3.1(3.7)	4.0	2.3	
	SS(mg/ℓ)	6	3	3	3	4	6	3	
	導電率(mS/m)	27	40	39	39	37	40	27	
	透視度(m)	0.846	>1.000	0.985	0.893	0.931	>1.000	0.846	
	BOD汚濁負荷量(kg/日)	14.6	0.4	2.2	2.5	4.9	14.6	0.4	
備考									

※太枠内は環境基準との比較に使用される項目

■地下水測定項目(H24年度)

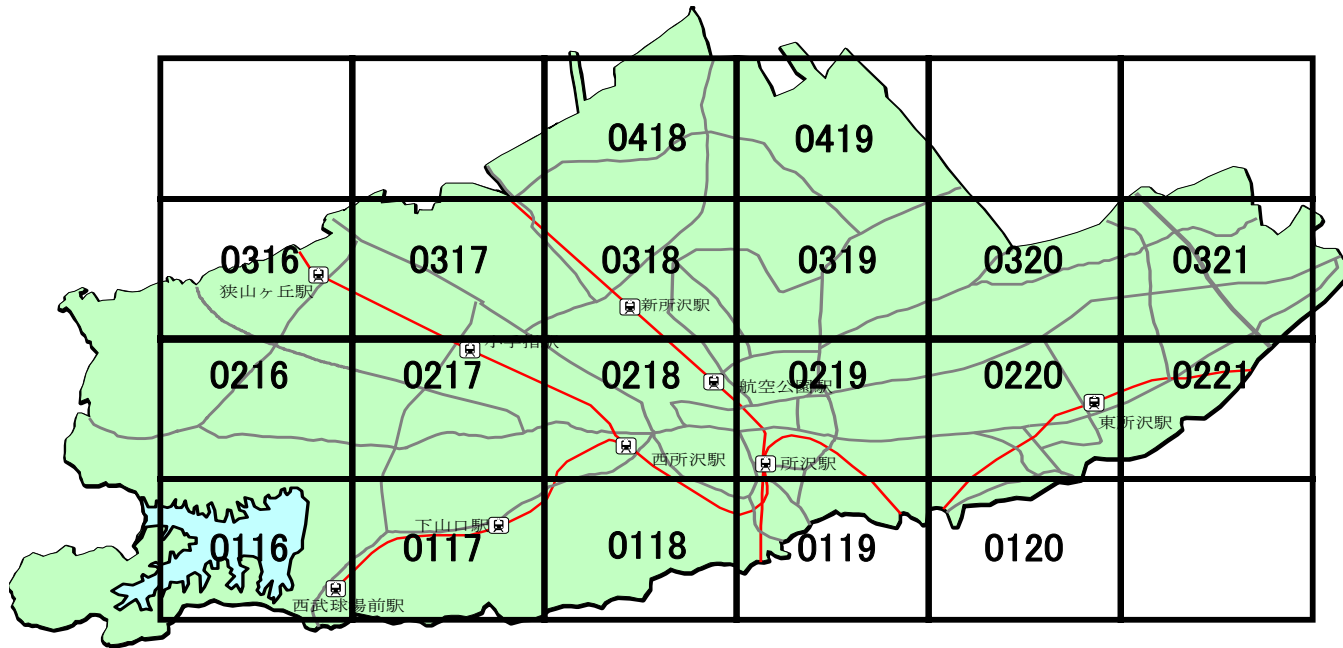
測定項目	調査区画番号															
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4	
	1	1	2	1	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1
	8	9	0	6	8	9	0	1	6	7	8	9	0	1	8	9

概況調査 (地域の全体的な地下水質の概況を把握するための調査、地域を約2kmメッシュに分割し、5年間で全ての調査地区を一巡するローリング方式で実施している)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀※1、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ふっ素、ほう素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジオキサン						○		○							○	

汚染井戸周辺地区調査 (概況調査等で環境基準を超過した井戸について、その汚染範囲を確認するための調査)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	○					○										

継続監視調査 (汚染地域について継続的に監視を行うための調査)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塩化ビニルモノマー、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン	○				○	○	○	○				○				
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		○		○	○			○	○	○	○		○		○	○

※1 アルキル水銀は、総水銀が検出された場合のみ実施しています。



調査区画
番号

(5) 地下水質測定結果(H24年度)

測定項目	調査区分名	概況調査	概況調査	概況調査	周辺	周辺	周辺	周辺	継続監視	継続監視	継続監視	継続監視	継続監視	継続監視	継続監視	継続監視	環境基準
	地区名	山口	東所沢和田	下富	山口	山口	山口	上新井	久米	久米	北秋津	三ヶ島	城	城	城	狭山ヶ丘	
	井戸番号	021843	022034	041833	011836	011837	021844	021842	011822	011829	011907	021623	022111	022118	022121	031612	
	採水年月日	H24.11.1	H24.11.7	H24.11.2	H24.12.14	H24.12.14	H24.12.14	H24.12.13	H24.11.2	H24.11.1	H24.11.1	H24.11.1	H24.11.2	H24.11.2	H24.11.2	H24.11.1	H24.11.2
カドミウム	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.003以下
全シアン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出されないこと
鉛	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01以下
六価クロム	(mg/L)	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05以下
砒素	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01以下
総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0005以下
PCB	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出されないこと
ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.02以下
四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002以下
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	—	<0.0002	<0.0002	—	—	—	—	—	—	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—	<0.002	<0.002	—	—	—	—	—	—	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—	0.003	0.005	—	—	—	—	—	—	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—	<0.002	<0.002	—	—	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	—	0.005	0.007	—	—	—	—	—	—	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	—	<0.0005	<0.0005	—	—	—	—	—	—	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.006以下
トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—	<0.002	<0.002	—	—	—	—	—	—	0.03以下
テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	—	0.15	<0.0005	—	—	—	—	—	—	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002以下
チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.006以下
シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.003以下
チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.02以下
ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01以下
セレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	35	9.5	5.1	9.3	2.3	8.6	5.2	—	—	10	12	10	12	13	11	11
ふっ素	(mg/L)	<0.08	<0.08	<0.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8以下
ほう素	(mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1以下
1,4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05以下

測定項目	調査区分名	継続監視	継続監視	継続監視	継続監視	継続監視	継続監視	継続監視	継続監視	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	環境基準
	地区名	東狭山ヶ丘	上新井	西所沢	中富	中富	神米金	南永井	所沢新町	本郷	本郷	本郷	本郷	本郷	本郷	本郷	
	井戸番号	031724	021815	021819	031912	041923	041813	032013	031806	022112	022112	022113	022113	022031	022031	022108	
	採水年月日	H24.11.1	H24.11.1	H24.11.1	H24.11.2	H24.11.2	H24.11.2	H24.11.2	H24.11.2	H24.7.25	H25.1.23	H24.7.25	H25.1.23	H24.7.25	H25.1.23	H24.7.25	
カドミウム	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.003以下
全シアン	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出されないこと
鉛	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01以下
六価クロム	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05以下
砒素	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01以下
総水銀	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0005以下
PCB	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出されないこと
ジクロロメタン	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.02以下
四塩化炭素	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002以下
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	—	—	<0.0002	<0.0002	—	—	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	—	—	<0.002	<0.002	—	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	—	—	<0.002	<0.002	—	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	—	—	<0.002	<0.002	—	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—
1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	—	—	<0.004	<0.004	—	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	—	—	<0.0005	<0.0005	—	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.006以下
トリクロロエチレン	(mg/L)	—	—	<0.002	0.004	—	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.002	0.03以下
テトラクロロエチレン	(mg/L)	—	—	0.063	<0.0005	—	—	—	—	0.0013	0.0011	0.0035	0.0029	0.0046	0.0044	0.0008	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002以下
チウラム	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.006以下
シマジン	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.003以下
チオベンカルブ	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.02以下
ベンゼン	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01以下
セレン	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	8.8	7.0	—	—	9.0	10	13	9.1	—	—	—	—	—	—	—	10以下
ふっ素	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8以下
ほう素	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1以下
1,4-ジオキサン	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05以下

測定項目	調査区分		継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	継続監視*	環境基準
	地名	井戸番号	本郷	本郷	本郷	本郷	下安松	下安松	下安松	下安松	下安松	下安松	下安松	下安松	下安松	下安松	下安松	下安松	
	採水年月日		H24.7.25	H25.1.23	H24.7.25	H25.1.23	H24.7.24	H25.1.17	H24.7.24	H25.1.17	H24.7.24	H25.1.17	H24.7.25	H25.1.17	H24.7.24	H25.1.17	H24.7.24	H25.1.17	
カドミウム (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01以下
全シアン (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出されないこと
鉛 (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01以下
六価クロム (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05以下
砒素 (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01以下
総水銀 (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0005以下
PCB (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出されないこと
ジクロロメタン (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.02以下
四塩化炭素 (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002以下
塩化ビニルモノマー (mg/l)			<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
1,2-ジクロロエタン (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)			<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)			<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)			<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—
1,2-ジクロロエチレン (mg/l)			<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)			<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1以下
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.006以下
トリクロロエチレン (mg/l)			<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.03以下
テトラクロロエチレン (mg/l)			0.0021	0.0017	0.0024	0.0020	0.0010	0.0012	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0009	0.0008	<0.0005	<0.0005	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002以下
チウラム (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.006以下
シマジン (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.003以下
チオベンカルブ (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.02以下
ベンゼン (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01以下
セレン (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10以下
ふっ素 (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8以下
ほう素 (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1以下
1,4-ジオキサン (mg/l)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05以下

※ —は測定を実施しないもの。

※ *印は継続監視終了調査。調査の結果、継続監視を終了した井戸は、022112、022113、022001。

3 騷 音



(1) 騒音に係る環境基準

1 一般地域における環境基準

地域区分	用途地域	昼間 (6:00~ 22:00)	夜間 (22:00~ 6:00)	備考
AA地域		50デシベル 以下	40デシベル 以下	AA地域については、 埼玉県内では適用地域 がありません。また、 工業専用地域について は環境基準が適用され ません。
A地域	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域	55デシベル 以下	45デシベル 以下	
B地域	第1種住居地域 第2種住居地域 準住居地域 用途地域の定めのない地 域			
C地域	近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域	60デシベル 以下	50デシベル 以下	

※ 環境基準は、航空機騒音、鉄道騒音及び建設作業騒音には適用されていません。

2 道路に面する地域における環境基準

地域区分	昼間 (6:00~22:00)	夜間 (22:00~6:00)	備考
A地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域	60デシベル以下	55デシベル以下	車線とは、1縦列の自動車 が安全かつ円滑に走行する ために必要な一定の幅員を 有する帯状の車道部分をいう。
B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域及びC地域のうち車線を有する道路に面する地域	65デシベル以下	60デシベル以下	

■幹線交通を担う道路に近接する空間の環境基準（特例）

地域区分	昼間 (6:00~ 22:00)	夜間 (22:00~ 6:00)	備考
道路法第3条に規定する高速自動車国道、一般国道、県道、4車線以上の市町村道、及び一般自動車道であって都市計画法施行規則第7条第1項第1号に定める自動車専用道路に近接する空間	70デシベル 以下	65デシベル 以下	近接する空間とは、道路端からの距離が、2車線以下では15m、3車線以上では20mの区間をいう。

※ 個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときは、屋内へ透過する騒音に係る基準（昼間にあっては45デシベル以下、夜間にあっては40デシベル以下）によることができる。

3 航空機騒音に係る環境基準

類型区分	基準値	備考
I類型（専ら住居の用に供される地域）	70WECPNL以下	WECPNL：加重等価平均感覚騒音レベル（航空機騒音のうるさを評価する指標、「うるささ指数」とも呼ばれている。）
II類型（通常の生活を保全する必要がある地域）	75WECPNL以下	

(2) 平成24年度 環境騒音の状況について

所沢市では、騒音規制法第 18 条に基づき、自動車騒音状況の常時監視を行っています。この事務は、道路交通に伴う騒音や交通量・車両速度等を測定し、騒音に係る環境基準の適合状況を得られた基礎データをもとにシミュレーション(「面的評価手法」という。)しています。

平成 23 年度から平成 28 年度に調査対象路線としている 12 路線 21 区間のうち 4 路線 8 区間で面的評価が終了しています。その結果特に一般国道 463 号線及び県道所沢・青梅線における騒音に係る環境基準の達成率が低い状況となっています。

また、航空自衛隊入間基地周辺における航空機騒音に係る環境基準の適合状況も大変低い状況となっています。

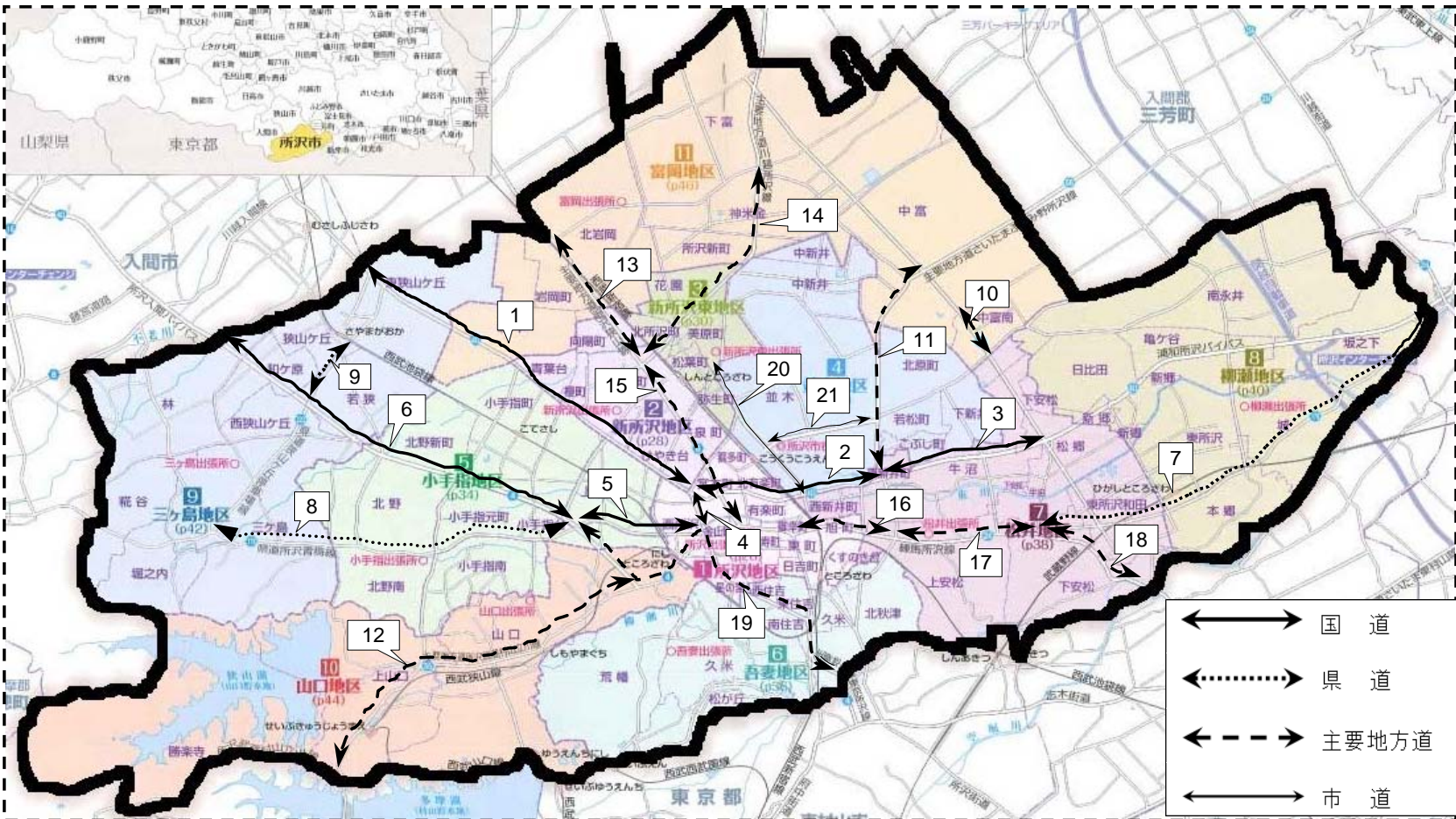
1. 自動車に係る騒音

平成 24 年度に測定を行った一般国道 463 号線 4 区間においては、前回調査と比較して昼夜間ともに基準超過の戸数の割合が、2 区間において減少し、2 区間で増加しました。

2. 航空機に係る騒音

平成 24 年度は市内 4 測定地点のうち、2 地点が環境基準である 70 WECPNL を超過しています。

■自動車騒音測定調査路線



測定路線名	No.	測定区間名
一般国道463号線	1	【宮本町交差点～入間市藤沢境】
	2	【宮本町交差点～東新井町交差点】
	3	【東新井町交差点～県道所沢・堀兼・狭山線交差点】
	4	【宮本町交差点～金山町交差点】
	5	【金山町交差点～大六天交差点】
	6	【入間市境(林3丁目)～大六天交差点】(バイパス)
県道所沢・青梅線	7	【坂之下交差点～愛宕山交差点】
	8	【大六天交差点～三ヶ島農協前交差点】

測定路線名	No.	測定区間名
県道狭山ヶ丘停車場線	9	【狭山ヶ丘駅前～西狭山ヶ丘1丁目交差点】
県道所沢・堀兼・狭山線	10	【エステシティー】
主要地方道さいたま・上福岡・所沢線	11	【中富交差点～東新井町交差点】
主要地方道所沢・武蔵村山・立川線	12	【岩崎交差点～東大和市境】
主要地方道所沢・狭山線	13	【西富小学校～緑町4丁目交差点】
主要地方道川越・所沢線	14	【下富交差点～緑町4丁目交差点】
	15	【元町交差点～緑町4丁目交差点】

測定路線名	No.	測定区間名
主要地方道練馬・所沢線	16	【ファルマン通り交差点～所沢陸橋北交差点】
	17	【所沢陸橋北交差点～愛宕山交差点】
	18	【愛宕山交差点～清瀬市境】
主要地方道東京・所沢線	19	【大六天町交差点～東村山市境】
市道3-851号線	20	【航空公園通り西新井～弥生町】
市道2-194号線	21	【並木通り航空公園駅前～航空管制部前】

(3) 自動車交通騒音

■ 自動車騒音に係る環境基準の年度別適合状況(面的評価結果)

評価年度	測定路線名	No.	測定区間名	評価対象	昼間・夜間とも		昼間のみ		夜間のみ		昼間・夜間とも		昼夜ともに環境基準 達成率
				住居等戸数	基準値以下		基準値以下		基準値以下		基準値超過		
				(戸)	(戸)	割合	(戸)	割合	(戸)	割合	(戸)	割合	
平成20年度	主要地方道所沢・狭山線	13	【西富小学校～緑町4丁目交差点】	888	836	94.1%	52	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	20年度 98.1%
	主要地方道川越・所沢線	14	【下富交差点～緑町4丁目交差点】	1076	1040	96.7%	36	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	
		15	【元町交差点～緑町4丁目交差点】	1369	1369	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	市道3-851号線	20	【航空公園通り西新井～弥生町】	772	772	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	市道2-194号線	21	【並木通り航空公園駅前～航空管制部前】	584	584	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
平成21年度	主要地方道東京・所沢線	19	【大六天交差点～東村山市境】	3045	2758	90.6%	275	9.0%	0	0.0%	12	0.4%	21年度 92.9%
	主要地方道所沢・武蔵村山・立川線	12	【岩崎交差点～東大和市境】	1259	1259	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	県道所沢・青梅線	7	【坂之下交差点～愛宕山交差点】	1011	970	95.9%	27	2.7%	0	0.0%	14	1.4%	
	主要地方道練馬・所沢線	18	【愛宕山交差点～清瀬市境】	425	346	81.4%	52	12.2%	0	0.0%	27	6.4%	
平成22年度	一般国道463号線	2	【宮本町交差点～東新井町交差点】	1270	990	78.0%	280	22.0%	0	0.0%	0	0.0%	22年度 82.4%
	一般国道463号線	3	【東新井町交差点～東京狭山線交差点】	199	136	68.3%	34	17.1%	0	0.0%	29	14.6%	
	県道狭山ヶ丘停車場線	9	【狭山ヶ丘駅前～西狭山ヶ丘1丁目交差点】	476	469	98.5%	7	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	
	主要地方道さいたま・ふじみ野・所沢線	11	【中富交差点～東新井町交差点】	545	458	84.0%	67	12.3%	0	0.0%	20	3.7%	
平成23年度	県道所沢・青梅線	8	【大六天交差点～三ヶ島農協前交差点】	944	821	87.0%	6	0.6%	0	0.0%	117	12.4%	23年度 92.3%
	主要地方道練馬・所沢線	17	【所沢陸橋北交差点～愛宕山交差点】	584	583	99.8%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	
	主要地方道練馬・所沢線	16	【ファルマン通り交差点～所沢陸橋北交差点】	1,111	1,024	92.2%	87	7.8%	0	0.0%	0	0.0%	
	県道東京・堀兼・狭山線	10	【エステシティー】	151	147	97.4%	4	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	
平成24年度	一般国道463号線	1	【宮本町交差点～入間市藤沢境】	1497	1,137	76.0%	340	22.7%	0	0.0%	20	1.3%	24年度 85.9%
		4	【宮本町交差点～金山町交差点】	291	282	96.9%	9	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	
		5	【金山町交差点～大六天交差点】	1321	1,133	85.8%	111	8.4%	0	0.0%	77	5.8%	
		6	【入間市境(林3丁目)～大六天交差点】(バイパス)	1672	1,553	92.9%	119	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	
平成20～24年度				20,490	18,667	91.1%	1,507	7.4%	0	0.0%	316	1.5%	5年平均 91.1%

■評価対象路線における騒音レベル等の基礎データ

測定路線名	No.	測定区間名	調査地点	調査年度	車線数	昼夜区分	等価騒音レベル(LAeq)		環境基準 (dB(A))	交通量 (台)	大型混入率 (%)	平均車速 (km/h)
							背後地					
							(dB(A))	(dB(A))				
一般国道463号線	1	【宮本町交差点～入間市藤沢境】	上新井	平成24年度	2	昼間	70	60	70	19,104	8.5	46
						夜間	70	52	65	4,512	10.6	54
	2	【宮本町交差点～東新井町交差点】	有楽町	平成22年度	2	昼間	67	55	70	18,624	10.3	46
						夜間	67	51	65	3,984	19.3	56
	3	【東新井町交差点～東京狭山線交差点】	牛沼	平成22年度	3	昼間	72	58	70	23,424	17.2	52
						夜間	71	58	65	4,608	21.9	59
4	【宮本町交差点～金山町交差点】	宮本町	平成24年度	2	昼間	66	47	70	14,208	12.2	46	
					夜間	65	47	65	2,688	16.1	55	
5	【金山町交差点～大六天交差点】	上新井	平成24年度	2	昼間	71	54	70	16,896	16.5	43	
					夜間	69	52	65	2,784	31.0	50	
6	【入間市境(林3丁目)～大六天交差点】(バイパス)	和ヶ原	平成24年度	4	昼間	68	57	70	37,920	8.4	52	
					夜間	66	46	65	3,792	24.1	57	
7	【坂之下交差点～愛宕山交差点】	下安松	平成21年度	2	昼間	68	52	70	13,728	5.9	35	
					夜間	65	46	65	2,064	14.0	45	
8	【大六天交差点～三ヶ島農協前交差点】	小手指南	平成23年度	2	昼間	71	47	70	12,000	17.2	48	
					夜間	69	39	65	1,944	18.5	57	
9	【狭山ヶ丘駅前～西狭山ヶ丘1丁目交差点】	西狭山ヶ丘	平成22年度	2	昼間	63	50	70	8,448	6.8	41	
					夜間	58	47	65	1,392	6.9	46	
10	【エスティナー】	中富南	平成23年度	4	昼間	68	54	70	25,200	22.1	49	
					夜間	66	44	65	2,256	12.9	51	
11	【中富交差点～東新井町交差点】	中富	平成22年度	2	昼間	72	48	70	10,176	12.3	45	
					夜間	70	43	65	1,824	31.6	51	
12	【岩崎交差点～東大和市境】	山口	平成21年度	2	昼間	66	50	70	11,856	2.8	35	
					夜間	62	43	65	2,304	6.3	44	
13	【西富小学校～緑町4丁目交差点】	緑町	平成20年度	2	昼間	68	51	70	18,240	6.3	36	
					夜間	65	50	65	2,544	9.4	39	
14	【下富交差点～緑町4丁目交差点】	花園	平成20年度	2	昼間	66	57	70	11,520	11.7	46	
					夜間	64	55	65	1,920	27.5	49	
15	【元町交差点～緑町4丁目交差点】	けやき台	平成20年度	2	昼間	63	47	70	13,824	5.6	40	
					夜間	60	40	65	2,688	12.5	45	
16	【ファルマン通り交差点～所沢陸橋北交差点】	旭町	平成23年度	2	昼間	69	47	70	14,928	10.3	43	
					夜間	66	40	65	2,424	8.9	58	
17	【所沢陸橋北交差点～愛宕山交差点】	上安松	平成23年度	2	昼間	67	45	70	17,136	9.5	37	
					夜間	65	43	65	1,848	14.3	57	
18	【愛宕山交差点～清瀬市境】	下安松	平成21年度	2	昼間	72	50	70	16,320	6.2	44	
					夜間	69	43	65	1,824	11.8	47	
19	【大六天交差点～東村山市境】	南住吉	平成21年度	2	昼間	69	55	70	14,304	7.4	34	
					夜間	68	48	65	3,360	7.9	42	
20	【航空公園通り西新井～弥生町】	弥生町	平成20年度	4	昼間	65	53	70	13,824	4.2	41	
					夜間	59	50	65	1,152	4.2	42	
21	【並木通り航空公園駅前～航空管制部前】	並木	平成20年度	4	昼間	62	51	70	12,768	12.8	40	
					夜間	55	47	65	1,680	11.4	44	

(注)昼間 6:00～22:00 夜間:22:00～6:00

(4) 航空機騒音

■航空機騒音の測定結果(航空自衛隊入間基地周辺)

情報提供: 埼玉県

測定地点名	所在地	環境基準 (WECPNL)	うるささ指数(WECPNL)					一日あたりの平均騒音発生回数				
			H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
1 康寿園	所沢市東狭山ヶ丘	70(I 類型)	76	76	76	76	75	40	40	39	41	40
2 宮前小学校	所沢市東狭山ヶ丘	70(I 類型)	72	73	73	73	72	41	41	41	40	38
3 所沢西高等学校	所沢市北野新町	70(I 類型)	71	71	71	71	70	26	25	22	25	23
4 小手指小学校	所沢市小手指元町	70(I 類型)	66	67	67	67	66	20	18	18	19	18
5 狭山緑陽高等学校	狭山市広瀬東	70(I 類型)	72	72	72	71	71	41	44	45	44	43
6 綜研化学㈱駐車場	狭山市柏原	75(II 類型)	79	79	79	78	78	49	49	48	50	48
7 柏原幼稚園	狭山市柏原	70(I 類型)	76	76	76	75	75	43	44	43	44	43
8 老人福祉センター宝荘	狭山市柏原	70(I 類型)	69	68	68	67	67	30	30	29	29	28

※狭山高等学校はH20年4月より「狭山緑陽高等学校」になりました。

■航空機騒音測定地点図



■「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づく第1種区域図



◆第1種区域(75W線引き区域)
自衛隊の航空機の離陸、着陸等頻繁な実施により生ずる音響に起因する障害が著しいと認められる防衛省が指定する防衛施設周辺の区域

《対象地域》

- 東狭山ヶ丘1～3丁目、4・5丁目の一部、6丁目
- 狭山ヶ丘1・2丁目の一部
- 北中1・2丁目の一部
- 小手指町2丁目の一部

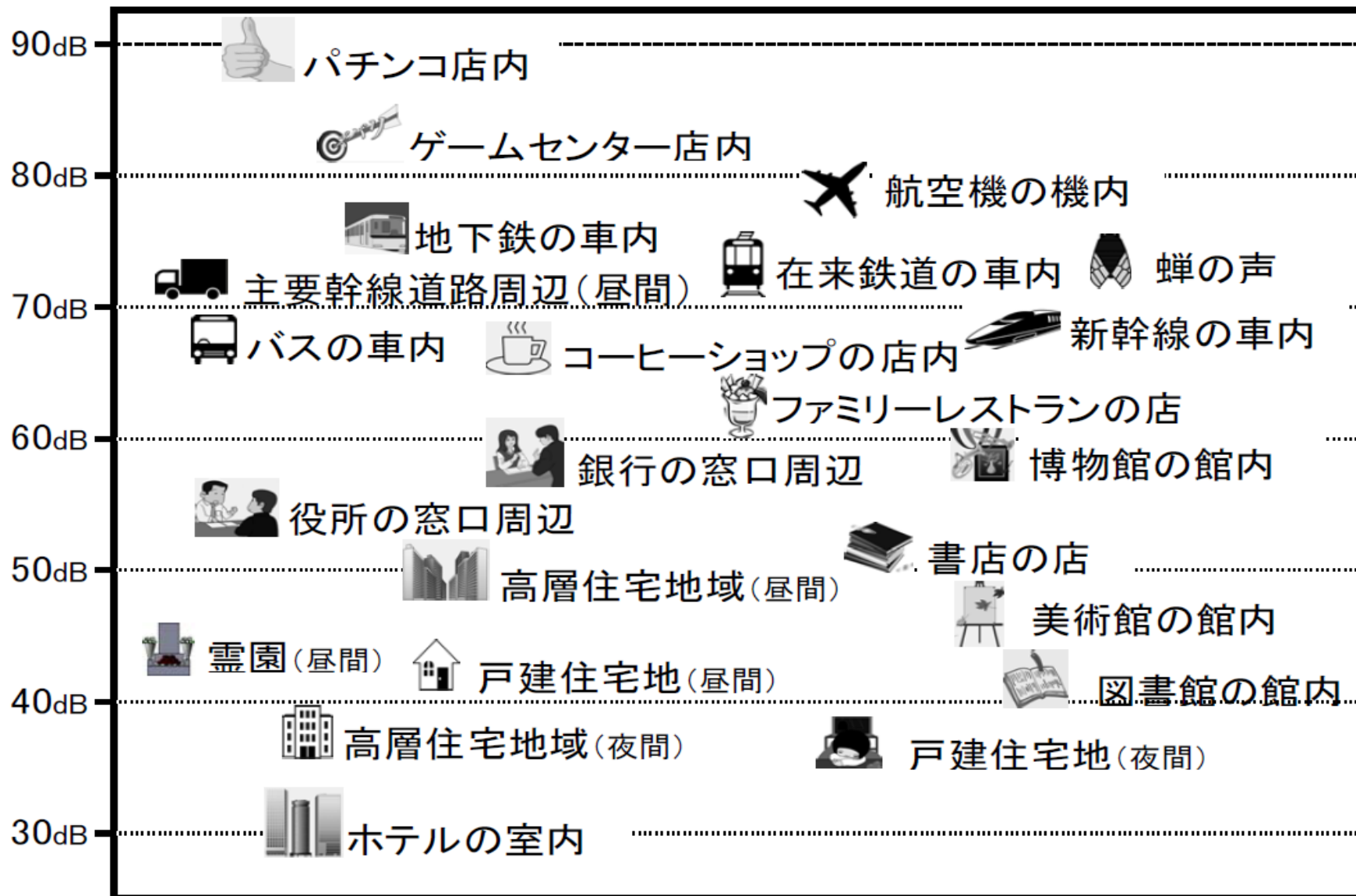
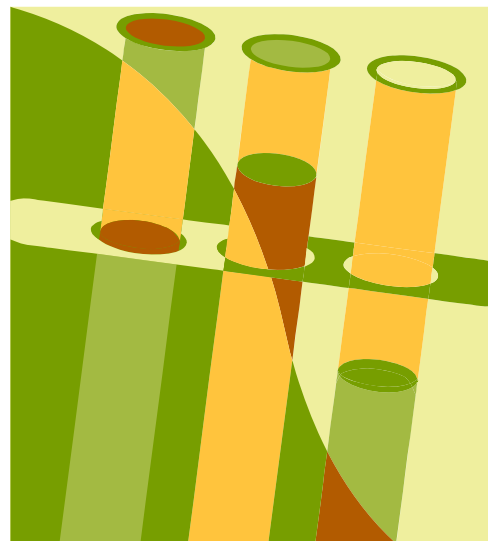


図1 騒音の目安(都心・近郊用)

(出典「全国環境研協議会 騒音小委員会」)

4 化学物質



(1) ダイオキシン類に係る環境基準

項目	基準値
大気	0.6pg-TEQ/m ³ 以下
水質 (水底の底質を除く)	1pg-TEQ/l 以下
水底の底質	150pg-TEQ/g 以下
土壌	1,000pg-TEQ/g 以下 土壌にあっては、*調査指標値 250pg-TEQ/g が定められている。 *調査指標値：環境基準が達成されている場合であって、土壌中のダイオキシン類の量が 250pg-TEQ/g 以上の場合には、必要な調査を実施することとされている。

1. 基準値は 2, 3, 7, 8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値とする。
2. 大気及び水質（水底の底質を除く。）の基準値は、年間平均値とする。

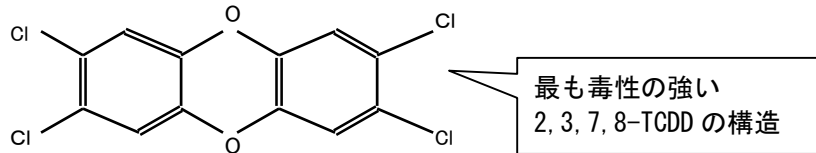
○ダイオキシン類

単位の説明

pg (ピコグラム) …… 1 兆分の 1 グラム

ng (ナノグラム) …… 10 億分の 1 グラム

TEQ (毒性等量) …… ダイオキシン類は毒性がそれぞれ異なるため、最も毒性の強い 2, 3, 7, 8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (2, 3, 7, 8-TCDD) の毒性に換算して得られる量を言う。



(2, 3, 7, 8-TCDD) の毒性を 1 として他の種類の毒性を換算した係数 (TEF) を用いる。

■ ダイオキシン類濃度 × TEF = 毒性等量 (TEQ)

ダイオキシン類とは下図のとおり、

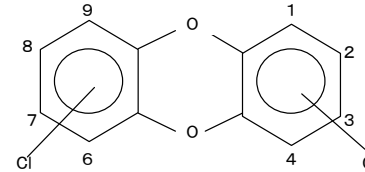
- ① ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (PCDD)
- ② ポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF)
- ③ コプラナー-PCB (Co-PCB)

の 3 種類 (ダイオキシン類対策特別措置法) となっており、現在、確認されている異性体数及び毒性等価係数が定められている異性体数の種類は下記のとおり。

① PCDD

異性体数：75 種類

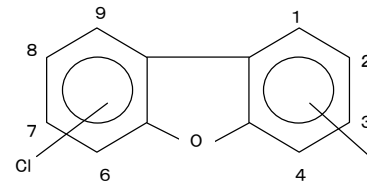
うち毒性あり：7 種類



② PCDF

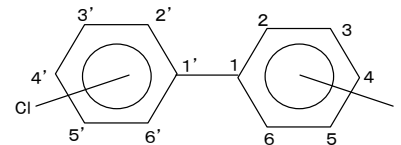
異性体数：135 種類

うち毒性あり：10 種類



③ Co-PCB

毒性あり：12 種類



■ダイオキシン類測定項目(H24年度)

測定項目	測定場所	教育センター	東所沢測定局	三ヶ島まちづくりセンター	金井(水域名不老川)橋	清柳(水域名柳瀬川)橋	中富	小手指南	西新井	城

○大気試料

大気(PCDD+PCDF、CO-PCB)	○	○	○							
----------------------	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

○水質試料

河川水(PCDD+PCDF、CO-PCB)				○	○					
河川底質(PCDD+PCDF、CO-PCB)				○	○					
地下水(PCDD+PCDF、CO-PCB)						△	△	△	△	

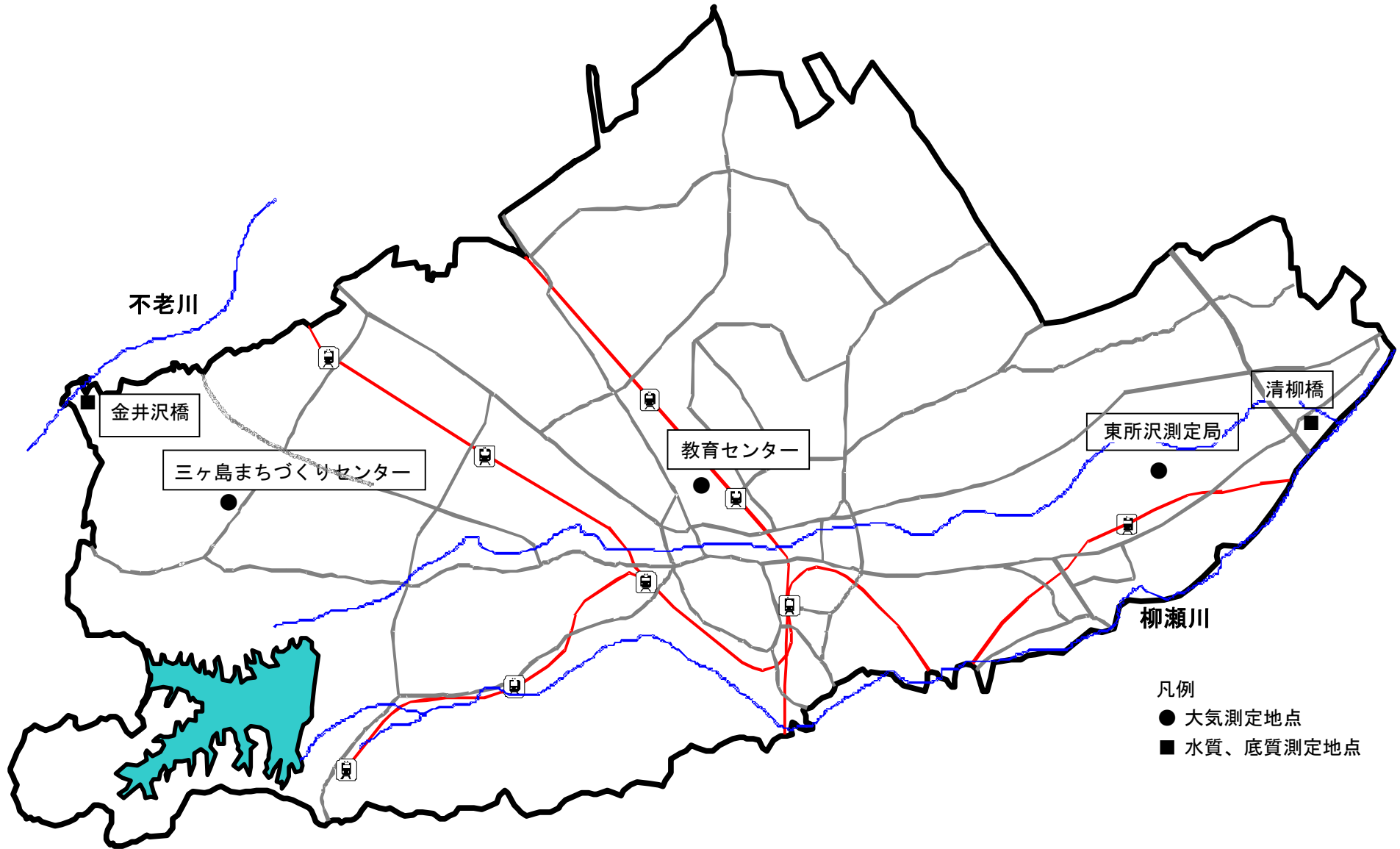
測定項目	測定場所	庄家老人憩のやなせ	南長栄園寺	学中央中	小北秋津	民富岡公	地花園緑	西上公新園井	園大谷公	中三ヶ校島	林神社

○土壌試料

土壌(PCDD+PCDF、CO-PCB)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

* △:土壌、地下水については、5年ごとに実施しているため平成24年度は実施していません。なお、今回は2008年度(平成20年度)に実施しています。

■ダイオキシン類測定地点(H24年度)



(2) ダイオキシン類環境調査結果

1. 調査地点及び採取日

■大気試料

(別添調査地点図参照)

調査地点	春季採取日	夏季採取日	秋季採取日	冬季採取日
A-1 東所沢測定局	平成 24 年 5 月 16 日～23 日	平成 24 年 7 月 19 日～26 日	平成 24 年 10 月 17 日～ 24 日	平成 25 年 1 月 10 日～17 日
A-2 所沢市立教育センター				
A-3 三ヶ島まちづくりセンター				

■水質及び底質試料

(別添調査地点図参照)

調査地点	採取日	
	河川水	河川底質
R-1、T-1 金井沢橋 (不老川)	平成 24 年 11 月 1 日	平成 24 年 11 月 1 日
R-2、T-2 清柳橋 (柳瀬川)	平成 24 年 11 月 1 日	平成 24 年 11 月 1 日

2. 調査方法

試料種類	調査方法
大 気	「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル（平成 20 年 3 月環境省 水・大気環境局 総務課ダイオキシン対策室・大気環境課）」に準拠
河 川 水	JIS K 0312 (2008) 「工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法」に準拠
河 川 底 質	「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（平成 21 年 3 月環境省 水・大気環境局水環境課）」に準拠

3. 測定機関

測定受託者：株式会社 環境科学コーポレーション

4. 調査結果

1) 大気試料

全ての調査地点において、大気に係る環境基準 (0.6pg-TEQ/m³ 以下 (年平均値)) を満足している状況にありました。

調査地点		毒性等量* (pg-TEQ/m ³)				
		春季	夏季	秋季	冬季	年平均値
A-1	東所沢測定局	0.029	0.051	0.038	0.070	0.047
A-2	所沢市立教育センター	0.015	0.041	0.041	0.035	0.033
A-3	三ヶ島まちづくりセンター	0.015	0.033	0.022	0.040	0.028
平 均 値		0.020	0.042	0.034	0.048	0.036

※毒性等量の算出の際、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままの値を用い、検出下限未満は検出下限の 1/2 の値を用いて算出しました。

2) 水質及び底質試料

全ての調査地点において、水質、底質に係る環境基準 (1pg-TEQ/l 以下、150pg-TEQ/g 以下) を満足している状況にありました。

調査地点		水質における毒性等量* (pg-TEQ/l)	底質における毒性等量* (pg-TEQ/g)
R-1、T-1	金井沢橋 (不老川)	0.065	2.6
R-2、T-2	清柳橋 (柳瀬川)	0.035	0.24
平 均 値		0.050	1.4

※毒性等量の算出の際、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままの値を用い、検出下限未満は検出下限の 1/2 の値を用いて算出しました。

5. ダイオキシン類摂取量 (暴露評価) の推定

本調査結果に基づくダイオキシン類摂取量 (暴露評価) の推定結果は、0.69～0.72 pg-TEQ/kg/日の範囲にあり、耐容一日摂取量 (4pg-TEQ/kg/日) を下回っている状況にありました。

	摂取量 (pg-TEQ/kg/日)			合計
	大気*1	土壌*2	食物*3	
最 大 値	0.014	0.026	0.68	0.72
最 小 値	0.008	0.0037		0.69
平 均 値	0.011	0.013		0.70

※1 「ダイオキシンリスク評価検討会報告書 (平成 9 年 5 月)」と同手法により算出しました。

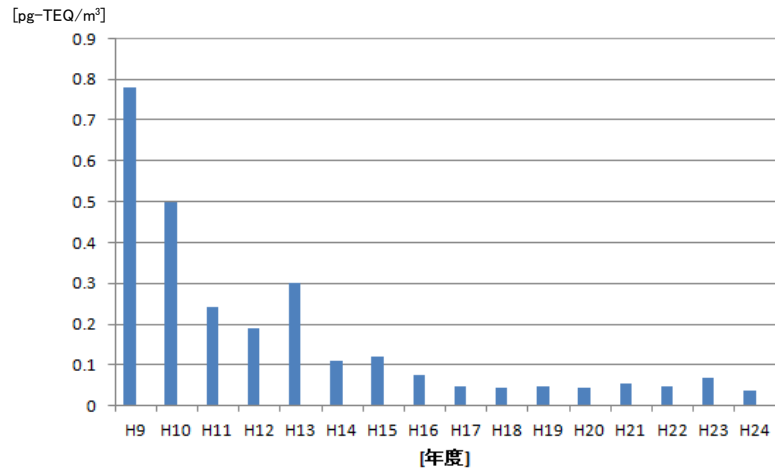
※2 「土壌中のダイオキシン類に関する検討会第一次報告 (平成 11 年 7 月)」と同手法により算出しました。

※3 平成 23 年度厚生労働省調査 (食品からのダイオキシン類一日摂取量調査) 結果における平均値を用いました。

6. 大気中のダイオキシン類濃度の推移

調査開始年度の平成 9 年度 (0.78pg-TEQ/m³) 以来、大気中ダイオキシン類濃度は低下傾向にありました。大気中のダイオキシン類濃度の経年変化は次図表に示したとおりです。

■大気中のダイオキシン類濃度の経年変化



	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
年平均値 (pg-TEQ/m³)	0.78	0.50	0.24	0.19	0.30	0.11	0.12	0.074
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
年平均値 (pg-TEQ/m³)	0.046	0.043	0.048	0.044	0.053	0.046	0.067	0.036

※毒性等量の算出の際、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままの値を用い、検出下限未満は検出下限の1/2の値を用いて算出しました。

8. 今後の対応

- 1) ダイオキシン類対策特別措置法第26条第1項の規定に基づき、引き続き、ダイオキシン類の常時監視を実施します。
- 2) 所沢市ダイオキシン類等の汚染防止に関する条例等の関係法令に基づき、焼却施設等の発生源に対する監視指導を引き続き重点的に実施します。

参考資料

＜大気試料採取時における気象状況＞

調査日	調査地点	平均気温 (°C)	平均湿度 (%)	平均風速 (m/sec)	主風向
平成24年5月16日～23日	東所沢測定局	18.9	68	2.8	北
平成24年7月19日～26日	東所沢測定局	24.0	83	1.5	東北東
平成24年10月17日～24日	東所沢測定局	16.8	78	2.2	北
平成25年1月10日～17日	東所沢測定局	2.9	67	2.1	北北西

7. 焼却施設の設置状況の推移

平成8年度末からの焼却施設数の減少率は、全体で96%であり、これらは主に市内公共施設での焼却施設の使用自粛、廃棄物焼却施設撤去推進事業の実施、関係法令の整備（ダイオキシン類対策特別措置法・所沢市ダイオキシン類等の汚染防止に関する条例）に伴う指導により使用廃止されたものです。

■焼却施設の設置状況

施設の規模	平成8年度末	平成24年度末	減少率 (%)
施設A (200kg/時～)	25	8	68
施設B (100kg/時～200kg/時)	61	3	95
施設C (30kg/時～100kg/時)	409	8	98
合計	495	19	96

※平成8年度末の施設B、Cの施設数は、平成11年度の設置調査から推定したものです。
 ※所沢市ダイオキシン類等の汚染防止に関する条例の一部改正（平成14年12月施行）に伴い、平成24年度末までに焼却能力30kg/h未満の焼却施設が32施設届出されています。

(3) 化学物質の排出量・移動量の集計結果

－平成23年度PRTR所沢市データの概要－

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(以下、「化管法」という。)及び「埼玉県生活環境保全条例」に基づき、人の健康や生態系に有害なおそれがある「第1種指定化学物質(462物質)」、「第2種指定化学物質(100物質)」及び「県条例で定める化学物質(39物質)」について、所沢市内の対象事業者からの環境への排出量・移動量・取扱量を集計したので、お知らせします。

本発表は、平成23年度中に事業者が把握した排出量・移動量・取扱量について、平成24年4月1日から平成24年7月2日までの間に行われた届出をもとに集計しています。

《集計結果の概要》

化管法に基づく排出量・移動量の届出は、市内44事業所(全12業種)から合計52物質について提出がありました。届出が最も多かった地区は小手指地区・三ヶ島地区・柳瀬地区(8件)であり、届出が最も多かった業種は燃料小売業(26件)です。

市内の届出総排出量は31.2トン、総移動量は58.2トン、排出量・移動量合計で89.4トンとなっています。環境への排出形態については、大気への排出が最も多く26.9トン(総排出量・移動量比で30.1%)を占めています。

届出排出量が多かった化学物質(上位3物質)は、トルエン(9.7トン)、トリクロロエチレン(9.2トン)、ノルマルヘキサン(3.2トン)であり、届出排出量が多かった業種(上位3業種)は、その他の製造業(7.8トン)、燃料小売業(5.7トン)、電気機械器具製造業(5.3トン)の順となっています。

《経年変化の概要》

届出数は、近年減少傾向にあり、平成23年度(44件)は前年度(46件)よりも減少しましたが、届出排出量・移動量は、平成23年度(89.4トン)は前年度(87.2トン)よりも増加しました。排出形態は、例年、大気への排出が大部分を占めており、平成23年度は大気への排出量(26.9トン、排出量比86.1%)となっています。排出物質については、平成20年度まではフロン的一种であるHCFC-141bが最も多い物質でしたが、オゾン層を破壊するおそれがあることから、代替物質への転換が進んだ為、当該物質の排出量が激減しました。

1. 平成23年度排出量・移動量の集計結果の概要

(1) 排出量・移動量の届出状況

平成24年度(届出期間:平成24年4月1日から平成24年7月2日まで)には、平成23年度に事業者が把握した排出量・移動量について、市内で44事業所から届出がありました。業種及び地区別の届出状況は表1のとおりです。

■地区別の届出状況



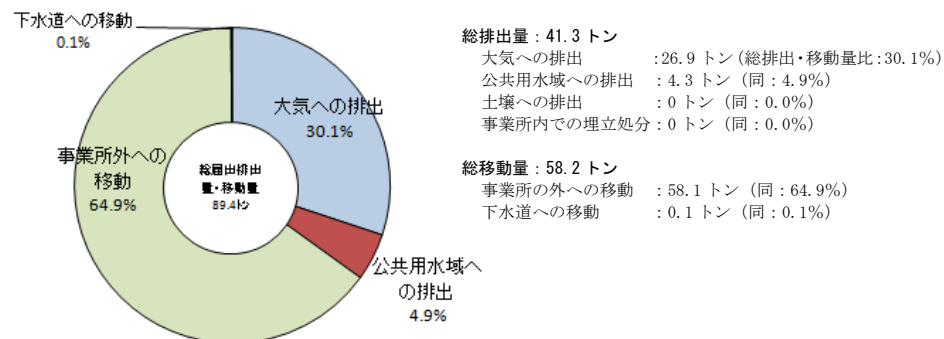
(2) 集計結果の概要

① 届出排出量・移動量

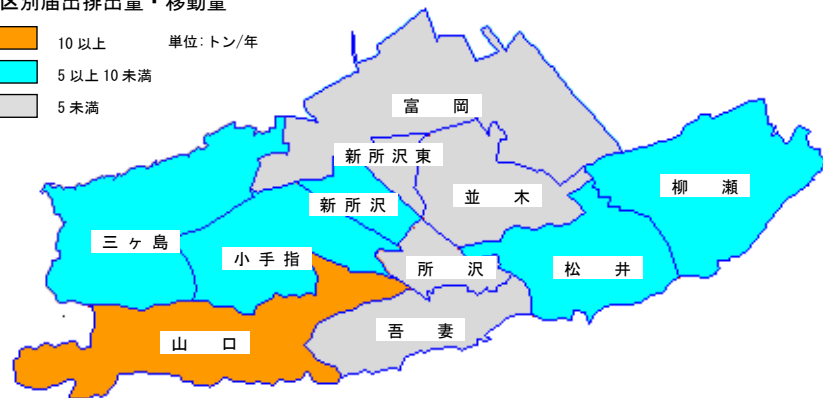
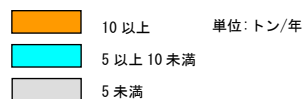
事業者から届出のあった排出量・移動量の全体の内訳は、総排出量・移動量89.4トンに対して総排出量31.2トン、総移動量58.1トンとなっています。排出量及び移動量の内訳(地区別排出量・移動量内訳を含む)は、表2のとおりです。

また、埼玉県生活環境保全条例に基づき届出された化学物質(601物質)の同期間の取扱量は、18,989トンとなっています。取扱量の内訳は、表3のとおりです。

■排出量・移動量の構成



■地区別届出排出量・移動量

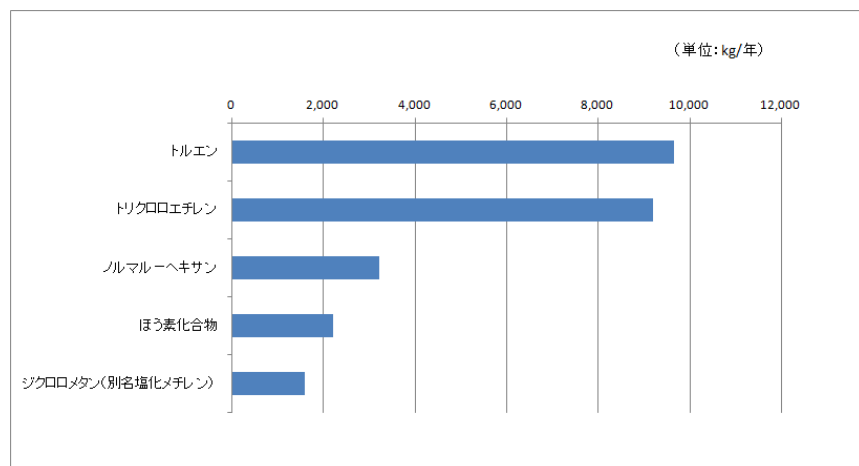


②届出排出量の多い物質

届出排出量の多い上位5物質の合計は35.9トンで、届出排出量の合計41.3トンの86.9%に当たります。

届出排出量上位5物質（地区別排出量上位5物質を含む。）については、表4のとおりです。

■届出排出量上位5物質



③業種別の届出排出量・移動量

届出排出量・移動量の多い上位5業種の合計は83.2トンで、届出排出量・移動量の合計89.4トンの93.1%に当たります。

排出量・移動量上位5業種については、表5のとおりです。また、業種別の届出排出量・

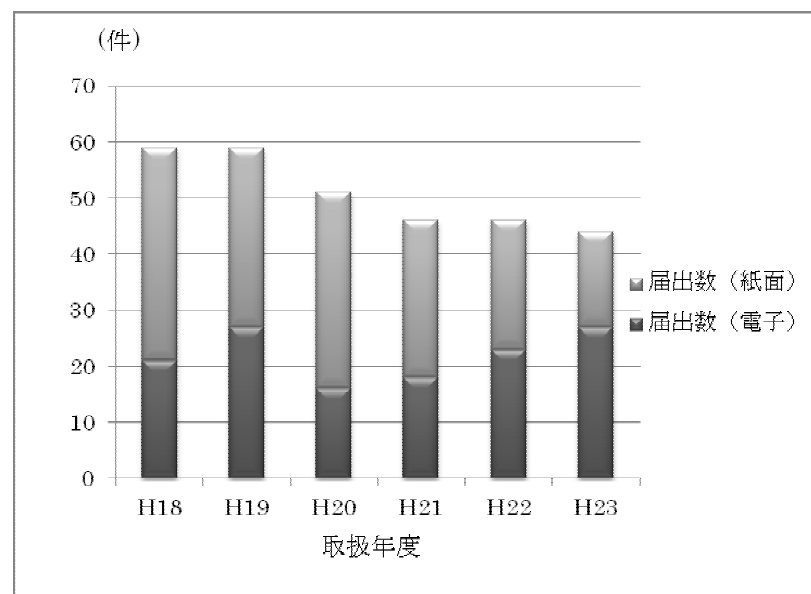
移動量とその内訳は表6、排出量・移動量上位3業種における上位3物質とその量については表7のとおりです。

2. 届出排出量・移動量の経年変化について

(1)届出状況

事業者からの届出件数は、化管法改正により対象物質数や対象業種が増えたものの、平成23年度は44件となり前年度の46件に比べて減少しています。また、電子情報処理組織による届出の占める割合が増加傾向にあり、今年度は61%と全届出数の半数を超えている状況です。届出方法別にみた届出状況の推移については表8のとおりです。

■届出状況の経年変化



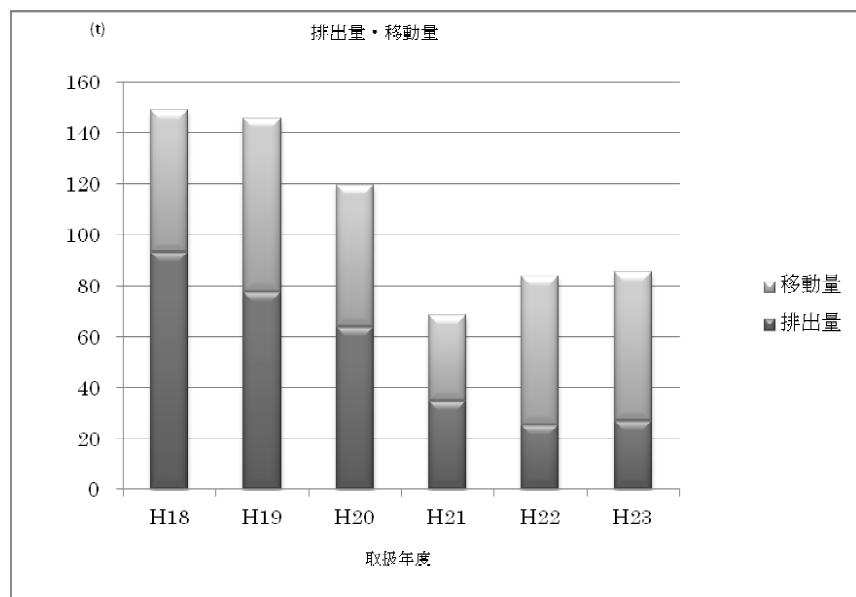
(2)届出排出量・移動量

届出排出量・移動量は、近年減少傾向にありましたが、化管法改正後の平成23年度は89.4トンと前年度の87.2トンよりも増加しています。

例年、排出形態は大気への排出が大部分を占めており、平成23年度は大気への排出量(26.9トン、排出量比86.2%)となっています。

届出排出量・移動量の推移は表9のとおりです。

■届出排出量・移動量の経年変化



っています。

詳細については、市ホームページ (<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>) をご覧ください。

参 考 化学物質情報を掲載しているホームページ

- ①経済産業省 製造産業局化学物質管理課
http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/index.html
- ②環境省 環境保健部環境安全課 PRTR インフォメーション広場
<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>
- ③独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)
<http://www.nite.go.jp/>
- ④埼玉県 環境部大気環境課
<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/f03/>

(3) 化学物質の種類別の届出排出量・移動量

①届出排出量・移動量上位3物質

届出排出量・移動量上位3物質の推移は表10のとおりです。平成20年度まではフロン的一种であるHCFC-141bが最も多い物質でしたが、オゾン層を破壊するおそれがあることから、代替物質への転換が進んだ為、当該物質の排出量が激減し、平成21年度からは銅水溶性塩(錯塩を除く。)が第1位となっています。

②届出排出量上位3物質

届出排出量上位3物質の推移は表11のとおりです。平成20年度まではHCFC-141bが第1位でしたが、当該物質の排出量が激減し、平成21年度以降はトルエンとトリクロロエチレンが上位2位を占める状況となっています。

(4) 業種別の届出排出量 (届出排出量上位3業種)

届出排出量上位3業種の推移は表12のとおりです。平成21年度までは、電気機械器具製造業が第1位となっていました。年々減少傾向にあり、平成23年度には第3位となっています。また、排出量は全体的に年々減少傾向となっています。

(5) 地区別の届出排出量 (届出排出量上位3地区)

届出排出量上位3地区の推移は表13のとおりです。平成23年度は柳瀬地区が第1位とな

平成 23 年度排出量・移動量の集計結果

■業種別・地区別の届出状況（表 1）

（単位：事業所）

業種名	全国 届出数	市内 届出数	地区別届出数											
			所沢	新所沢	新所沢 東	並木	小手指	吾妻	松井	柳瀬	三ヶ島	山口	富岡	
金属鉱業	16													
原油・天然ガス鉱業	29													
製造業	13,416	12	0	1	0	0	2	0	1	5	2	1	0	
・ 食料品製造業	438													
・ 飲料・たばこ・飼料製造業	131													
・ 繊維工業	185													
・ 衣服・その他の繊維製品製造業	29													
・ 木材・木製品製造業	207													
・ 家具・装備品製造業	97													
・ パルプ・紙・紙加工品製造業	437													
・ 出版・印刷・同関連産業	355													
・ 化学工業	2,350	2					1		1					
・ 石油製品・石炭製品製造業	519	1									1			
・ プラスチック製品製造業	1,108	2								1	1			
・ ゴム製品製造業	316													
・ なめし革・同製品・毛皮製造業	27													
・ 窯業・土石製品製造業	677													
・ 鉄鋼業	386													
・ 非鉄金属製造業	561													
・ 金属製品製造業	1,835	1					1							
・ 一般機械器具製造業	819													
・ 電気機械器具製造業	1,405	4		1						2		1		
・ 輸送用機械器具製造業	1,183	1									1			
・ 精密機械器具製造業	243													
・ 武器製造業	7													
・ その他の製造業	101	1								1				
電気業	255													
ガス業	34													
熱供給業	13													
下水道業	2,030	1							1					
鉄道業	51													
倉庫業	130													
石油卸売業	503	1										1		
鉄スクラップ卸売業	11													
自動車卸売業	7													

燃料小売業	16,828	26	2	3	1		5	1	3	2	5	2	2
洗濯業	166	1							1				
写真業	3												
自動車整備業	182												
機械修理業	34												
商品検査業	32												
計量証明業	36												
一般廃棄物処理業(ごみ処分量に限る)	1,835	3					1			1	1		
産業廃棄物処分量(特別管理産業廃棄物処分量を含む。)	495												
医療業	134												
高等教育機関	132												
自然科学研究所	266												
全業種合計	36,638	44	2	4	1	0	8	1	6	8	8	4	2
割合		100%	4.54%	9.09%	2.27%	0%	18.18%	2.27%	13.63%	18.18%	18.18%	9.09%	4.54%

■地区別の届出排出量・移動量（表2）

	届出数	排出量 ^{※1} (kg/年)					移動量 ^{※2} (kg/年)			排出・移動量 合計(kg/年)	割合
		大気	水域	土壌	埋立	合計 ^{※3}	廃棄物	下水道	合計 ^{※3}		
全 国	36,638	157,660,544	8,558,776	153,710	7,470,085	173,843,114	223,590,818	1,436,493	225,027,311	398,870,424	100%
埼 玉 県	1,593	8,183,896	275,338	0	0	8,459,235	8,212,679	69,746	8,282,426	16,741,660	4.20%
所 沢 市	44	26,900	4,343	0	0	31,243	58,054	113	58,167	89,410	0.02%
地区別 排出・ 移動量	所沢	2	512	0	0	512	0	0	0	512	0.57%
	新所沢	4	5,512	0	0	5,512	3,700	0	3,700	9,212	10.31%
	新所沢東	1	87	0	0	87	0	0	0	87	0.10%
	並木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
	小手指	8	5,116	86	0	5,202	440	0	440	5,642	6.31%
	吾妻	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
	松井	6	1,713	3,847	0	5,560	1,053	113	1,166	6,726	7.53%
	柳瀬	8	8,205	0	0	8,205	70	0	70	8,275	9.26%
	三ヶ島	8	4,315	0	0	4,315	5,020	0	5,020	9,335	10.44%
	山口	4	591	410	0	1,001	47,740	0	47,740	48,741	54.53%
富岡	2	846	0	0	846	0	0	0	846	0.95%	
割合		30.08%	4.86%	0.00%	0.00%	34.94%	64.93%	0.13%	65.06%	100.00%	

※1 大気：大気への排出 水域：公共用水域への排出 土壌：事業所内の土壌への排出 埋立：事業所内の埋立処分

※2 廃棄物：事業所外への廃棄物としての移動 下水道：下水道への移動

※3 排出量・移動量の合計は、各事業所から届け出られた当該データ（ダイオキシン類を除き小数点第1位まで）の合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したものである。本集計表の排出量等の各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合がある。

■地区別の届出取扱量（表3）

	届出数	取扱量(kg/年)				割合	取扱量上位3物質
		第一種	第二種	その他	合計		
埼玉県	1,588	662,659,750	145,600	130,016,100	792,821,450	100%	トルエン、キシレン、1, 2, 4-トリメチルベンゼン
所沢市	45	18,477,190	0	512,280	18,989,470	2.40%	トルエン、キシレン、1, 2, 4-トリメチルベンゼン
地区別 取扱量	所沢	2	1,555,300	0	1,555,300	8.19%	トルエン、キシレン、1, 2, 4-トリメチルベンゼン
	新所沢	4	2,489,100	0	2,489,100	13.11%	トルエン、キシレン、1, 2, 4-トリメチルベンゼン
	新所沢東	1	599,100	0	599,100	3.15%	トルエン、キシレン、1, 2, 4-トリメチルベンゼン
	並木	0	0	0	0	0.00%	
	小手指	7	4,214,700	0	4,214,700	22.19%	トルエン、キシレン、1, 2, 4-トリメチルベンゼン
	吾妻	1	26,000	0	26,000	0.14%	1, 2, 4-トリメチルベンゼン、キシレン
	松井	5	2,488,730	15,000	2,503,730	13.18%	トルエン、キシレン、1, 2, 4-トリメチルベンゼン
	柳瀬	8	1,628,450	30,400	1,658,850	8.74%	塩化第二鉄、トルエン、キシレン
	三ヶ島	9	2,009,900	5,300	2,015,200	10.61%	トルエン、キシレン、1, 2, 4-トリメチルベンゼン
	山口	4	1,216,560	431,000	1,647,560	8.68%	トルエン、キシレン、1, 2, 4-トリメチルベンゼン
富岡	4	2,249,350	30,580	2,279,930	12.01%	トルエン、キシレン、ノルマル-ヘキサン	
割合		97.30%	0.00%	2.70%	100.00%		

※ 「第一種」「第二種」とは、それぞれ、特定化学物質の環境への排出量の把握等および環境の改善に関する法律で定める「第一種指定化学物質」（462物質）、「第二種指定化学物質」（100物質）のことで、「その他」とは、埼玉県生活環境保全条例に基づき、人や生態系に影響を及ぼすおそれのある化学物質として埼玉県が独自に定めた物質（39物質）のことで。

■届出排出量上位5物質とその量（表4）

	排出量上位5物質(kg/年)										
	1位物質		2位物質		3位物質		4位物質		5位物質		
全 国	トルエン	58,535,863	キシレン	31,959,779	エチルベンゼン	14,751,883	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	13,555,739	ノルマル-ヘキサン	11,236,910	
埼玉県	トルエン	5,007,547	キシレン	888,034	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	577,726	ノルマル-ヘキサン	476,928	エチルベンゼン	338,182	
所沢市	トルエン	9,652	トリクロロエチレン	9,200	ノルマル-ヘキサン	3,214	ほう素化合物	2,203	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	1,603	
地区別 上位5 物質	所沢	ノルマル-ヘキサン	290	トルエン	164	ベンゼン	28	キシレン	20	エチルベンゼン	5
	新所沢	トリクロロエチレン	1,700	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	1,600	1-ブロモプロパン	1,400	ノルマル-ヘキサン	450	トルエン	270
	新所沢東	ノルマル-ヘキサン	40	トルエン	36	ベンゼン	5	キシレン	4	1, 2, 4-トリメチルベンゼン	1
	並木										

小手指	トリクロロエチレン	3,900	ノルマルーヘキサン	680	トルエン	395	グルタルアルデヒド	83	ベンゼン	68
吾妻	キシレン	0	1, 2, 4-トリメチルベンゼン	0						
松井	ほう素化合物	2,200	亜鉛の水溶性化合物	920	テトラクロロエチレン	900	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	530	ノルマルーヘキサン	463
柳瀬	トルエン	7,911	ノルマルーヘキサン	187	メチルナフタレン	68	ベンゼン	19	キシレン	13
三ヶ島	トリクロロエチレン	3,600	ノルマルーヘキサン	409	トルエン	226	ベンゼン	39	キシレン	28
山口	ノルマルーヘキサン	215	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	210	ペルオキシニ硫酸の水溶性塩	200	ホルムアルデヒド	170	トルエン	122
富岡	ノルマルーヘキサン	480	トルエン	270	ベンゼン	46	キシレン	33	エチルベンゼン	9

※ ペルオキシニ硫酸の水溶性塩はめっき工程などに、ジクロロメタン(別名塩化メチレン)・トリクロロエチレンは金属洗浄などに用いられています。ノルマルーヘキサン・トルエンはガソリン中に含まれています。

■届出排出量・移動量上位5業種とその量(表5)

		排出・移動量上位5業種(kg/年)									
		1位業種		2位業種		3位業種		4位業種		5位業種	
全 国	化学工業	112,630,158	鉄鋼業	59,643,074	輸送用機械器具製造業	43,567,748	プラスチック製品製造業	30,908,179	金属製品製造業	24,328,338	
所 沢 市	電気機械器具製造業	56,832	輸送用機械器具製造業	8,500	その他の製造業	7,800	燃料小売業	5,718	金属製品製造業	4,340	

		排出量上位5業種(kg/年)									
		1位業種		2位業種		3位業種		4位業種		5位業種	
全 国	輸送用機械器具製造業	38,285,907	化学工業	21,753,974	プラスチック製品製造業	18,995,905	金属製品製造業	13,960,727	一般機械器具製造業	10,076,695	
所 沢 市	その他の製造業	7,800	燃料小売業	5,718	電気機械器具製造業	5,322	金属製品製造業	3,900	下水道業	3,847	

		移動量上位5業種(kg/年)									
		1位業種		2位業種		3位業種		4位業種		5位業種	
全 国	化学工業	90,876,184	鉄鋼業	55,704,600	電気機械器具製造業	15,534,013	プラスチック製品製造業	11,912,274	金属製品製造業	10,367,611	
所 沢 市	電気機械器具製造業	51,510	輸送用機械器具製造業	4,900	洗濯業	700	化学工業	466	金属製品製造業	440	

■業種別の届出排出量・移動量とその内訳（表6）

業種 業種名	排出量 (kg/年)					移動量 (kg/年)			排出量・移動量 合計 (kg/年)
	大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道	合計	
化学工業	0	83	0	0	83	353	113	466	549
石油製品・石炭製品製造業	68	0	0	0	68	0	0	0	68
プラスチック製品製造業	0	0	0	0	0	120	0	120	120
金属製品製造業	3,900	0	0	0	3,900	440	0	440	4,340
電気機械器具製造業	4,912	410	0	0	5,322	51,510	0	51,510	56,832
輸送用機械器具製造業	3,600	0	0	0	3,600	4,900	0	4,900	8,500
その他の製造業	7,800	0	0	0	7,800	0	0	0	7,800
下水道業	0	3,847	0	0	3,847	0	0	0	3,847
石油卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料小売業	5,718	0	0	0	5,718	0	0	0	5,718
洗濯業	900	0	0	0	900	700	0	700	1,600
一般廃棄物処理業（ごみ処分量に限る）	0	3	0	0	3	0	0	0	3

■届出排出量・移動量上位3業種における上位3物質とその量（表7）

業種：電気機械器具製造業

物質名	排出量 (kg/年)					移動量 (kg/年)			排出量・移動量 合計 (kg/年)
	大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道	合計	
銅水溶性塩（錯塩を除く。）	0	210	0	0	210	40,000	0	40,000	40,210
ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	0	200	0	0	200	6,700	0	6,700	6,900
トリクロロエチレン	1,700	0	0	0	1,700	2,600	0	2,600	4,300

業種：輸送用機械器具製造業

物質名	排出量 (kg/年)					移動量 (kg/年)			排出量・移動量 合計 (kg/年)
	大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道	合計	
トリクロロエチレン	3,600	0	0	0	3,600	4,900	0	4,900	8,500

業種：その他の製造業

物質名	排出量 (kg/年)					移動量 (kg/年)			排出量・移動量 合計 (kg/年)
	大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道	合計	
トルエン	7,800	0	0	0	7,800	0	0	0	7,800

排出量・移動量の経年変化 ※過去の集計結果は修正している場合があります。

■届出方法別にみた届出状況の推移（表 8）

（単位：件）

届出方法	年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
電子情報処理組織による届出		0	0	5	16	25	21	27	16	18	23	27
紙面による届出		46	51	53	47	34	38	32	35	28	23	17
合 計		46	51	58	63	59	59	59	51	46	46	44

■届出排出量・移動量の推移（表 9）

（単位：t/年）

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
排出(大気)	54.4	67.9	60.2	73.4	82.0	92.7	77.4	63.8	34.6	25.4	26.9
排出(水域)	2.0	2.1	1.2	1.2	1.9	1.9	3.5	3.6	3.2	3.2	4.3
排出(土壌)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
排出(埋立)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
排出量 合計	56.5	70.0	61.4	74.5	83.9	94.7	80.9	67.4	37.9	28.6	31.2
移動(廃棄物)	19.7	18.3	55.1	55.4	52.0	56.3	68.5	55.5	33.8	58.4	58.1
移動(下水)	0.0	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1
移動量 合計	19.8	18.6	55.3	55.6	52.2	56.5	68.7	55.6	34.0	58.6	58.2
排出量・移動量 合計	76.2	88.6	116.8	130.2	136.1	151.2	149.5	123.0	71.8	87.2	89.4

■届出排出量・移動量上位 3 物質の推移（表 1 0）

（単位：t/年）

取扱年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23
銅水溶性塩(錯塩を除く。)	28.4	32.5	29.2	22.4	41.3	40.7
トリクロロエチレン				18.7	15.8	17.1
トルエン	22.2	18.8	18.1	9.1	8.8	9.7
ペルオキシ二硫酸の水溶性塩						
HCFC—141b	51.6	42.9	39.9			
排出量・移動量(上位 3 物質)	102.1	94.1	87.2	50.1	65.9	67.5
全排出量・移動量に占める率	67.5%	62.9%	70.8%	69.8%	75.6%	75.5%
排出量・移動量 全合計	151.2	149.5	123.0	71.8	87.2	89.4

※上表は上位 3 物質のみ記載しています。

■届出排出量上位 3 物質の推移（表 1 1）

（単位：t/年）

取扱年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23
トルエン	21.9	18.8	17.3	9.1	8.8	9.7
トリクロロエチレン			4.8	14.4	8.4	9.2
ノルマルヘキサン					3.5	3.2
ペルオキシ二硫酸の水溶性塩						
HCFC-141b	48.0	35.0	33.0	7.2		
ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	12.0	12.6				
排出量(上位 3 物質)	81.9	66.4	55.1	30.7	20.7	22.1
全排出量に占める率	86.5%	82.1%	81.8%	81.0%	72.4%	70.8%
排出量 全合計	94.7	80.9	67.4	37.9	28.6	31.2

※上表は上位 3 物質のみ記載しています。

■届出排出量上位3業種の推移(表12)

(単位:t/年)

取扱年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23
その他の製造業	17.9	18.0	15.0	7.2	6.9	7.8
燃料小売業					6.1	5.7
電気機械器具製造業	66.3	50.7	41.1	15.8	6.8	5.3
輸送用機械器具製造業	4.6	5.0	3.7			
金属製品製造業				7.2		
排出量(上位3業種)	88.8	73.7	59.8	30.3	19.8	18.8
全排出量に占める率	93.8%	91.1%	88.7%	79.9%	69.2%	60.3%
排出量 全合計	94.7	80.9	67.4	37.9	28.6	31.2

※上表は上位3業種のみ記載しています。

■届出排出量上位3地区の推移(表13)

(単位:t/年)

取扱年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23
柳瀬	10.8	10.6	6.7	7.4	7.3	8.2
松井						5.6
新所沢	64.6	50.7	41.2	16.0	7.1	5.5
富岡	8.7	9.1	10.2			
小手指				7.8	5.3	
山口						
排出量(上位3地区)	84.0	70.4	58.2	31.2	19.7	19.3
全排出量に占める率	88.7%	87.0%	86.3%	82.3%	68.9%	61.9%
排出量 全合計	94.7	80.9	67.4	37.9	28.6	31.2

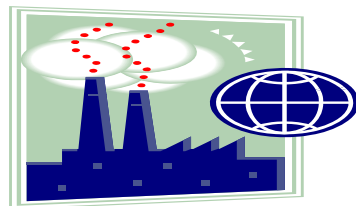
※上表は上位3地区のみ記載しています。

5 放射線



5 - (1) 平成 24 年度市内の空間放射線量について

所沢市では福島第 1 原子力発電所の事故の発生に伴い、放射線に対する市民の不安を取り除くため、市域を 3 キロメートルメッシュに区切り、市内 10 箇所の公共施設等で、測定を実施しています。



測定結果は県内他自治体で公表している数値と同程度となっています。各測定において、測定値を基にして年間換算値を算出したところ、国際放射線防護委員会 (ICRP) による一般の人の平常時の放射線量の限度 (自然放射線等を除く) である年間 1mSv を下回っていました。

■測定方法等

測定機器 日立アロカメディカル株式会社製シンチレーションサーベイメーター TCS-172B

測定実施者 所沢市環境対策課

測定方法 地表から 5 cm、50 cm、100 cm の高さで 30 秒間測定

年間換算値の計算方法

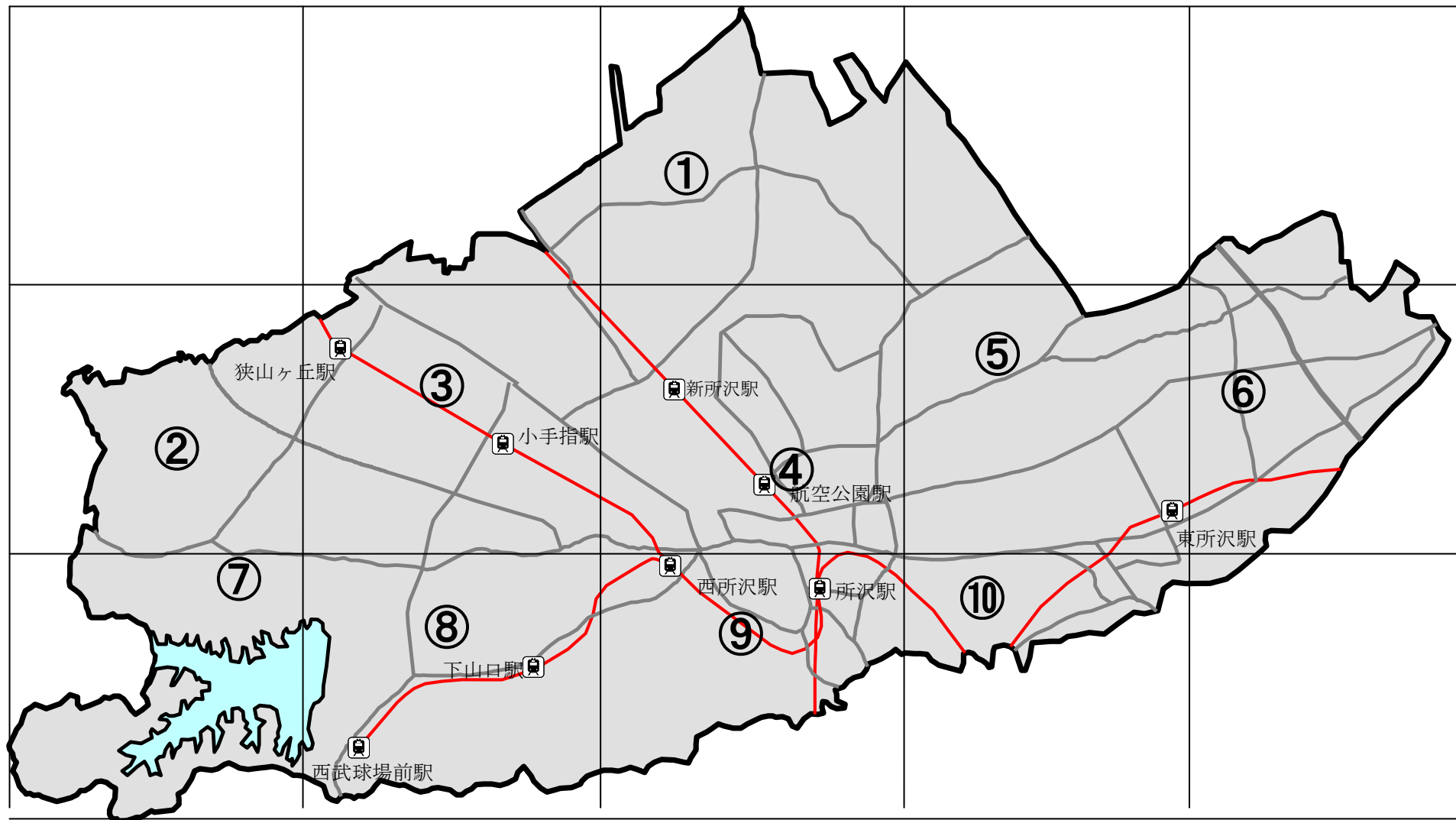
$((\text{測定値} \times 8 \text{ 時間 [屋外にいる時間]}) + (\text{測定値} \times 0.4 \text{ [屋内での放射線の低減率]} \times 16 \text{ 時間 [屋内にいる時間]})) \times 365 \text{ 日} \div 1000 = \text{年間換算値 (mSv/年)}$

■空間放射線量の測定結果の概要 (平成 24 年度)

測定日	測定値 (単位: $\mu\text{Sv/h}$)	年間換算値 (単位: mSv/年)
平成 24 年 4 月 12 日	0.04 ~ 0.08	0.21 ~ 0.42
5 月 10 日	0.05 ~ 0.09	0.26 ~ 0.47
6 月 14 日	0.04 ~ 0.07	0.21 ~ 0.37
7 月 17 日	0.03 ~ 0.07	0.16 ~ 0.37
8 月 9 日	0.04 ~ 0.07	0.21 ~ 0.37
9 月 13 日	0.03 ~ 0.08	0.16 ~ 0.42
10 月 11 日	0.03 ~ 0.07	0.16 ~ 0.37
11 月 8 日	0.03 ~ 0.08	0.16 ~ 0.42
12 月 13 日	0.03 ~ 0.08	0.16 ~ 0.42
平成 25 年 1 月 10 日	0.04 ~ 0.08	0.21 ~ 0.42
2 月 14 日	0.03 ~ 0.07	0.16 ~ 0.37
3 月 14 日	0.03 ~ 0.07	0.16 ~ 0.37

原発事故に伴う空間放射線量の市独自の測定地点図

(平成 24 年 6 月 14 日現在)



空間放射線量測定結果

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日			H24.4.12	H24.5.10	H24.6.14	H24.7.17	H24.8.9	H24.9.13	H24.10.11	H24.11.8	H24.12.13	H25.1.10	H25.2.14	H25.3.14	平均測定値		
No	測定地点名	所在地	高さ(cm)	18回目	19回目	20回目	21回目	22回目	23回目	24回目	25回目	26回目	27回目	28回目		29回目	
1	柳野公園	下富1256-97	5cm	0.06	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05	0.06	
			50cm	0.06	0.06	0.06	0.07	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.06	0.06	0.07	0.06
			100cm	0.06	0.06	0.05	0.05	0.04	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.06	0.06
2	市立林小学校	和ヶ原3-95-8	5cm	0.06	0.07	0.05	0.07	0.06	0.06	0.05	0.06	0.06	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06
			50cm	0.06	0.07	0.06	0.07	0.05	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.06	0.06
			100cm	0.07	0.06	0.07	0.06	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.07	0.06
3	市立北中小学校	北中1-250	5cm	0.05	0.06	0.05	0.04	0.05	0.03	0.04	0.04	0.03	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04
			50cm	0.05	0.06	0.05	0.04	0.04	0.04	0.03	0.04	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
			100cm	0.04	0.05	0.04	0.03	0.04	0.03	0.04	0.03	0.04	0.03	0.04	0.03	0.03	0.03
4	所沢航空記念公園	並木1-13	5cm	0.07	0.06	0.06	0.06	0.05	0.08	0.07	0.07	0.07	0.06	0.07	0.05	0.06	
			50cm	0.07	0.06	0.05	0.06	0.05	0.06	0.06	0.06	0.07	0.06	0.06	0.07	0.05	0.06
			100cm	0.07	0.06	0.05	0.06	0.05	0.07	0.06	0.06	0.08	0.05	0.06	0.06	0.05	0.06
5	道傍公園	中富南2-20	5cm	0.06	0.06	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
			50cm	0.05	0.06	0.04	0.04	0.05	0.04	0.03	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.05	0.05
			100cm	0.05	0.06	0.04	0.05	0.06	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	0.05
6	市立柳瀬小学校	坂之下964	5cm	0.06	0.09	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.06	0.06	0.06	
			50cm	0.06	0.09	0.06	0.07	0.05	0.05	0.06	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05	0.05	0.06
			100cm	0.06	0.08	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.05	0.04	0.05	0.04	0.05
7	埼玉県立芸術総合高等学校	三ヶ島2-695-1	5cm	0.06	0.05	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
			50cm	0.05	0.05	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.05	0.04	0.06	0.06	0.05
			100cm	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05	0.05	0.04	0.04	0.05
8	高峰公園	小手指南6-15	5cm	0.06	0.06	0.07	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.05	0.06	0.07	0.05	0.06	
			50cm	0.06	0.06	0.05	0.04	0.06	0.04	0.05	0.06	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05
			100cm	0.05	0.06	0.06	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05	0.04	0.05	0.05
9	市立つばめ児童館	久米783-1	5cm	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04	0.03	0.05	0.04	0.05	0.05	0.06	0.05	0.05	
			50cm	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05
			100cm	0.05	0.05	0.04	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
10	市立安松保育園	上安松582	5cm	0.08	0.08	0.06	0.06	0.06	0.07	0.07	0.05	0.08	0.08	0.07	0.06	0.07	
			50cm	0.07	0.09	0.06	0.07	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.07	0.06	0.06	0.07
			100cm	0.06	0.09	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.06	0.06	0.05	0.06

5-(2). 放射線の基礎知識

放射線とは

放射線には α (アルファ)線、 β (ベータ)線、 γ (ガンマ)線があり、各々ものを通り抜ける力が違います。

放射線の単位については、Bq (ベクレル)は放射性物質から出される放射能の強さのことです。

グレイ (Gy)は放射線が物質に当たったとき、その物質に吸収される放射線量のこと、シーベルト (Sv)は人体が放射線を受けたとき、その影響度合いを表す目安となる放射線量のことです。人体影響を評価する際はシーベルトを用います。通常は1グレイ=1シーベルトとして換算します。

自然放射線

大地の岩石や土にごく微量含まれるウラン、ラジウム、カリウム 40等の放射性物質から出る放射線、宇宙から地球に飛んでくる放射線、食物に含まれるカリウム 40などがあります。

日本では年間約0.4ミリシーベルト、宇宙から受ける放射線量は年間約0.3ミリシーベルト、摂取した食物からは年間約0.4ミリシーベルトです。

人工放射線

レントゲンやCT スキャン等による診断、がんの治療など医療現場で使われる放射線量は平均で6.9ミリシーベルト、核実験や原子力施設の

事故により大気中に放出され、雨やちりと一緒に地表や海に降り注いでくる放射性降下物から年間平均0.01ミリシーベルト、原子力発電所などの原子力施設からは年間0.001ミリシーベルト以下という状況であり、自然放射線量に比べはるかに低い数値となっています。

モニタリングポスト

主にガンマ線を連続的に測定し、年間を通して24時間連続で自動測定しています。この装置は極めて低い放射線量まで精密に測定することが可能です。埼玉県では6カ所に設置されています。

世界の状況

2000年国際放射線影響科学委員会報告によると、自然放射線量の世界平均値は年間約2.4ミリシーベルトです。日本は約1.5ミリシーベルトであり世界と比べて自然放射線量が低くなっています。

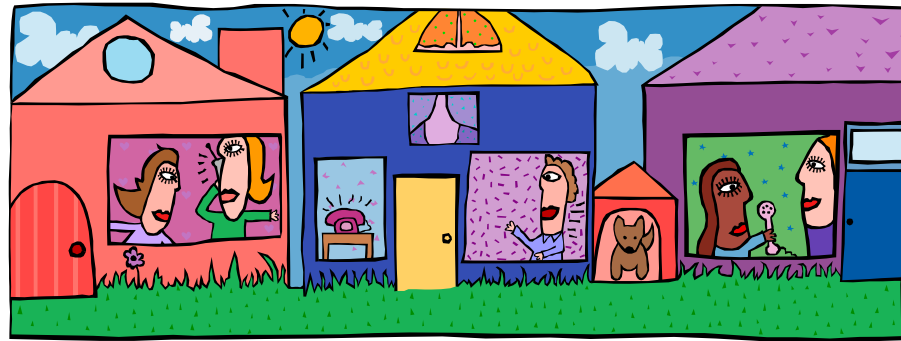


放射線量の基準等について

一般の人が受ける放射線量としては、国際放射線防護委員会 (ICRP) が2007年に勧告を出しており、その中で、一般の人に対する放射線量の指標が3つの範囲で設定されています。

緊急時は年間20~100ミリシーベルト、緊急事故後の復旧時は年間1~20ミリシーベルト、平常時は年間1ミリシーベルト以下としています。我が国の原子力規制委員会においても、この勧告を踏まえた考え方を示しています。

6 公害等苦情相談



6. 平成 24 年度 公害等苦情相談について

所沢市では、公害紛争処理法第 49 条に基づき、市民の方から寄せられる騒音・振動、悪臭などの公害等に係る苦情相談事務を行っています。

平成 24 年度における公害等苦情相談の受付状況は、以下のとおり年間201件の相談が寄せられています。市では、個々の相談に対して現地調査や発生源側に対する改善指導を行うなど、相談事案の解決に向け、きめ細かい対応を実施しています。

1. 受付状況

平成24年度受付件数は201件で前年度より1件増加しています。
最も多い公害の種類は「悪臭」であり、続いて「騒音」の順となっています。

2. 主な発生源

最も多い主な発生源は、「焼却(野焼き)」であり、続いて「工事・建設作業」の順となっています。

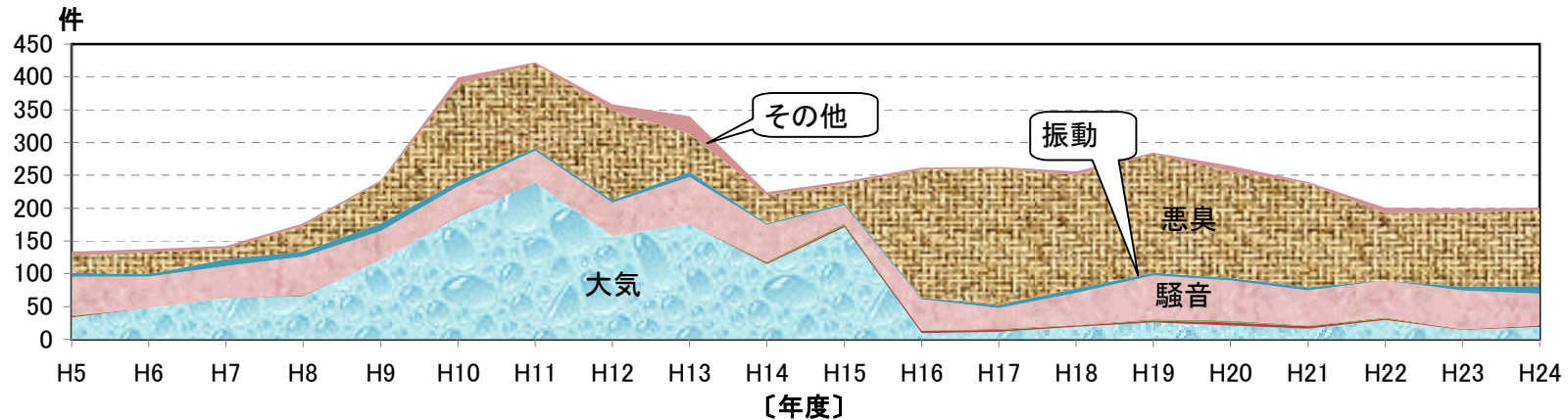
■公害等苦情相談件数の経年変化

(単位:件)

年度	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
大気汚染	33	48	63	66	121	187	239	158	176	115	171	10	11	19	26	21	16	30	14	19
水質汚濁	2	0	0	1	0	1	0	0	0	2	3	3	3	2	3	5	4	2	1	2
土壌汚染	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	2	1	2	3	1	1	0	0
騒音	60	48	49	59	44	45	49	50	71	57	27	48	32	49	66	61	54	57	60	49
振動	5	3	10	8	12	8	3	4	8	2	3	2	5	6	4	4	4	0	5	11
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	26	34	17	39	64	148	129	137	58	43	30	195	207	173	182	162	159	102	113	116
その他	7	5	3	4	2	10	2	9	27	5	4	3	2	6	2	9	2	9	7	4
合計	134	138	142	177	243	399	422	358	340	225	241	262	263	256	285	265	240	201	200	201

※16年度集計より「焼却(野焼き)」に伴う苦情相談件数を「大気汚染」から「悪臭」に区分した。

■公害等苦情相談件数の経年変化グラフ

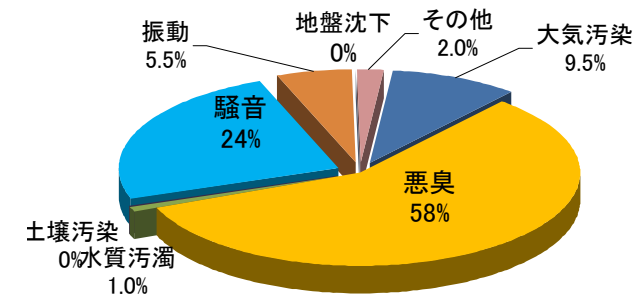


■公害等苦情相談の受付状況(H24)

(単位:件)

内 訳	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	その他	合計
前年度(H23)繰越件数(A)	2	1	0	8	0	0	20	0	31
本年度(H24)受付件数(B)	19	2	0	49	11	0	116	4	201
翌年度(H25)繰越件数(C)	1	1	0	15	2	0	22	1	42
処理件数[(A)+(B)-(C)]	20	2	0	42	9	0	114	3	190

■公害等苦情相談の種類別割合(H24受付分)



7 用語解説及び関連資料



7. 用語解説及び関連資料

【あ】

ICRP

専門の立場から放射線防護に関する勧告をする国際的な学術組織です。1928年に開かれた国際放射線医学総会で前身となる国際X線・ラジウム防護委員会が発足し、1950年に国際放射線防護委員会(ICRP)に改称しました。

悪臭

大多数の人に不快感を与え、生活環境を損なう恐れのある臭いのことです。悪臭防止法では、その原因物質としてアンモニア、硫化水素、トリメチルアミン、スチレン等の22物質が特定悪臭物質として指定されています。しかし、臭いの感じ方は人によって違いがみられ、また量や接触時間によっても感じ方が異なるため、上記の物質以外にも悪臭を感じる場合があります。

アクリロニトリル

常温で無色透明の液体で揮発性物質です。引火性が強く、刺激性があります。主に塗料、繊維樹脂加工剤、化粧品原料や合成糊料などの原料、アクリルアミド(紙力増強剤、合成樹脂、合成繊維、排水中などの沈殿物の凝集剤、土壌改良剤、接着剤塗料などの原料)として使われています。健康影響としては、動物による実験で鼻粘膜の炎症、多くの発がん性試験結果が報告されています。

アセトアルデヒド

低温では無色透明の液体(沸点:21℃)で引火性が極め

て高く、揮発性物質です。水、アルコール、エーテル、有機溶剤に溶けやすく、多くは塗料、印刷インキなどの溶剤に使われる酢酸エチルの原料として使われています。防腐剤や防カビ剤、写真現像用の薬品などとしても使われています。シックハウス症候群との関連性が疑われていることから、厚生労働省では室内空気濃度の指針値を定めています。

アルキル水銀化合物

メチル基(CH₃-)やエチル基(CH₃CH₂-)などのアルキル基と水銀とが結合した有機水銀の一種です。

自然環境に存在する無機水銀が、ある条件の下でメチル水銀((CH₃-HgX)やジメチル水銀((CH₃)₂Hg)に変化し食物連鎖を通じて魚介類に濃縮されることが知られています。水俣病はアセトアルデヒドの製造過程で副生したメチル水銀による公害病です。

あしろうさんせいちつそ 亜硝酸性窒素

亜硝酸塩として含まれている窒素のことで、地下水汚染の原因物質の一つです。肥料や家畜のふん尿や生活排水に含まれるアンモニウムが酸化されたもので、作物に吸収されずに土壌に溶け出し、富栄養化の原因となります。人に与える影響としては、嘔吐、チアノーゼ、虚脱昏睡、血圧低下、脈拍増加、頭痛、視力障害等が見られます。水道水の水質基準や河川などの公共水域について環境基準が設けられています。

アスベスト

石綿(せきめん)(いしわた)ともいわれ、天然に存在する繊維状の鉱物です。繊維が極めて細く、飛散して人が吸入し、繊維が肺に突き刺さったりすると肺がんや中皮腫の原因になることが明らかになっています。以前はビル等

の建築工事において、保温断熱の目的で石綿を吹き付ける作業が行われていましたが、昭和50年に原則禁止されました。その後も、スレート材、ブレーキライニングやブレーキパッド、防音材、断熱材、保温材などで使用されましたが、現在では、原則として製造等が禁止されています。

石綿は、そこにあること自体が直ちに問題なのではなく、飛び散ること、吸い込むことが問題となるため、「労働安全衛生法」や「大気汚染防止法」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などで予防や飛散防止等が図られています。

アンモニア性窒素

窒素酸化物の一形態で、アンモニウム塩に含まれる窒素を言います。水中のたんぱく質の分解などによって精製するアンモニウム塩は、水質汚濁の指標となります。アンモニア性窒素は、水中で、水銀、pHなどにより一定割合の遊離アンモニアを解離するが、この遊離アンモニアは2mg/lで魚類に致命的とされており、米国環境保護庁はすべての淡水域における水質基準として遊離アンモニアが0.02mg/lを超えてはならないとしています。

【い】

いおうさんかぶつ 硫黄酸化物(SO_x)

主に二酸化硫黄(SO₂)や三酸化硫黄(SO₃)等の硫黄が酸化した物質の総称のことです。石炭、石油等の化石燃料の燃焼に伴い発生し、せきや呼吸困難、気管支炎等を起こすなど、呼吸器系にとって有害であるほかに、酸性雨の要因のひとつになっています。なお、二酸化硫黄については環境基準が定められています。

一酸化炭素(CO)

燃料の不完全燃焼により発生する無色、無臭の気体です。主に自動車から排出され、生体に有毒で、血液中のヘモグロビンとの結合が酸素の約210倍であるため、酸素の供給を阻害し、ひどい時には、窒息に至る場合もあります。

1.2 ジクロロエタン

常温で無色透明の液体で揮発性物質です。主にクロロエチレンの原料に使われる他、エチレンジアミンなどの原料、フィルム洗浄剤、有機合成反応やビタミン抽出の際の溶剤、殺虫剤、薰蒸剤に使われています。

1.3 ブタジエン

常温で無色透明の気体です。主に合成ゴムの原料として使われています。自動車の排気ガス、たばこの煙にも含まれています。

一般環境大気測定局

一般環境大気の大気汚染状況を常時監視する測定局です。一般環境大気測定局には、環境基準の適合状況の把握や、大気汚染対策の効果の確認など地域全体の汚染状況を把握する目的のものと、特定発生源の影響を受け高濃度の局所汚染が出現しやすい地域での緊急時の措置に対処するためのものの2種類があります。

【え】

えいようえん 栄養塩

植物の生命を維持する栄養分として必要な、燐、窒素、

カリ、珪素などの主要元素とマンガン等の微量元素のことです。水中では、これらのうち、カリや珪素は、もともと豊富にあるので、燐と窒素が何らかの理由で増加した場合に藻類などのプランクトンが大量発生し、赤潮や青潮、アオコ、淡水赤潮などとよばれる現象がおこりやすくなります。

MBAS(メチレンブルー活性物質)

陰イオン界面活性剤(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩(LAS)等)のことで、メチレンブルーで青色に着色する性質があります。合成洗剤の成分なので、主に工場排水、家庭排水から環境中に排出されます。

塩化水素

常温、常圧では無色で刺激性のある気体で、人工的には塩化物や塩素を含む石炭、燃料油の燃焼が大気への塩化水素ガスの発生源となっています。大気汚染防止法において有害物質に指定され、ばい煙発生施設別の排出基準が定められています。

塩化物イオン

塩素化合物、例えば塩化ナトリウム(食塩の主成分)や塩化マグネシウムなどが、水中で電離したときに生じます。塩化物イオンは天然水中にも存在しますが、食塩などの塩化物を使用する工場の排水や生活排水中にも存在しています。

塩化ビニルモノマー(クロロエチレン)

常温では無色透明の揮発性物質です。また、発がん性があるので、取扱いには注意が必要ですが、樹脂を作る過程で反応せずに残ったごくわずかな塩化ビニルモノマ

ーは樹脂中から除去されるため、私たちが日常生活でこの物質に直接触れることはないと考えられます。

【か】

化学的酸素要求量(COD)

水の汚れを示す指標の一つで、水中の有機物質の濃度を表し、この値が大きいほど水が汚れています。

カドミウム(Cd)

青みを帯びた銀白色の金属で、柔らかく、延性及び展性に富みナイフでも容易に削れます。メッキ、顔料、電池等に使用され、発生源としてはメッキ、塗料、ガラス等の工場と鉱山精錬所などが上げられます。

カドミウムはイタイイタイ病で知られていますが、吸入、経口摂取が続くと胃腸炎、筋肉痛、着色尿のほか、肝臓障害が現れるといわれています。

環境基準

人の健康を維持し、生活環境を保全する上で維持することが望ましいとされている基準のことです。行政上の目標として環境基本法第16条に基づき定められており、大気汚染、水質汚濁、地下水汚染、土壌汚染および騒音について環境基準が設定されています。

乾燥減量

乾燥減量は底質(水底の表層土)に付着している水分を測定するものです。測定方法としては、通常湿試料5g以上を共栓秤瓶に取り、厚さを1cm以下にして広げ質量を測定、105-110℃で2時間乾燥し、デシケーターで約40

分放冷して質量を測定し減量分を求めます。

【き】

キシレン

無色透明の液体で、揮発性物質です。キシレンのほとんどは、他の化学物質の原料として使われています。油性塗料、接着剤、印刷インキ、シンナー、農薬などの溶剤に使われています。

強熱減量

強熱減量は試料を空气中で強熱したときの重量の減少量であり、通常、重量百分率で表わします。泥の場合、試泥中の有機物質炭酸塩等が多ければ強熱減量も大きくなり、含有有機物質等の推定に役立ちます。測定法は上記の乾燥試料を 5g 以上取り、質量を測定した後、600±25℃で約2時間加熱し、デシケーターで放冷した後、質量を測定した減量です。

【く】

クロム(Cr)

銀白色の光沢のある金属です。さびにくい特性を利用して、特殊鋼(耐熱性やさびにくさなどの特性を加えた鋼)などに利用されたり、メッキに使われています。

クロムは人の体内で糖の代謝に関っており、正常な生命活動を維持するのに必須な元素です。クロムは体内に取り込まれにくいので、人への影響、過剰障害はこれまで認められていませんが、欠乏すると上昇した血糖値を正常に戻す代謝力が低下し血中コレステロール等の障害が起これ心臓・血管疾患のリスク要因になると考えられています。

す。

クロロホルム

塩素を含む有機化合物で特有のにおいがあり、麻酔作用があることで知られています。農業や医薬品の抽出溶剤などに用いられますが、ほとんどが代替フロンやフッ素樹脂の原料として使われています。肺から速やかに生体内に取り込まれ、その大部分は呼気から排出されます。クロロホルムを取り扱う職場で、肝臓の肥大、中毒肝炎、倦怠感、消化器障害及び精神鈍麻が慢性症状として一部のの人に認められています。

【け】

健康項目

環境基本法に基づき人の健康の保護のために定められる環境基準で、公共用水域の水質保全行政の目標として達成し、維持されることが望ましい水質汚濁に係わる環境基準のひとつです。カドミウム、シアン、ふっ素、ほう素等の 26 項目が定められています。

【こ】

光化学オキシダント(Ox)

大気中の窒素酸化物や炭化水素が、太陽の紫外線的作用によって光化学反応を起こすことにより、二次的に生成された酸化性物質の総称のことです。光化学オキシダントは、大気汚染項目のひとつとして環境基準が定められており、光化学スモッグの指標とされています。

【さ】

酸性雨

硫黄酸化物、窒素酸化物等の大気汚染物質が大気中の水分に溶け込み、強い酸性を示す雨のことです。通常 pHが 5.6 以下の雨のことですが、霧や雪あるいは乾性降水物を含めた広い意味で使われる場合もあります。酸性雨は森林の枯死や、湖沼等の生態系の破壊、文化財の侵食等の要因として地球環境問題のひとつになっています。

酸化エチレン

エチレンを直接酸化してつくる無色で芳香性のある引火しやすい有毒の気体で、水やアルコールに良く溶けます。用途は合成洗剤、合成樹脂の製造原料となっています。

【し】

ジクロロメタン

金属・機械等の脱脂洗浄剤、塗料剥離剤等に使われています。洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定で、地下水汚染の原因物質の一つとなっています。主な急性症状としては中枢神経に対する麻酔作用があります。濃度が高くなるにつれ、吐き気、めまい、だるさ、さらに手足のしびれ、深麻酔状態に陥ります。

指針

環境基準を設定する必要はないものの、行政上の目標として設定されたものです。

しょうさんせいちっそ 硝酸性窒素

肥料、家畜のふん尿や生活排水に含まれるアンモニウムが酸化されたもので、作物に吸収されずに土壌に溶け出し、富栄養化の原因となります。水道水の水質基準及び地下水や河川などの公共水域の水質の環境基準が設けられています。

【す】

水質汚濁防止法

昭和 45 年 12 月 25 日公布法律第 138 号 健康の保護と生活環境の保全を図るため、工場・事業場（特定事業場）から排出される水質の規制や生活排水対策の推進、損害賠償の無過失責任などを定めています。直罰規定があります。

水素イオン濃度(pH)

酸性やアルカリ性の度合いを示す指標のことであり、pH 7が中性、これより数値が低く0に近づくほど強い酸性を示し、これより数値が高く 14 に近づくほど強いアルカリ性を示します。

水銀(Hg:mercury)

常温で液体である唯一の金属で、水に溶けにくい銀色の物質です。また、常温でも揮発します。

用途としては血圧計、体温計、温度計などの計器類、水銀灯などです。

水銀及びその化合物は、その形態によって異なります。水銀は脳の中に蓄積しやすく、体内で酸化反応を受ける前に脳に移行すると水銀によって中枢神経障害を起こす恐れがあります。

【せ】

生活環境項目

環境基本法(1993年)に基づいて定められている水質の環境基準のひとつです。水質環境基準には、人の健康の保護に関する基準(健康項目)と生活環境の保全に関する基準(生活環境項目)の2つがあります。

生活排水対策重点地域

都道府県知事が、生活排水による汚れの著しい河川の水域において、生活排水対策の実施を推進することが特に必要であると認めて指定した地域です。

生物化学的酸素要求量(BOD)

河川や排水、下水等の汚濁の程度を示す代表的な指標のひとつで、水中の有機物質が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量です。BODの値が大きいほど水中の有機物質が多く、水が汚れているといえます。

【そ】

騒音規制法

昭和 43 年 6 月 1 日公布 昭和 43 年法律第 98 号 生活環境の保全と健康の保護を図るため、工場・事業場・建設工事から発生する騒音の規制、自動車騒音に係る許容限度や知事の公安委員会への要請などを定めています。

【た】

大気汚染防止法

昭和 43 年 6 月 10 日公布 昭和 43 年法律第 97 号 大気汚染に関し、健康の保護と生活環境の保全を図るため、工場及び事業場から排出されるばい煙及び粉じんの規制、有害大気汚染物質対策の推進、自動車排出ガスの許容限度の設定、損害賠償の無過失責任などを定めています。

ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾ-パラジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)、コプラナーポリ塩化ビフェニル(コプラナーPCB)の総称のことで、ダイオキシン類は塩素の数が配置により 200 数十種類の仲間があり、廃棄物の焼却やパルプの塩素漂白、塩素系農薬製造などの各過程で非意図的に生成されます。

WECPNL

加重等価平均感覚騒音レベル (Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level) のことです。航空機騒音の評価のために考案されたもので、「うるささ指数」とも呼ばれています。昼間の時間帯よりも特に静穏が求められる夕方や夜間の時間帯においては、3 倍から 10 倍の重みづけで算出される騒音の指標です。

炭化水素(HC)

炭素と水素からできている化合物の総称です。

大腸菌群数

ふん便による水の汚染の可能性を知る指標です。大腸

菌群には、人のふん便に由来する大腸菌およびその他の数属の菌の他、動物由来の大腸菌など自然界に生息する大腸菌等が含まれます。大腸菌自体は一般に病原性を持たないが、水中から大腸菌が多量に検出された場合は、生のし尿が混入している可能性があり、赤痢、腸チフス、コレラなどの病原性細菌が存在する危険性が疑われています。

【ち】

窒素酸化物(NO_x)

一酸化窒素(NO)や二酸化窒素(NO₂)等、窒素と酸素の化合物の総称のことです。窒素酸化物の主な発生源は自動車や工場からの排出ガスであり、大気汚染物質のひとつとして呼吸器系に対する有害性が知られているほか、酸性雨の原因にもなっています。なお、二酸化窒素については、環境基準が定められています。

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)

一般には、LASとして知られており、合成洗剤の主成分等として使われ、主に家庭から河川や海等に排出されています。水生生物保全の観点から、河川等の公共用水域の水質の環境基準が定められています。

【て】

底質

河川、湖沼、海洋等水環境の水底の表層土や、岩盤の上に流域から流入した土砂や、側溝からの不溶物が堆積したものです。

デシベル(dB)

騒音レベルや振動レベルの単位で、電話の発明者であるベルにちなんで名づけられた単位です。

テトラクロロエチレン

主にドライクリーニング、金属部品の洗浄等に使用されている物質のことです。水質汚濁の原因物質であり、蒸気を吸収すると、めまいや頭痛が起こる他、肝臓・腎臓に障害を起こすこともあります。

【と】

毒性等量(TEQ)

毒性等価換算濃度の略です。ダイオキシン類には構造のちがいが等により様々な種類があり、その毒性もまちまちですが、それらを最も毒性の強い 2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン(2,3,7,8-TCDD)の毒性に換算して表した濃度のことです。

トリクロロエチレン

主に有機塩素系溶剤で金属部品の洗浄や半導体の製造工程等で使用されている物質のことです。水質汚濁の原因物質であり、蒸気を吸入すると、めまいや頭痛が起こる他、肝臓・腎臓に障害を起こすこともあります。

トルエン

常温では無色透明の液体で、揮発性物質でガソリンの様な臭いがあります。ベンゼンなどに比べ毒性が低く、安価なことから、油性塗料や印刷インキ、油性接着剤などの溶剤としても幅広く使われています。接着剤や塗料のうすめ液などに使用されるシンナーはトルエンを主成分としているほか油性ペンキ、ニス・ラッカー、マニキュアなど身の

まわりにもトルエンを含む製品があります。

【な】

75%値

BOD や COD の測定値を水質の良いものから順に並べたとき、75%目に当たる数値です。この値で BOD や COD の環境基準の適合状況进行评估します。

鉛

比較的柔らかい金属で加工が容易なため、古くから利用されていました。今日では主にバッテリーやハンダの原料に使われています。

健康影響については、化合物によって毒性は異なりますが、高濃度の鉛による中毒の症状としては、食欲不振、貧血、尿量減少、腕や足の筋肉の虚弱などがあります。

【に】

ニッケル(Ni)

腐食しにくく加工しやすい金属で、ステンレスや各種合金等に使われています。ニッケル化合物には多くの種類があり、ニッケルメッキ、着色剤や触媒などに使われています。

哺乳類の培養細胞を用いた試験では突然変異などが報告されています。ニッケルに起因した人に対する発がん性が確認されたのは、ニッケル精錬所においてのみで、作業者に呼吸器のがんが報告されています。

二酸化硫黄(SO₂)

大気汚染物質の一つで、石炭や石油等硫黄分を含む

燃料を燃焼する際に発生します。刺激性が強く、1～10ppm程度で呼吸機能に影響を及ぼし、眼の粘膜に刺激を与え流涙をきたします。

二酸化窒素(NO₂)

物の燃焼の際に発生し、高温になるほどその量は多くなります。呼吸器の細菌感染などに対する抵抗力を弱め、鼻や喉の粘膜、呼吸器系に刺激を与えます。

2%除外値(98%値)

日平均で示されている環境基準の適否を長期的に評価するときに用います。1年間の日平均を大きい順に並べた場合、上位の順は変動が大きく、異常値や突発的な不確定要素が多いと考えられることから、測定数の2%に相当する高濃度値を除外した残りの値の最高値を2%除外値または98%値として、環境基準値と比較します。

【は】

バナジウム(V)

バナジウムイオンが試験管内で細胞に対し、致死毒性を持つことが確認されています。

現在のところWHOは、無機バナジウムの発がん性について、その有無を判断できる材料がないとしています。このため、ヒトに対して発癌性があるかもしれない、と分類されています。

バナジウムは石油、石炭中に多く含まれていることから、その燃焼により毎年10万トンのレベルで大気中に放出されています。自然現象による放出は年間10トンのレベルと見積もられており、大気中の浮遊塵や降水中に含まれ

るバナジウムはそのほとんどが、人間活動によるものです。

【ひ】

微小粒子状物質(PM_{2.5})

大気中に、液体や固体またはこれらの混合物として浮遊している2.5μm(10⁻⁶m)以下の粒子状物質のことで、浮遊粒子状物質(SPM)より小さいため、肺の奥深くまで入りやすく、ぜんそくや肺がんなどのリスクに加え、循環器系への影響が心配されています。

ヒ素(As)

天然に遊離して存在することもあります。多くは硫化物の形で存在します。無機のヒ素化合物は極めて有毒です。扱われるところは、金属製錬、ガラス製造、木材の防腐・防蟻剤などです。ヒ素は体内で蓄積作用があり、人間の致死量は成人で100～130mgです。また、亜硫酸、砒化水素の中毒が知られています。

PCB(ポリ塩化ビフェニル)

PCBは塩素含有量の異なる数多くの同属体の混合物です。絶縁性が高いなど電気的特性に優れ、熱、酸、アルカリなどに非常に安定なため、絶縁油、熱媒体やノンカーボン紙溶剤などに広く用いられました。残留性が高く慢性毒性が強いことから、昭和47年に生産が中止されています。

PRTR制度(特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律:化管法ともいう)

環境汚染の恐れのある化学物質が、どのような発生源

から、どの程度環境中に排出されているのか、また、廃棄物となっているか、というデータを把握し、国で集計して公表する仕組みです。

非メタン炭化水素(NMHC)

大気中に存在するメタン以外の炭化水素のことです。光化学スモッグ発生の原因となるため、自動車や塗装、印刷工場等の発生源についての排出規制が実施されています。

【ふ】

浮遊物質ふゆうぶつしりょう量(SS)

水中に浮遊している物質の量のことをいい、数値(mg/L)が大きい程、その水の濁りが多いことを示します。

浮遊粒子状物質(SPM)

大気中に、液体や固体またはこれらの混合物として浮遊している10μm(10⁻⁵m)以下の粒子状物質のことで、自動車排ガスや工場などの事業活動に伴い発生し、人の気道や肺胞に沈着して呼吸器疾患などを起こす原因とされています。

【へ】

ベリリウム(Be)

常温で灰白色の固体で、もろくて軽い金属です。エメラルドやアクアマリンなどの鉱物に含まれています。空気中では表面が酸化されて酸化皮膜ができるため腐食しにくく、また電気や熱の伝導性が高く、X線も透過しやすいなどの性質があるため、多方面に使用されています。

継続的に可溶性ベリリウムを吸うことによって、気管へ

の刺激性、皮膚炎、結膜炎が認められています。

ベンゼン

特有の臭気をもつ無色の液体で水に溶けにくい性質をもっています。基礎的な化学原料として広く用いられます。急性症状として麻酔作用が、慢性症状として造血機能の障害と発がん性が知られています。ガソリン中に含まれていることから自動車排出ガスとして大気中に排出するため有害大気汚染物質のひとつに挙げられています。

ベンゾ(a)ピレン

多環式芳香族炭化水素の一種で、タールに含まれている発がん性物質です。ディーゼル自動車や石炭燃焼等の排出ガスが発生源で、黒煙や煤等に含まれています。

【ほ】

放射線

放射線とは空間を伝わっていくエネルギーの流れのある種の形態で、その本性・実態は、光子、電子、陽子、中性子、ヘリウムの原子核といった素粒子(またはその簡単な結合体)です。病院や空港では、放射線の一種であるエックス線を用いて、身体や手荷物内部を日常的に「非破壊検査」しています。放射線の種類にはこの他に α 線、 β 線、 γ 線、中性子線、宇宙線等があります。

ホルムアルデヒド

常温では無色の可燃性の刺激性気体です。シックハウス症候群を引き起こす原因物質のひとつといわれ、平成14年1月には室内濃度の指針値($48 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、厚生労働省)が設定されました。さらに、平成14年7月の建築基準

法の改正によりホルムアルデヒドを発生する建材について技術基準が定められ、平成15年7月から法規制が行われています。

【ま】

マンガン

合金の原料や鉄鋼製品を製造するときの添加剤などとして使われます。マンガンの化合物としては、乾電池や酸化剤に使われる二酸化マンガン、飲料水の処理などに使われる過マンガン酸カリウムなどがあります。

マンガンは自然界に広く存在しています。人にとって必須微量元素で、欠乏すると骨異常、成長障害などを起こすことが報告されていますが、逆に過剰に摂取すると運動失調やパーキンソン氏病などになることが報告されています。

【め】

面的評価

騒音測定地点をもとに、道路端から50mの範囲に位置する個々の住居等の騒音レベルを、距離や建物によって減る騒音量を引く等によって推計し、環境基準値を超過(または、環境基準値以下)した住居等の戸数及び割合を算出します。

【ゆ】

有害大気汚染物質

「有害大気汚染物質とは継続的に摂取される場合には人の健康を損なう恐れがある物質で大気の汚染の原因となるもの」と大気汚染防止法では規定しており、事業者に対し有害大気汚染物質の排出抑制の責務を課すと共に、

国、地方公共団体はそれぞれ科学的知見の充実、大気汚染状況のモニタリングの実施に努めることとしています。

【よ】

溶存酸素量(DO)

水に溶解している酸素の量のことです。水生生物の生存に必要であり、数値が大きいほど良好な環境です。

【ろ】

六価クロム

環境中へ排出された六価クロム化合物は、河川や海、土壌、水底の泥に存在していると考えられます。

生物細胞やヒトリンパ球を用いた染色体異常試験などの変異原性の試験で陽性を示す結果が報告されています。クロムメッキなどの工場などの従業員に見られる肺がんについて、六価クロム化合物の関与が認められています。

ところざわ 環境データブック 2013

(平成 25 年 10 月作成)



発行：所沢市環境クリーン部環境対策課
〒359-8501 所沢市並木一丁目 1 番地の1
Tel 04-2998-9230 Fax 04-2998-9195

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp> E-mail : a9230@city.tokorozawa.saitama.jp